

◆文学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	担当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	文学部			備考
						日本語日本文学科	歴史学科	歴史遺産学科	
専門科目	書法Ⅰ	尾西 正成	1	1回生	教員自身の書の研究・書作活動を通して技術や知識を学生たちと共有しつつ、それを基礎として多様な楷書法の展開を模索する	1			
専門科目	書法Ⅱ	尾西 正成	1	1回生	楷書法における教員自身の書の研究・書作活動を通して技術や知識を学生たちと共有しつつ、それを基礎として新しい書の展開を共に模索する	1			
専門科目	書法Ⅲ	倉橋 肇	1	1回生	書作家として現在活動している教員が、古筆の書法について理論及び実作によって指導する。	1			
専門科目	書法Ⅳ	倉橋 肇	1	1回生	書作家として現在活動している教員が、古筆の書法について理論及び実作によって指導する。	1			
専門科目	かな古典研究Ⅰ	寺坂 昌三	2	2回生	書作家として現在活動している教員が、古筆の書法について理論及び実作によって指導する。	2			
専門科目	かな古典研究Ⅱ	寺坂 昌三	2	2回生	書作家として現在活動している教員が、古筆の書法について理論及び実作によって指導する。	2			
専門科目	書論・鑑賞Ⅰ	湯澤 聡	2	2回生	20数年におよぶ高等学校書道教諭の経験と、書論研究会で培った資料を活用する力を駆使して、書道作品と書論を関連付けて理解を深める。	2			
専門科目	書論・鑑賞Ⅱ	湯澤 聡	2	2回生	20数年におよぶ高等学校書道教諭の経験と、書論研究会で培った資料を活用する力を駆使して、書道作品と書論を関連付けて理解を深める。	2			
学部等共通科目	アナウンス技術演習Ⅰ	平尾 和子	2	2回生	担当講師はフリーのアナウンサーとしてニュース番組に現在レギュラー出演中。またテレビリポーターやラジオのパーソナリティ、ナレーションや司会などの経験をもとに、スピーチやアナウンスの技術を指導する。	2	2	2	
学部等共通科目	アナウンス技術演習Ⅱ	平尾 和子	2	2回生	担当講師はフリーのアナウンサーとしてニュース番組に現在レギュラー出演中。またテレビリポーターやラジオのパーソナリティ、ナレーションや司会の司会などの経験をもとに、スピーチやアナウンスの技術を指導する。	2	2	2	
専門科目	書法Ⅴ	尾西 正成	1	3回生	行草書法における教員自身の書の研究・書作活動を通して技術や知識を学生たちと共有しつつ、それを基礎として新しい書の展開を共に模索する	1			
専門科目	書法Ⅵ	尾西 正成	1	3回生	行草書法における教員自身の書の研究・書作活動を通して技術や知識を学生たちと共有しつつ、それを基礎として新しい書の展開を共に模索する	1			
専門科目	書法Ⅶ	寺坂 昌三	1	3回生	書作家として現在活動している教員が、古筆の書法について理論及び実作によって指導する。	1			
専門科目	書法Ⅷ	寺坂 昌三	1	3回生	書作家として現在活動している教員が、古筆の書法について理論及び実作によって指導する。	1			
専門科目	作品研究Ⅰ	尾西 正成	1	4回生	教員自身の書の研究・書作活動を通して技術や知識を学生たちと共有しつつ、それを基礎として新しい書の展開を共に模索する	1			
専門科目	作品研究Ⅱ	尾西 正成	1	4回生	教員自身の書の研究・書作活動を通して技術や知識を学生たちと共有しつつ、それを基礎として新しい書の展開を共に模索する	1			
専門科目	作品研究Ⅲ	寺坂 昌三	1	4回生	書作家として現在活動している教員が、かなの小字・中字・大字作品制作について、理論及び実作によって指導する。	1			
専門科目	作品研究Ⅳ	寺坂 昌三	1	4回生	書作家として現在活動している教員が、かなの小字・中字・大字作品制作について、理論及び実作によって指導する。	1			
専門科目	歴史学入門講義	後藤 敦史	2	1回生	後藤は歴史教科書の作成に携わった経験を有する。杉山は高等学校の現場で教育に携わった経験を有する。		2		
学部等共通科目	日本史概説Ⅱ	飯塚 一幸	2	1回生	教員は、『日本史探究』の教科書作成に携わった実務経験を有する。最新の歴史学、および歴史教育の成果を踏まえた授業を心がける。	2	2	2	
専門科目	考古学概説Ⅰ	小嶋 篤	2	1回生	考古学研究に携わる教員が、実例を交えて考古学の学問的性質や、その研究方法と成果について講じる。		2	2	
専門科目	考古学概説Ⅱ	南 健太郎	2	1回生	考古学研究に携わる教員が、実例を交えて考古学の学問的性質や、その研究方法と成果について講じる。		2	2	
専門科目	歴史地理学	上杉 和央	2	2回生	博物館での勤務経験を有する。		2	2	
学部等共通科目	日本美術史Ⅱ	福士 雄也	2	1回生	博物館学芸員として、業務上さまざまな形で直接作品に接する機会が多い。授業では、画像イメージとして捉えられがちな作品の物質としての側面についても注意を喚起し、あわせて文化財の保存修理についても折に触れ取り上げる予定である。	2	2	2	
専門科目	文化財行政論	山田 宏	2	2回生	教員の実務経験 実際に文化財建造物修理技術者として文化財行政に関する業務に携わった教員が、実例等を交えながら文化財保護行政について解説する。授業内容 各国の時代的な文化財の定義の変遷から文化財保護の意義、及び日本における文化財保護法と関連法規・文化財保護の歩み・文化財の種類等々を解説して文化財保護行政の変遷を理解をした上で、将来における民間と行政の役割分担を考察する。		2	2	
学部等共通科目	西洋美術史	河上 真理	2	1回生	ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学に提出した博士学位申請論文を元とする拙著『工部美術学校の研究 イタリア王国の美術外交と日本』(中央公論美術出版、2011年)及び、2017年日本建築学会著作賞を受賞した河上真理・清水重敦『ミネルヴァ日本評伝選 辰野金吾 美術は建築に応用されざるべからず』(ミネルヴァ書房、2015年)等の研究によって得た知見により、西洋美術史における根本的な問題点を示しながら、時代順に授業をおこなっていく。		2	2	日本語日本文学科は履修不可

◆文学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	担当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	文学部			備考
						日本語日本文学科	歴史学科	歴史遺産学科	
専門科目	民俗学	伊藤 廣之	2	1回生	歴史博物館で民俗担当の学芸員として勤務経験のある教員が、具体的な資料を提示しながら、民俗学の歴史・視点・学説について概説する。	2	2	2	
専門科目	文献史料学Ⅰ	井上 幸	2	2回生	調査機関で木簡の公開データの作成補助等に従事した経験の有する教員が、日本古代の木簡の文字について解説する。		2	2	
学部等共通科目	美術工芸史研究Ⅰ	小林 裕子	2	2回生	京都国立博物館に2023年3月まで在籍し、多くの展覧会に携わってきた。その展示経験の中から得られた京都の仏像および仏教美術全般に関して、全十四回の授業にそれぞれテーマを立てる。そのテーマにもとづきパワーポイントをういてスライドを映し、作品の全体および詳細を見ながら講義を行う。		2	2	日本語日本文学科は履修不可
専門科目	歴史遺産学実習Ⅰ	南 健太郎 小嶋 篤	1	2回生	考古学的調査に習熟した教員による調査技能習得基礎編			1	
専門科目	遺産情報演習B	山田 邦和	2	2回生	担当教員である山田はこれまで、博物館学芸員、研究所研究員、そして大学教員を長く務めてきた。そして、考古学を中心としつつ、幅広い方法論によって京都の都市としての歴史を研究してきた。そうした立場からの講義を行いたい。			2	
専門科目	建築遺産論	深水 浩	2	2回生	建築保存活動、建築設計、まちづくり活動、ブランディングデザイン等を通して培った経験をもとに、建築遺産としての建築の可能性を多面的に解説する。		2	2	
学部等共通科目	建築遺産研究Ⅰ	深水 浩	2	2回生	建築保存活動、建築設計、まちづくり活動、ブランディングデザイン等を通して培った経験をもとに、建築遺産としての建築の可能性を多面的に解説する。		2	2	日本語日本文学科は履修不可
学部等共通科目	建築遺産研究Ⅱ	山田 宏	2	3回生	これまで文化財建造物の調査と修理を行ってきた経験を踏まえて、実学からの建築説明を行う。		2	2	日本語日本文学科は履修不可
学部等共通科目	歴史遺産研究Ⅱ	森井 綾乃	2	2回生	学芸員として勤務している教員が、日本の染織や服飾の歴史について解説する。		2	2	日本語日本文学科は履修不可
専門科目	古都学Ⅱ	山田 宏	2	3回生	ベトナム・ホイアンでの修理指導、及び中国・韓国・東南アジア各国・インド等の仏教建築・遺跡調査から各地域での都市形成の状況も見てきている。それを踏まえて日本における古都と呼ばれる都市の価値とその展望を学生が考えるヒントを提示する。	2	2	2	
専門科目	地域文化論	山野 ケン陽次郎	2	3回生	琉球列島各地やオセアニアにおける発掘調査や考古学研究に携わってきた教員が、実体験に基づき、島嶼地域における特色ある地域文化や先史文化について解説する。		2	2	
専門科目	木簡・金石文学	渡辺 晃宏	2	3回生	奈良(国立)文化財研究所において、1989年から2020年まで、31年間にわたって平城宮・京跡の発掘調査と、そこから出土する木簡をはじめとする出土文字資料の調査・研究にあたってきました。長屋王家木簡や二条大路木簡をはじめとする木簡を実際に発掘し、その整理・解読に携わった経験とそこで得られた知見を活かして、出土文字資料としての木簡の総合的な分析方法を、発掘調査の所見も交えながらお伝えできればと思います。	2	2	2	
専門科目	考古学研究Ⅱ	實盛 良彦	2	3回生	地方自治体において埋蔵文化財の発掘調査に従事してきた教員が、調査成果の実例を示しながら解説する。		2	2	
専門科目	保存科学	山口 繁生	2	2回生	文化財の調査・分析・保存処理を行っている教員が、それぞれの項目について具体的な例を挙げて説明し、紹介する。			2	
学部等共通科目	教職入門	池田 修	2	1回生	(池田)公立中学校で国語科教諭として十九年間指導した経験をもとに、理論と実践の往還をしつつ指導する。時期学習指導要領に登場する可能性の高い、生成AIを活用した教育活動にも焦点を当てて実施する。 (塩谷)①教員経験・教科指導(国語科、他)、学級担任(学級経営等)、学年主任(学年経営等)、同和・人権主任、生徒指導(生徒会担当) ②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、③教育委員会経験・連合教職大学院みなし実務家教員、教職院人事課参与、研究課・カリキュラム開発支援センター・教員養成支援室首席指導主事、教育計画課・人権教育企画課指導主事 他公立学校(中学校)教員並びに管理職、教育委員会事務局勤務の経験を活かし、教育に関わる内容等についての学修と、様々な角度からの具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	2	2	
学部等共通科目	英語概論	高田 悦子	1	1回生	教員は、私立小学校にて5年間、公立小学校にて20年以上英語指導を行っている。小学校英語指導者認定協会(J-shine)認定の指導者として小学校指導者認定コース講師を10年以上務めた。小学校での英語指導者としての基礎と実技の入門を体験してもらう。	1			歴史学科、歴史遺産学科は履修不可
学部等共通科目	数学概論	西村 徳寿	1	1回生	中学校数学の指導経験や小中乗り合い授業の指導経験のある教員が算数教育と数学教育との接続を学生に考えさせるような授業を行う。	1			歴史学科、歴史遺産学科は履修不可
学部等共通科目	教科教育法(英語)	中野 聡	2	2回生	公立小学校、中学校の英語科教員・管理職、県総合教育センター指導主事、市教委指導主事として教員の研修に関わってきました。前任勤務校では、小学校英語教育の在り方を中心に調査研究を進めてきました。国の施策、理論面の知識と実践の力が身に付くことを目指して指導を続けました。	2			歴史学科、歴史遺産学科は履修不可
学部等共通科目	特別活動論	土作 彰	2	2回生	(土作)小学校教員の経験を活かして、特別活動の具体的な指導法や評価法の在り方および全教育活動における意義について講義する。 (池田)中学校教員の経験を活かして、特別活動の具体的な指導法や評価法の在り方について講義する。 (柳澤)中学校及び高等学校での経験を生かし、特別活動の具体的な指導法や評価法の在り方について講義する。受講生が教員として求められる資質能力を高められるようにする。	2	2	2	

◆文学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	担当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	文学部			備考
						日本語日本文学科	歴史学科	歴史遺産学科	
学部等共通科目	教科教育法(算数)	西村 徳寿	2	2回生	中学校数学の指導経験や小中乗り合い授業の指導経験のある教員が算数教育と数学教育との接続を学生に考えさせるような授業を行う。	2			歴史学科、歴史遺産学科は履修不可
学部等共通科目	教科教育法(家庭)	守野 美佐子	2	2回生	38年の学校教員としての実務経験を生かして、児童の実態や関心・思考に基づいた授業展開や工夫などについて具体的に紹介する。模擬授業に関しても、教育実習生指導の経験に基づいて、現場に対応する指導をする。	2			歴史学科、歴史遺産学科は履修不可
学部等共通科目	学級担任論	池田 修	2	2回生	公立中学校で国語科教諭として十九年間指導した経験をもとに、学級担任の仕事について理解させる。また、学級づくりのデザイン、学級の運営、評価の仕方などを指導する。	2			歴史学科、歴史遺産学科は履修不可
学部等共通科目	教科教育法(国語)	池田 修	2	3回生	公立中学校で国語科教諭として十九年間指導した経験をもとに、授業づくりのデザイン、授業の運営、評価の仕方などを指導する。また、生成AIを活用し、授業づくり全般に関して効率化を図ることを目指す。	2			歴史学科、歴史遺産学科は履修不可
学部等共通科目	教科教育法(社会)	池田 恭浩	2	3回生	小学校での教育経験を活かして、今日の社会科教育における課題や実践の状況を体験的に学ばせる。	2			歴史学科、歴史遺産学科は履修不可
学部等共通科目	教科教育法(体育)	田中 真紀	2	3回生	小学校体育及び中学校保健体育の指導経験のある教員がその経験を活かして、今日の体育科教育における課題や授業づくりのデザイン、授業の運営、評価方法などを指導する。	2			歴史学科、歴史遺産学科は履修不可
学部等共通科目	教育相談	宮井 研治 別府 悦子	2	2回生	(宮井)臨床心理士、公認心理師。長らく臨床心理職員として、児童福祉現場(児童相談所、児童心理治療施設など)に従事する中で、幼稚園や小中高校などの教育現場との連携を経験してきた。現在はスクールカウンセラーとして教育機関に関わっている。また、認定こども園等へのコンサルテーションも行う。学校現場は、子どもの教育のみならず、育ちの現場であり、「不登校」「いじめ」「児童虐待」といった問題も同時にある現場である。そうした中で「教育相談」という科目は、将来教育を支えていくことを志向する学生にとって必然の学びの場であろう。臨床心理学視点から教育相談を学ぶ現場をサポートできたらと考える。 (別府)臨床心理士、公認心理師、特別支援学校教諭専修免許、小学校教諭1種免許、幼稚園教諭2種免許 大学病院など医療機関等において、学校不適応児童および発達障害・精神疾患を抱え、相談援助の必要な子どもの心理アセスメントや発達相談、教師・保育者へのコンサルテーションを行ってきました。また、臨床心理士として、スクールカウンセラーが制度化される以前の活用調査事業の時代から従事したり、中学校、高等学校等のいじめ対策委員会に参画してきました。また、児童福祉審議会や子ども貧困対策委員会等の委員会に学識経験者の立場から参加し行政への提言も行ってきました。そうした現場での経験をふまえて、具体例に基づいた教育相談の役割、学校現場での不登校・いじめの実態や対策、課題について講じることができればと考えています。	2	2	2	
学部等共通科目	国語概論	乾 乃璃子	1	2回生	1~6回目の担当教員は、日本語学・日本語教育を専門としており、日本語学校での指導経験があります。	1			歴史学科、歴史遺産学科は履修不可
学部等共通科目	家庭科概論	小鶴 祥子	1	2回生	中学・高校の家庭科担当経験のある教員が、家庭科の内容(家族と家庭生活・衣食住・環境・消費問題)について、課題も踏まえて解説する。また、手縫いの基礎縫いの実習を行う。	1			歴史学科、歴史遺産学科は履修不可
学部等共通科目	特別支援教育論	別府 悦子	2	3回生	臨床心理士、公認心理師、養護学校教諭専修免許、小学校教諭1種免許、幼稚園教諭2種免許 自治体の保健所や保健センター、大学病院などの医療機関や障害幼児通園施設等において、子どもの発達相談や心理アセスメント、保育所・幼稚園・小中学校への巡回相談などをおこなってきました。そこでは、保健・医療・子育て支援に関わる機関、社会的養護の施設および保育所、幼稚園等との連携を重要視し、専門職や保護者との協力を重視してきました。また、適正就学指導委員会や自治体の児童福祉審議会など特別支援教育の施策に関わる業務にも携わってきました。そうした現場での経験を踏まえて、特別支援教育に関わる現状と課題、専門職に必要とされていることを講じることができればと考えています。	2	2		歴史遺産学科は履修不可
学部等共通科目	教育実習指導	倉持 祐二 前田 典子 吉野 美保 深澤 素子 横田 敏子 笹田 寿三恵 三島 千明 義川 恭子 茨木 雅子	1	3回生	(倉持)小学校現場での経験を活かして、学校と子どもの現実に即した指導を行う。 長年の保育現場における幼児教育・保育の経験を活かし、幼稚園教育の基本を踏まえた保育の在り方や、幼児理解や保育者の役割、環境構成の重要性を具体的に指導する。	1			歴史学科、歴史遺産学科は履修不可
学部等共通科目	教育実習(小学校)Ⅱ	倉持 祐二	2	4回生	小学校での教育実習生への指導経験を活かして、教科教育と教科外教育の両面にわたる教師の役割について指導する。	2			歴史学科、歴史遺産学科は履修不可
学部等共通科目	金融論	矢口 満	2	2回生	担当する教員は、最大手金融機関グループの銀行および証券会社などで31年間にわたる勤務経験を有する。この実務経験に基づき、金融システムの重要性や金融政策の役割について、理論的な知識と実践的な解釈を講義する。		2	2	日本語日本文学科は履修不可
学部等共通科目	自治体経営論	竹内 直人	2	3回生	自治体職員として政策形成に携わった教員の指導の下、自治体の総合計画を素材に、地方自治の歴史、地方自治政策・地方行財政の基礎について学習する。自治体財政の課題や少子高齢化の進展、情報開示と説明責任への要求の高まりなど、自治体経営を取り巻く環境の変化について概観した上で、地方分権やニュー・パブリック・マネジメント、官民連携など、自治体経営における近年の新しい潮流について学ぶ。本年度は自治体総合計画を素材に、実務家の講演も織り込みながら講義を行う。		2		日本語日本文学科、歴史遺産学科は履修不可
学部等共通科目	社会調査法	山野 薫 堀 兼大朗	2	1回生	(山野)シンクタンクでの勤務経験を有する教員が、社会調査の豊富な経験を生かして、実例などを交えながら社会調査の実施に必要な知識について解説する。 (堀)これまで学術場面に限らず、ビジネスや地域社会の課題解決のために社会調査を行ってきた。その経験を生かして、実例などを交えながら社会調査の実施に必要な知識について解説する。	2	2	2	

◆文学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	担当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	文学部			備考
						日本語日本文学科	歴史学科	歴史遺産学科	
学部等共通科目	広告とメディア	増谷 博昭	2	2回生	担当教員は、広告会社でコピーライターやクリエイティブディレクターなどの立場で、TVCM制作やイベント実施、Web構築、CSR(環境)報告書の作成などの実務経験を有しています。また、経営コンサルタントとして、企業幹部の人材育成や企業の戦略策定支援なども行っています。それらの経験を通し、実社会と学生の橋渡しができる授業プログラムを展開します。	2			歴史学科、歴史遺産学科は履修不可
学部等共通科目	知的財産マネジメント	小田 哲明	2	3回生	弁理士として日米での実務経験及びベンチャー企業のメンター経験を有する教員が知的財産権及び知的財産戦略について説明する。	2			歴史学科、歴史遺産学科は履修不可
全学共通科目	芸術と文化	山本 善則	2	1回生	現役ピアニストであり、数々のコンクールに携わってきた経験等を生かし、現代芸術教育における問題点や、新たな視点を実際にピアノ演奏を行いつつ説明します。	2	2	2	
全学共通科目	ジェンダーとダイバーシティ	水島 新太郎	2	1回生	奈良女性センター 市民講座講師千葉市男女共同参画センター さなかカレッジ講師ジェンダーに関するデジタル新聞記事の執筆(産経デジタル、iRONNA)	2	2	2	
全学共通科目	異文化コミュニケーション論	槌谷 恒孝	2	1回生	担当者は国連に約10年勤務、アフリカや中東の紛争国に滞在し主に紛争解決や平和構築、開発に携わりました。また、国際協力機構(JICA)にて青年海外協力隊や企画調査員としてアフリカに滞在した経験があり、嘱託職員としてJICA本部、緒方貞子平和開発研究所に勤務していました。さらに民間企業(商社)に勤務・海外駐在し、アフリカや中東諸国との貿易・マーケティングに携わった経験も持っています。1年以上長期滞在した国はタイ、イギリス、アフリカ4か国(ブルキナファソ、アルジェリア、コンゴ民主共和国、中央アフリカ共和国)、イエメンの7か国、訪れた国は50か国を超え、そのうち30か国はアフリカの国々です。これらの経験を基に現場の事例などを交えながら授業を進めます。	2	2	2	
学部等共通科目	人間を考える	杉山 隆一	2	2回生	授業前半部(第1回~7回)を担当する杉山は外務省での勤務経験を有する。後半部(第8回~14回)を担当する槌谷はJICA、国連での平和構築に関する勤務経験を有する。	2	2	2	
学部等共通科目	情報技術の歴史と展開	工藤 寛樹	2	1回生	担当教員の専門分野はモバイル・ユビキタスコンピューティング、人工知能であり、センシングや人の活動に紐づいて発生するデータを分析することにより人の暮らしをより豊かにする技術開発、研究を行っています。本講義では、情報技術の歴史的な発達の経緯に加えて、専門分野の研究活動によって得られた知見を交えながら将来の展開についても考察します。	2	2	2	
全学共通科目	私たちの暮らしと行政	竹内 直人	2	1回生	福井県庁で30年間、主に政策づくりに携わり、多様な政策を立案しました。大学に移ってからは経験を活かして、多くの市町や国、国際機関などの委員を務めています。国、県、市や町など複眼的な観点から人びとの生活と行政の関係を一緒に考えていきます。自治体職員による講義を行います。	2	2	2	
学部等共通科目	時事問題にふれる	平尾 毅	2	1回生	日本経済新聞社で30年以上、国内外の支局長はじめ記者、デスクとして企業経営、国際情勢、地域経済に関するニュースを取材、執筆、編集してきた実績とアカデミックな実績、背景を踏まえ、新聞記事の信頼性や記事執筆に至る取材やデータ分析のノウハウなどをわかりやすく伝える。	2	2	2	
学部等共通科目	日本と国際社会	佐久間 浩司	2	1回生	金融機関の国際分野での経験あり。イギリス、ドイツ駐在経験あり。短期出張ではアジア、中近東滞在経験あり。経験を適宜授業に織り込む。	2	2	2	
学部等共通科目	食と農から社会を考える	平賀 緑	2	1回生	香港と日本において、新聞社、金融機関、有機農業関連企業などに勤めながら、食・農・環境問題に取り組む市民活動を企画運営した経験を持つ。ロンドン市立大学修士(食料栄養政策)、京都大学博士(経済学)。著書に『食べものから学ぶ現代社会—私たちが動かす資本主義のカラクリ』(岩波ジュニア新書、2024年)、『食べものから学ぶ世界史—人も自然も壊さない経済とは?』(岩波ジュニア新書、2021年)、『植物油の政治経済学—大豆と油から考える資本主義的食料システム』(昭和堂、2019年)など。	2	2	2	
全学共通科目	情報社会論	杉浦 昌	2	1回生	IT企業の情報システム部門や装置・システム設計開発部門、SI・コンサルティングビジネス部門での実務経験、政府系団体での実務経験のある教員が、テキストやスライド、配布資料、種々の公開資料、レポート、論文等を用いて授業をおこなう。授業は講義を中心に行うが、理解の深化と確認のため、振り返り学習やレポート提出を実施する場合がある。	2	2	2	
学部等共通科目	心理学入門	浦田 洋	2	1回生	臨床心理士、及び公認心理師として長年実務に携わってきた担当者が、教科書を参考にしてあらゆる生活場面を心理学的に理解する視点について解説する。	2	2	2	
学部等共通科目	日本の伝統的建築と庭園	鈴木 あるの	2	1回生	資格・免許：一級建築士、二級建築士、一級造園施工管理士、全国通訳案内士、米国カリフォルニア州登録ランドスケープアーキテクト実務経験：国内外(日本、米国、イタリア)の建築設計事務所および造園設計事務所にて調査・計画・設計の実務・国カリフォルニア大学デービス校環境デザイン学科の専門科目(2000-2005年)および京都大学の国際交流教養科目(2008年~2012年)にて「日本の伝統的建築と庭園」を英語で講義・全国通訳案内士(英語)として京都と奈良の建築と庭園をガイド	2	2	2	
学部等共通科目	くすりのサイエンス	村木 優一	1	1回生	1回目 生命科学(京都薬科大学 細胞生物学分野 関根 勇一:日本・米国の大学でさまざまな研究を行ってきた教員が、病態解明や創薬につながる生命科学について解説する。)2回目 創薬・有機化学(京都薬科大学 薬品化学分野 大石 真也:新しい薬の探索・創製(創薬研究)に従事している教員が、薬づくりの現状・現実を講述する。)3回目 生薬・薬用植物(京都薬科大学 薬用植物園 月岡 淳子:薬用植物園で20年以上、植物の栽培研究に携わってきた教員が、漢方処方と配合される生薬や薬用植物について解説する。)4回目 薬剤・製剤(京都薬科大学 薬物動態学分野 伊藤 由佳子:薬剤学・製剤学に25年以上従事してきた教員が、製薬企業および国立大学病院との共同研究を通じて得た医薬品適正使用に必要なくすりの考え方について解説する。)5回目 分析・薬物代謝(京都薬科大学 代謝分析学分野 内藤 行喜:大学で10年以上、錯体化学をベースに新規作用メカニズムをもつ創薬研究を行ってきた教員が、体内での薬の動き、薬の作用メカニズムの分析方法、ならびに市販薬の品質管理に関する内容について解説する。)6回目 薬理・薬物治療(京都薬科大学 病態生化学分野 石原 慶一:国内外の大学や研究所において20年以上勤務、疾患の治療戦略研究に従事した経験を有する教員が、「くすり」の作用と疾患治療について解説する。)7回目 臨床・実務(京都薬科大学 臨床薬剤疫学分野 村木 優一:国立大学病院で16年勤務、様々な部署や病棟を経験し、感染症や医療薬学の専門資格を取得している教員が、医療現場における薬剤師の役割について解説する。)	1	1	1	
学部等共通科目	くらしの中の看護	征矢野 あや子	1	1回生	各授業回の内容に関連する臨床経験を有する教員が担当する。	1	1	1	
学部等共通科目	こどもの発達支援とこころの健康	真下 いずみ	1	1回生	精神科、発達領域での支援経験を有する教員が担当する。	1	1	1	

◆文学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	担当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	文学部			備考
						日本語 日本文学科	歴史学科	歴史 遺産学科	
学部等共通科目	住居学概論	鈴木 あるの	2	1回生	免許・資格・役職:一級建築士、二級建築士、宅地建物取引士、一級造園施工管理士、米国カリフォルニア州登録ランドスケープアーキテクト、(マンション)管理業務主任者。日本民俗建築学会理事、元・日本マンション学会関西支部長。実務経験:国内外の設計事務所および建設コンサルタントにて調査、計画、設計の業務経験あり。	2	2	2	
学部等共通科目	自然科学で考える	酒井 徳昭	2	2回生	本授業は3名の教員によるオムニバス形式で実施する。担当教員は、臨床工学技士として病院等での実務経験を有する教員ならびに、工学分野において養成校での指導経験を有する教員で構成されている。医療機器に関わる血液の流れ・呼吸・電気・溶液管理など、臨床現場で実際にみられる身近な自然科学の現象を題材に、数値や現象の意味を多角的に捉え、主体的に考えながら理解を深める姿勢を養う授業として実施する。	2	2	2	
学部等共通科目	日本語Ⅰ	河村 静江 中川 裕子 乾 乃璃子	2	1回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	2	2	
学部等共通科目	日本語Ⅱ	河村 静江 中川 裕子 乾 乃璃子	2	1回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	2	2	
学部等共通科目	日本語Ⅲ	中川 裕子 河村 静江	2	2回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	2	2	
学部等共通科目	日本語Ⅳ	中川 裕子 河村 静江	2	2回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	2	2	
学部等共通科目	キャリア開発演習Ⅱ	乾 明紀	2	1回生	コンサルティング業界での、組織人事コンサルティングの実務に従事。その経験を活かし、学生・企業・講師に向けた研修等を多数実施。大学においても多くの大学でキャリア科目の指導経験有。	2	2	2	
学部等共通科目	就業体験準備実習	小山 大介 福原 崇之	2	1回生	担当教員は、民間企業での実務経験、産官学連携、企業・自治体調査・分析などの経験を有しており、その経験や現在も続けている現状分析などの情報を受講生へ積極的に伝える。	2	2	2	
学部等共通科目	教育心理学	大久保 千恵 湯澤 正通	2	1回生	(大久保)教育領域における公認心理師・臨床心理士としての心理臨床の実務経験を活かし、教育心理学を理解することに役立つ臨床的なお話もさせていただきます。 (湯澤)特別支援教育士の資格をもち、全国の学校での研究授業や教育委員会等主催の研修会の講師を務め、特に、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に関する研究成果を現場の保育士・教師に伝えてきた。小学校教員・幼稚園教員に必要な教育心理学・発達心理学・学習心理学の基礎的知識の習得を目指し、幼稚園・保育園、学校現場で子どもの発達の現状や支援が必要な幼児・児童・生徒についての事例も紹介する。	2	2	2	
学部等共通科目	学校等体験活動	柳澤 彰紀	1	1回生	教員は、公立中学校や中高一貫教育校、教職員の研修センターや教育委員会での勤務経験がある。行政や学校での管理職の経験を最大限に生かし、学校等体験活動の意義についての理解を図り、学生の教職への意欲を高めていく。教員に求められる資質能力の柱を整理して伝えながら、学生には理論と実践とをつなげて考えることや生徒目線の学校像・教師像からの転換を促す。「教育は人となり」の言葉がもつ意味を実感できるよう、コミュニケーション能力や対人関係力の向上も図りたい。	1	1	1	
学部等共通科目	中等教職教養講義Ⅰ	濱矢 全	2	2回生	①教員経験・教科指導(数学科、他)、学級担任(学級経営等)、学年主任(学年経営)、同和・人権教育主任、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	2	2	
学部等共通科目	中等教職教養講義Ⅱ	中村 祐之	2	2回生	①教員経験・教科指導(英語科、他)、学級担任(学級経営等)、生徒指導(補導主任等)、同和・人権主任、進路指導主事、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、人事主事(教育委員会)公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	2	2	
学部等共通科目	総合的な学習の時間の指導法	武田 章	1	2回生	中高一貫校において社会科教諭として長年勤務していたため、中高6年間の社会科関係の授業を担当してきたことに加えて、勤務校が教育研究開発と教育実習を社会的使命としていたことにより、総合的な学習をはじめとする新たな教育研究や教材の開発について取り組んできたとともに、毎年3~6人の教育実習生を担当指導してきた。それらの経験を生かしながら、具体的な授業づくりをしていく際の勘所を押さえた指導をしていきたい。	1	1	1	
学部等共通科目	人権と教育	井川 勝	2	2回生	佛教大学教職支援センター非常勤講師(実習指導講師)2020年4月~現在担当科目 教育実習指導/研究(集中講義)4月6時間 12月2時間人権同和教育 春学期 14時間 ※ 2023年度より 春・秋学期 各14時間の予定1981年4月~2019年3月 京都市立小学校教員1981年4月~1988年3月 京都市立雲ヶ畑小学校教諭1988年4月~2000年3月 京都市立楽只小学校 教諭2000年4月~2005年3月 京都市教育委員会指導部指導主事2005年4月~2010年3月 京都市立梅津北小学校教頭 2010年4月~2014年3月 京都市立常盤野小学校校長2014年4月~2016年3月 京都市立紫竹小学校校長2016年4月~ 2018年3月 京都市立向島南小学校校長2018年4月~2019年3月 京都市立楽只小学校校長2019年4月~2024年3月 京都市教育委員会専門主事2023年4月~現在 京都橘大学非常勤講師	2	2	2	

◆文学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	担当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	文学部			備考
						日本語 日本文学科	歴史学科	歴史 遺産学科	
学部等共通科目	生涯学習概論 I	堂本 雅也	2	1回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	2	2	2	
学部等共通科目	図書館概論	嶋田 学	2	1回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、図書館の機能や社会における意義、役割、今後の課題、展望等、公共(公立)図書館の基本について解説する。	2	2	2	
学部等共通科目	図書館制度・経営論	嶋田 学	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、公共(公立)図書館に関する法律、図書館政策、図書館経営のあり方等について解説する。	2	2	2	
学部等共通科目	図書館情報技術論	嶋田 学	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、公共(公立)図書館における情報技術についての基本的知識と実務的な取り組みについて解説する。	2	2	2	
学部等共通科目	図書館サービス概論	嶋田 学	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、現在公共(公立)図書館で実施されている図書館サービスの概要ならびに今後のあり方について解説する。	2	2	2	
学部等共通科目	情報サービス論	加藤 靖子	2	2回生	図書館のレファレンスサービス、発信型情報サービスや利用教育について、公共図書館での司書経験を有する教員が、参考図書・データベース等の情報を基盤にしたレファレンスサービス、情報検索技術を伴うサービス方法、発信型情報サービスや利用教育の展開や展望について解説する。	2	2	2	
学部等共通科目	児童サービス論	加藤 靖子	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、児童サービスについて講義をする。	2	2	2	
学部等共通科目	情報サービス演習 I	加藤 靖子	1	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、情報サービスにおける資料・情報の選択から、レファレンス回答および発信型情報サービスにいたるまで指導する。	1	1	1	
学部等共通科目	情報サービス演習 II	加藤 靖子 嶋田 学	1	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験に基づき、公共図書館サービスを実施するうえで情報サービスをどのように実施し活用するか、その内容・意義・活用方法について実習を交えながら解説する。	1	1	1	
学部等共通科目	図書館情報資源概論	加藤 靖子	2	2回生	公立図書館で司書実務及び館長としての経験をもつ教員が、図書館情報資源の収集から保存までの具体的手法及び取扱いについて解説する。	2	2	2	
学部等共通科目	情報資源組織論	尾松 謙一	2	2回生	図書館での実務経験(公立図書館20年、大学図書館9年)に基づき、目録作成の基礎を講義する。	2	2	2	
学部等共通科目	情報資源組織演習 I	井上 勝	1	2回生	公共図書館で、20年以上にわたり現場で実務に関わり、さまざまな図書館サービスを体験してきました。そこでは、カウンター業務などの日常的な業務はもちろん、レファレンスサービスや行事の計画立案、選書、蔵書管理などのほか、関係機関の各種審議会、委員会などを通じて、広域での図書館サービスの在り方等の政策形成立案等にも関わりました。これらの経験をもとに、この授業では公共図書館で各種のサービスを実施するうえで、書誌情報や主題情報をどのように活用するか、その内容・意義・活用方法などについて実習を交えながら解説していきます。ともに学んでいきましょう。	1	1	1	
学部等共通科目	図書館情報資源特論	加藤 靖子	1	2回生	公共(公立)図書館で司書として勤務した経験を有する教員が、児童書(絵本、児童文学、科学読物等)について講義をする。	1	1	1	
学部等共通科目	図書館施設論	嶋田 学	1	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務し、実際に図書館建設に携わった経験を有する教員が、公共(公立)図書館のあり方を、施設整備の面から解説する。	1	1	1	
学部等共通科目	学校経営と学校図書館	綿野 未来	2	2回生	学校図書館、公共図書館、大学図書館、専門学校図書館など、多様な館種で10年以上にわたり実務経験を有する教員が担当する。特に学校図書館分野に強みを持ち、選書・読書指導・情報活用能力育成・学校司書との連携など、現場で培った知識と技能を授業に反映する。実践的な事例を取り入れながら、学校司書として学校図書館運営を行ってきた経験を活かし、現場の現状を踏まえ学校図書館全般について講義する。	2	2	2	
学部等共通科目	学校図書館メディアの構成	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際の事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	2	2	
学部等共通科目	学習指導と学校図書館	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際の事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	2	2	
学部等共通科目	読書と豊かな人間性	綿野 未来	2	2回生	学校図書館、公共図書館、大学図書館、専門学校図書館など、多様な館種で10年以上にわたり実務経験を有する教員が担当する。特に学校図書館分野に強みを持ち、選書・読書指導・情報活用能力育成・学校司書との連携など、現場で培った知識と技能を授業に反映する。実践的な事例を取り入れながら、学校司書として学校図書館運営を行ってきた経験を活かし、現場の現状を踏まえ学校図書館での読書活動全般について講義する。	2	2	2	
学部等共通科目	情報メディアの活用	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際の事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	2	2	
学部等共通科目	博物館教育論	佐藤 優香	2	1回生	担当教員は、博物館教育の研究者、実践者として20年以上のキャリアがある。これまでさまざまな博物館でプログラムの企画開発や展示の監修等を行ってきた。本講義は、博物館の持つメッセージ伝達機能と利用者の学びの関係、博物館教育の意義と方法等について講義とグループワークを通して学ぶ。グループワークやディスカッションを積極的に取り入れており、博物館利用者、展示、教育プログラムのデザインについて議論する。教育プログラムの評価や開発については、博物館へ赴き実際の試行を通して学ぶ。	2	2	2	

◆文学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	担当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	文学部			備考
						日本語日本文学科	歴史学科	歴史遺産学科	
学部等共通科目	博物館情報・メディア論	木下 達文	2	1回生	博物館での実務経験ならびに展示業界における10年の経験を有している。	2	2	2	
学部等共通科目	博物館経営論	木下 達文	2	2回生	博物館における実務経験ならびに展示業界において10年の経験を有している。	2	2	2	
学部等共通科目	博物館資料論	山崎 頼人	2	2回生	担当者は地方自治体の職員として文化財・文化遺産の調査、保存と活用を計画し推進した経験があり、現在は博物館学芸員として、常設展・企画展・特別展などの企画運営、展示・保存環境の調整と維持、資料保存・博物館をめぐる社会的諸問題など多方面において講演等のアウトリーチに参画協力してきた。それらの経験をもとに博物館における資料の意味とさまざまな活かし方を講義する。	2	2	2	
学部等共通科目	博物館資料保存論	一瀬 和夫	2	2回生	文化財保存修復関係、文化財行政関係など、45年以上。	2	2	2	
学部等共通科目	博物館展示論	木下 達文	2	2回生	展示業界において10年の実務経験を有している。	2	2	2	
学部等共通科目	生涯学習概論Ⅱ	藤田 美佳	2	1回生	本講義を担当する教員は、①社会教育・生涯学習なかでも成人基礎教育および多様性に関わる多文化教育・異文化間教育を専門とし、大学で、社会教育や地域教育に関する講義や、社会教育主事養成課程の講義を担当している。②成人基礎教育に関しては、アメリカ、韓国における移民・難民に対する第二言語としての識字教育および日本国内の識字教育に関わる研究をしている。③大阪府内の自治体の生涯学習基本計画の制定に関わる役割を担い、教育委員会の事務執行にかかる点検・評価委員を10年以上にわたって務めてきた。④公益財団法人(公民館指定管理者)の評議員を務め、現在では、公民館長として、社会教育・生涯学習の実践に携わっている。以上の経験および研究の蓄積を生かして、欧米やアジアの事例を含む国内外の実践を踏まえた市民社会の発展と生涯学習の可能性について講義する。特に日本国内に関しては、多文化・多様性に関わる事例を通じて、現代社会に求められる社会教育・生涯学習についての理解を深められるよう多様な実践を紹介する。また、特色ある地域の社会教育・生涯学習関連施設の取り組みにみについて、フィールドワークの機会を設け、主体的な学習を促す。なお、受講生の興味・関心に則し、各回の講義内容については、受講生との話し合いにより、変更する場合がある。講義では、下記の内容を扱う。(1)講義のテーマとなる導入学習、課題の意識化についてのワークを含むオリエンテーション(2)社会教育・生涯学習に関する基礎的な学習(3)社会教育施設に関する学習・公民館・図書館・博物館 他(4)公民館の実践に関する学習(5)地域における社会教育・生涯学習実践(6)現代的な課題と社会教育・生涯学習(7)世界の社会教育・生涯学習政策と海外の実践に関する学習	2	2	2	
学部等共通科目	生涯学習支援論Ⅰ	堂本 雅也	2	2回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	2	2	2	
学部等共通科目	生涯学習支援論Ⅱ	堂本 雅也	2	2回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	2	2	2	
学部等共通科目	社会教育演習	堂本 雅也	2	2回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	2	2	2	
学部等共通科目	社会教育課題研究	堂本 雅也	1	2回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	1	1	1	
全学共通科目	健康に生きる	川村 晃右	2	1回生	保健師や助産師、看護師としての実務経験のある教員が担当する。	2	2	2	
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅰ	伊藤 孝子	2	3回生	小学校での教員ならびに管理職の経験や教育委員会・総合教育センターでの勤務経験のある者が、その経験を生かして今日的課題や具体的な対応等について指導していく	2	2	2	
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅱ	伊藤 孝子	2	3回生	小学校での教員ならびに管理職の経験や教育委員会・総合教育センターでの勤務経験のある者が、その経験を生かして今日的な課題や具体的な対応等について指導していく	2	2	2	
学部等共通科目	キャリアゼミⅥ	有坂 道子	1	3回生	この科目では企業での実務経験を有する教員がその経験を活かし、学問と社会の結節点について教授する。	1	1	1	
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅲ	佐敷 恵威子 中村 祐之	2	4回生	(佐敷)小学校における教員ならびに管理職の経験、および教育委員会・総合教育センターでの勤務を経験した者が、その経験を活かして今日的な課題や実際の学校現場での対応等について理論とつなげながら具体的に指導していく (中村)①教員経験・教科指導(英語科、他)、学級担任(学級経営等)、生徒指導(補導主任等)、同和・人権主任、進路指導主事、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、人事主事(教育委員会)公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	2	2	
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅳ	佐敷 恵威子 中村 祐之	2	4回生	(佐敷)小学校での教員ならびに管理職の経験や教育委員会・総合教育センターでの勤務経験のある者が、その経験を生かして今日的課題や具体的な対応等について指導していく。 (中村)①教員経験・教科指導(英語科、他)、学級担任(学級経営等)、生徒指導(補導主任等)、同和・人権主任、進路指導主事、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、人事主事(教育委員会)公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	2	2	

◆文学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	担当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	文学部			備考
						日本語日本文学科	歴史学科	歴史遺産学科	
学部等共通科目	国語科教育法Ⅰ	池田 修	2	3回生	公立中学校で国語科教諭として十九年間指導した経験をもとに、授業づくりのデザイン、授業の運営、評価の仕方などを指導する。また、生成AIを活用した授業の効率化、高質化に取り組む。	2			
学部等共通科目	国語科教育法Ⅱ	池田 修	2	3回生	公立中学校で国語科教諭として十九年間指導した経験をもとに、授業づくりのデザイン、授業の運営、評価の仕方などを指導する。特に、模擬授業を行う。また、生成AI時代に応じた授業の効率化、高質化に取り組む。	2			歴史学科、歴史遺産学科は履修不可
学部等共通科目	国語科教育法Ⅲ	野村 倫子	2	3回生	中学校で非常勤講師を、高等学校で教員として勤務した経験を有する教員が、国語科の教育について、教材の主題(「自然と人間」)を明確にした授業の実践を指導する。指導案発表やテスト問題の作成、模擬授業を通して、毎回教材への理解を積み重ね、授業実践力を培う。作成された指導案を、教員経験に基づいて生徒の反応を紹介しながら、助言修正する。	2			歴史学科、歴史遺産学科は履修不可
学部等共通科目	国語科教育法Ⅳ	野村 倫子	2	3回生	中学校で非常勤講師を、高等学校で教員として勤務した経験を有する教員が、国語科の教育について、教材の主題(「人間と社会」)を明確にした授業の実践を指導する。指導案発表やディベート、模擬授業を通して教材への理解を積み重ね、授業実践力を培う。高等学校の授業経験に基づき、レジュメ発表に対して、実際の生徒の活動を紹介し、それを反映するよう、助言する。	2			歴史学科、歴史遺産学科は履修不可
学部等共通科目	書道科教育法Ⅰ	西村 大輔	2	3回生	高等学校芸術科書道の現役担当教諭としての実務経験に基づき、「アクティブ・ラーニング」や「ICT活用」などの新学習指導要領の趣旨に沿った指導力向上に資する授業を行う。	2			歴史学科、歴史遺産学科は履修不可
学部等共通科目	書道科教育法Ⅱ	西村 大輔	2	3回生	高等学校芸術科書道の現役担当教諭としての実務経験に基づき、「アクティブ・ラーニング」や「ICT活用」などの新学習指導要領の趣旨に沿った指導力向上に資する授業を行う。	2			歴史学科、歴史遺産学科は履修不可
学部等共通科目	地歴科教育法Ⅰ	武田 章	2	3回生	社会科教諭として中高一貫校に約30年勤務していたため、中高6年間の社会科関係授業を担当してきたことに加え、勤務校が教育研究開発と教育実習を社会的使命とする学校であったため、新たな教育研究や教材開発に取り組んできたとともに、毎年3～6人の教育実習生を担当指導してきました。それらの経験を活かしながら、具体的な授業創りをしていく際の勘所を押さえた指導をしていきたいと考えています。		2	2	日本語日本文学科は履修不可
学部等共通科目	博物館実習Ⅰ	肥後 弘幸	1	3回生	文化財調査員、博物館学芸員としての経験に基づき、発掘調査した遺跡の出土遺物の整理研究法を解説し実習を指導する。	1	1	1	
学部等共通科目	博物館実習Ⅱ	一瀬 和夫	1	3回生	博物館建設5年、学芸員7年、展示開発と展示の実施(一瀬)	1	1	1	
学部等共通科目	博物館実習Ⅲ	木下 達文	1	4回生	博物館における実務経験に加え、展示業界において10年の経験がある。	1	1	1	
学部等共通科目	社会教育実習	堂本 雅也	1	3回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	1	1	1	
学部等共通科目	日本語教材研究	千々岩 宏晃	2	4回生	授業担当者は日本・インドネシア・ルーマニアの大学で約15年日本語教育に従事。5年の日本語教師養成講座担当の経験を持つ。日本語教育能力検定試験合格。専門は日本語教育・会話分析。	2	2	2	
合計単位数						205	182	181	

◆国際英語学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	国際英語学部	備考
						国際英語学部	
学部等共通科目	アナウンス技術演習Ⅰ	平尾 和子	2	2回生	担当講師はフリーのアナウンサーとしてニュース番組に現在レギュラー出演中。またテレビリポーターやラジオのパーソナリティ、ナレーションや司会などの経験をもとに、スピーチやアナウンスの技術を指導する。	2	
学部等共通科目	アナウンス技術演習Ⅱ	平尾 和子	2	2回生	担当講師はフリーのアナウンサーとしてニュース番組に現在レギュラー出演中。またテレビリポーターやラジオのパーソナリティ、ナレーションや司会の司会などの経験をもとに、スピーチやアナウンスの技術を指導する。	2	
専門科目	観光学基礎	樋口 ゆかり	2	1回生	本授業の担当教員は、観光の学術研究分野で実績を積んできたことに加えて、長年国際物流の分野においてカスタマーサービスに従事してきた実務経験を併せ持っています。これらの経験をベースに、担当教員は、将来観光分野に進みたいと願っている受講生のために、テキストから実用的に必要な知識を抽出して分かり易く解説して行きます。	2	
専門科目	国際開発学基礎	樋谷 恒孝	2	1回生	担当者は国連に約10年勤務、アフリカや中東の紛争国に滞在し主に紛争解決や平和構築、開発に携わりました。また、国際協力機構(JICA)にて青年海外協力隊や企画調査員としてアフリカに滞在した経験があり、嘱託職員としてJICA本部、緒方貞子平和開発研究所に勤務していました。さらに民間企業(商社)に勤務・海外駐在し、アフリカや中東諸国との貿易・マーケティングに携わった経験も持っています。1年以上長期滞在した国はタイ、イギリス、アフリカ4か国(ブルキナファソ、アルジェリア、コンゴ民主共和国、中央アフリカ共和国)、イエメンの7か国、訪れた国は50か国を超え、そのうち30か国はアフリカの国々です。これらの経験を基に現場の事例などを交えながら授業を進めます。	2	
専門科目	経営学概論	山中 香織	2	3回生	企業勤務11年半(うち2年7カ月は海外勤務)、独立して会社設立後は人材育成・組織開発の研修コンサルティング業務を15年以上経験する傍ら、国内大学等にて約20年の教育経験がある。企業では国際金融業務全般に従事、その後は研修講師として新入社員からリーダー層・経営層に対するリーダーシップ・グローバル・企画立案研修や、研究開発部門などにおける組織開発支援を行っている。教育面では経営学(経営組織・組織行動・グローバルマーケティングなど)の講義を担当し、キャリア教育・異文化理解・ロジカル思考などについても教鞭を執っている。	2	
専門科目	国際経済論(欧米)	山中 香織	2	2回生	金融機関勤務11年半(うち2年7カ月は海外勤務)、独立して会社設立後は人材育成・組織開発の研修コンサルティング業務を十数年経験する傍ら、国内大学等にて約20年の教育経験がある。金融機関では国際金融業務全般に従事、その後は研修講師としてリーダー層・経営層に対する企画立案・リーダーシップ・グローバル研修や、研究開発部門などにおける組織開発支援を行っている。教育面では経営学(経営組織・組織行動・グローバルマーケティングなど)の講義を担当し、キャリア教育・異文化理解・ロジカル思考などについても教鞭を執っている。	2	
専門科目	企業組織論	山中 香織	2	2回生	企業勤務11年半(うち2年7カ月は海外勤務)、独立して会社設立後は人材育成・組織開発の研修コンサルティング業務を十数年経験する傍ら、国内大学等にて約20年の教育経験がある。企業では国際金融業務全般に従事、その後は研修講師として新入社員からリーダー層・経営層に対するリーダーシップ・グローバル・企画立案研修や、研究開発部門などにおける組織開発支援を行っている。教育面では経営学(経営組織・組織行動・グローバルマーケティングなど)の講義を担当し、キャリア教育・異文化理解・ロジカル思考などについても教鞭を執っている。	2	
専門科目	国際観光論	樋口 ゆかり	2	2回生	本授業の担当教員は、学術研究分野で実績を積んできたことに加えて、長年国際物流の分野においてカスタマーサービスに従事してきた実務経験を併せ持っています。職務を通して、アジアやヨーロッパの都市を訪問し比較してきた経験から、サステイナブル・ディヴェロップメントの重要性を強く認識するに至りました。この経験に基づき、本授業では、サステイナブル・ツーリズムに関する英語論文をテキストとして使用し、受講生に「国際観光にサステイナビリティ概念を取り入れる重要性」の学修を課します。	2	
専門科目	観光事業論	山中 香織	2	3回生	企業勤務11年半(うち2年7カ月は海外勤務)、独立して会社設立後は人材育成・組織開発の研修コンサルティング業務を十数年以上経験する傍ら、国内大学等にて約20年の教育経験がある。企業では国際金融業務全般に従事、その後は研修講師として新入社員からリーダー層・経営層に対するリーダーシップ・グローバル・企画立案研修や、研究開発部門などにおける組織開発支援を行っている。教育面では主に経営学を中心とした講義を行っている。また、外部講師は、様々な観光事業に関わる豊富な実務経験をもっている。	2	
専門科目	DESTINATION・マネジメント論	樋口 ゆかり	2	2回生	本授業の担当教員は、学術研究分野で実績を積んできたことに加えて、長年国際物流の分野においてカスタマーサービスに従事してきた実務経験を併せ持っています。職務を通して、アジアやヨーロッパの都市を訪問し比較してきた経験から、サステイナブル・ディヴェロップメントの重要性を強く認識するに至りました。この経験に基づき、本授業では、Sustainable Tourism DevelopmentとDestination Management Organizationに関する英語論文をテキストとして使用し、受講生に「地域のSustainable DevelopmentにDestination Management Organizationを取り入れる重要性」の学修を課します。	2	
専門科目	ホスピタリティ・マネジメント論	樋口 ゆかり	2	2回生	本授業の担当教員は、観光の学術研究分野で実績を積んできたことに加えて、長年国際物流の分野においてカスタマーサービスに従事してきた実務経験を併せ持っています。カスタマーサービス部門の責任者として、日々、オペレーションのトラブルシューティングのために海外支店の同僚と密にコミュニケーションを重ね、また、最重要顧客のフォローアップのために様々なプレイヤーのサービスの提供に努めてきました。これらの経験をベースに、担当教員は、ホスピタリティ分野に進みたいと願っている受講生のために、テキストから実用的に必要な知識を抽出して分かり易く解説して行きます。	2	

◆国際英語学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	国際英語学部	
						国際英語学部	備考
専門科目	観光英語Ⅰ	樋口 ゆかり	2	3回生	本授業の担当教員は、観光の学術研究分野で実績を積んできたことに加えて、長年国際物流の分野においてカスタマーサービスに従事してきた実務経験を併せ持っています。カスタマーサービス部門の責任者として、日々、オペレーションのトラブルシューティングのために海外支店の同僚と密にコミュニケーションを重ね、また、最重要顧客のフォローアップのために様々なデイレームのサービスの提供に努めてきました。これらの経験をベースに、担当教員は、国際(観光)ビジネス分野に進みたいと願っている受講生のために、カスタマーサービスの実務に必要な英語フレーズを、英文法の解説とともに、教授します。	2	
専門科目	観光英語Ⅱ	樋口 ゆかり	2	3回生	本授業の担当教員は、学術研究分野で実績を積んできたことに加えて、長年国際物流の分野においてカスタマーサービスに従事してきた実務経験を併せ持っている。学術とビジネスの両方の分野において、多くの英語の文章を読解し作成してきた経験から、主張や情報を正しく伝達することの重要性を強く認識するに至った。この経験に基づき、本コースでは、受講生に、日本語と英語の間で何度も往復運動を重ねてもらい、それによって、論理的思考力と日英両言語における文章力の向上を目指してもらい、堅固な基礎を築いてもらうために、前半は、5文型に沿って文の要素や品詞の機能など、英文法について詳細に講義する。後半は、実際のビジネスレターや交渉の際に使用される英語表現について、講義していく。	2	
専門科目	Foundation Translation	大久保 友博 大川 淳	2	2回生	(大久保)担当教員は翻訳家としての活動経験がある。 (大川)担当者はアメリカ文学・文化を専門とする研究者である。主に作品論に立脚した論文やカルチュラル・スタディーズの翻訳を刊行している。	2	
専門科目	Foundation Interpreting	南津 佳広	2	2回生	通訳や翻訳を専門とする教員が、異なる文化の人とコミュニケーションを取るときに通訳がどんな役割を果たすのかをわかりやすく解説する。	2	
専門科目	Advanced Interpreting	南津 佳広	2	3回生	通訳や翻訳を専門とする教員が、異文化間コミュニケーションを取るときに通訳がどのような役割を果たすのかをわかりやすく解説する。	2	
専門科目	金融論	佐久間 浩司	2	2回生	大手銀行で20年以上にわたって勤務した教員の指導の下、金融システムの意義や金融政策の役割についての実践的な知識を身に付けます。また、実際の金融機関の動向についても、教員の実務経験も踏まえて触れます。	2	
専門科目	グローバルビジネス実務演習	佐久間 浩司	2	3回生	20年三菱UFJ銀行に勤務。主に金融調査業務に従事。その後6年間、国際通貨研究所に勤務。主に日本の国際協力業務や国際金融研究に従事。	2	
学部等共通科目	特別活動論	土作 彰	2	2回生	(土作)小学校教員の経験を活かして、特別活動の具体的な指導法や評価法の在り方および全教育活動における意義について講義する。 (池田)中学校教員の経験を活かして、特別活動の具体的な指導法や評価法の在り方について講義する。 (柳澤)中学校及び高等学校での経験を生かし、特別活動の具体的な指導法や評価法の在り方について講義する。受講生が教員として求められる資質能力を高められるようにする。	2	
学部等共通科目	教科教育法(算数)	西村 徳寿	2	2回生	中学校数学の指導経験や小中乗り合い授業の指導経験のある教員が算数教育と数学教育との接続を学生に考えさせるような授業を行う。	2	
学部等共通科目	教科教育法(家庭)	守野 美佐子	2	2回生	38年の学校教員としての実務経験を生かして、児童の実態や関心・思考に基づいた授業展開や工夫などについて具体的に紹介する。模擬授業に関しても、教育実習生指導の経験に基づいて、現場に対応する指導をする。	2	
学部等共通科目	教科教育法(社会)	池田 恭浩	2	3回生	小学校での教育経験を活かし、今日の社会科教育における課題や実践の状況を体験的に学ばせる。	2	
学部等共通科目	小中英語科指導法	中野 聡	2	2回生	公立小学校、中学校の英語科教員・管理職、県総合教育センター指導主事、市教委指導主事として教員の研修に関わってきました。前任勤務校では、小学校英語教育の在り方を中心に調査研究を進めてきました。国の施策、理論面の知識と実践の力が身に付くことを意識して授業を進めます。	2	
学部等共通科目	小中教育実習	倉持 祐二	4	3回生	20年以上の小学校での実習指導の経験をふまえ、実り多い実習になるように実習生にはさまざまなアドバイスをしたい。	4	
学部等共通科目	教育実習(小学校)Ⅱ	倉持 祐二	2	4回生	小学校での教育実習生への指導経験を活かし、教科教育と教科外教育の両面にわたる教師の役割について指導する。	2	
学部等共通科目	非営利経済論	平賀 緑	2	3回生	食・農・環境、草の根自治からグローバリゼーションまで、幅広い分野の市民活動に関わっています。認定NPO法人 環境市民(理事)・NPO法人 使い捨て時代を考える会(アーカイブ事業/50年史編集)・西日本アグロエコロジー協会(理事)・認定NPO法人 セカンドハーベスト京都(ボランティア)・NPO法人 AMネット(理事)・ミュニシパリズム京都	2	
学部等共通科目	情報セキュリティⅠ	寺田 雅之	2	2回生	授業担当者は、日本電信電話(株)および(株)NTTドコモにおいて、情報セキュリティ技術やプライバシー保護技術の研究開発に取り組み、その成果を「モバイル空間統計」や「秘匿クロス統計」などのサービスの実用化に結びつけてきました。これらの成果は、「科学技術分野における文部科学大臣表彰(科学技術賞)」や「技術・経営イノベーション大賞(総務大臣賞)」をはじめとする各種表彰を受賞するなど、社会的に高く評価されています。それらの経験に基づき、本科目で説明する技術が社会にどのようなメリットをもたらすのかを説明し、技術の必要性を理解してもらいたいと思います。	2	

◆国際英語学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	国際英語学部	備考
						国際英語学部	
学部等共通科目	貿易論	小山 大介	2	3回生	担当教員は、多国籍企業における貿易(企業内貿易)活動や日米商政策を研究分野の1つとしています。また、国境を横断する貿易(財・サービス)や投資が拡大するなかで、各国経済や国内地域経済がどのように変容していくのかについて、関心を持っています。貿易論においては、貿易理論だけでなく、現在の各国・地域間関係がどのようになっているのか、についても紹介していきます。	2	
学部等共通科目	アントレプレナーシップⅠ	丸山 一芳	2	2回生	学生が起業するための事業計画書を執筆したり、実際の事業を創造する大学院での勤務経験がある。	2	
全学共通科目	芸術と文化	山本 善則	2	1回生	現役ピアニストであり、数々のコンクールに携わってきた経験等を生かし、現代芸術教育における問題点や、新たな視点を実際にピアノ演奏を行いつつ説明します。	2	
全学共通科目	ジェンダーとダイバーシティ	水島 新太郎	2	1回生	奈良女性センター 市民講座講師千葉市男女共同参画センター さんかくカレッジ講師ジェンダーに関するデジタル新聞記事の執筆(産経デジタル、iRONNA)	2	
全学共通科目	異文化コミュニケーション論	樋谷 恒孝	2	1回生	担当者は国連に約10年勤務、アフリカや中東の紛争国に滞在し主に紛争解決や平和構築、開発に携わりました。また、国際協力機構(JICA)にて青年海外協力隊や企画調査員としてアフリカに滞在した経験があり、嘱託職員としてJICA本部、緒方貞子平和開発研究所に勤務していました。さらに民間企業(商社)に勤務・海外駐在し、アフリカや中東諸国との貿易・マーケティングに携わった経験も持っています。1年以上長期滞在した国はタイ、イギリス、アフリカ4か国(ブルキナファソ、アルジェリア、コンゴ民主共和国、中央アフリカ共和国)、イエメンの7か国、訪れた国は50か国を超え、そのうち30か国はアフリカの国々です。これらの経験を基に現場の事例などを交えながら授業を進めます。	2	
学部等共通科目	人間を考える	杉山 隆一	2	2回生	授業前半部(第1回～7回)を担当する杉山は外務省での勤務経験を有する。後半部(第8回～14回)を担当する樋谷はJICA、国連での平和構築に関する勤務経験を有する。	2	
学部等共通科目	情報技術の歴史と展開	工藤 寛樹	2	1回生	担当教員の専門分野はモバイル・ユビキタスコンピューティング、人工知能であり、センシングや人の活動に紐ついて発生するデータを分析することにより人の暮らしをより豊かにする技術開発、研究を行っています。本講義では、情報技術の歴史的な発達の経緯に加えて、専門分野の研究活動によって得られた知見を交えながら将来の展開についても考察します。	2	
全学共通科目	私たちのくらしと行政	竹内 直人	2	1回生	福井県庁で30年間、主に政策づくりに携わり、多様な政策を立案しました。大学に移ってからは経験を活かして、多くの市町や国、国際機関などの委員を務めています。国、県、市や町など複眼的な観点から人びとの生活と行政の関係を一緒に考えていきます。自治体職員による講義を行います。	2	
学部等共通科目	時事問題にふれる	平尾 毅	2	1回生	日本経済新聞社で30年以上、国内外の支局長はじめ記者、デスクとして企業経営、国際情勢、地域経済に関するニュースを取材、執筆、編集してきた実績とアカデミックな実績、背景を踏まえ、新聞記事の信頼性や記事執筆に至る取材やデータ分析のノウハウなどをわかりやすく伝える。	2	
学部等共通科目	日本と国際社会	佐久間 浩司	2	1回生	金融機関の国際分野での経験あり。イギリス、ドイツ駐在経験あり。短期出張ではアジア、中近東滞在経験あり。経験を適宜授業に織り込む。	2	
学部等共通科目	食と農から社会を考える	平賀 緑	2	1回生	香港と日本において、新聞社、金融機関、有機農業関連企業などに勤めながら、食・農・環境問題に取り組む市民活動を企画運営した経験を持つ。ロンドン市立大学修士(食料栄養政策)、京都大学博士(経済学)。著書に『食べものから学ぶ現代社会—私たちが動かす資本主義のカラクリ』(岩波ジュニア新書、2024年)、『食べものから学ぶ世界史—人も自然も壊さない経済とは?』(岩波ジュニア新書、2021年)、『植物油の政治経済学—大豆と油から考える資本主義的食料システム』(昭和堂、2019年)など。	2	
全学共通科目	情報社会論	杉浦 昌	2	1回生	IT企業の情報システム部門や装置・システム設計開発部門、SI・コンサルティングビジネス部門での実務経験、政府系団体での実務経験のある教員が、テキストやスライド、配布資料、種々の公開資料、レポート、論文等を用いて授業をおこなう。授業は講義を中心に行うが、理解の深化と確認のため、振り返り学習やレポート提出を実施する場合がある。	2	
学部等共通科目	心理学入門	浦田 洋	2	1回生	臨床心理士、及び公認心理師として長年実務に携わってきた担当者が、教科書を参考にしてあらゆる生活場面を心理学的に理解する視点について解説する。	2	
学部等共通科目	日本の伝統的建築と庭園	鈴木 あるの	2	1回生	資格・免許:一級建築士、二級建築士、一級造園施工管理士、全国通訳案内士、米国カリフォルニア州登録ランドスケープアーキテクト実務経験:国内外(日本、米国、イタリア)の建築設計事務所および造園設計事務所にて調査・計画・設計の実務・カリフォルニア大学デービス校環境デザイン学科の専門科目(2000-2005年)および京都大学の国際交流教養科目(2008年~2012年)にて「日本の伝統的建築と庭園」を英語で講義・全国通訳案内士(英語)として京都と奈良の建築と庭園をガイド	2	

◆国際英語学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	国際英語学部	
						国際英語学部	備考
学部等共通科目	くすりのサイエンス	村木 優一	1	1回生	1回目 生命科学(京都薬科大学 細胞生物学分野 関根 勇一:日本・米国の大学でさまざまな研究を行ってきた教員が、病態解明や創薬につながる生命科学研究について解説する。)2回目 創薬・有機化学(京都薬科大学 薬品化学分野 大石 真也:新しい薬の探索・創製(創薬研究)に従事している教員が、薬づくりの現状・現実を講述する。)3回目 生薬・薬用植物(京都薬科大学 薬用植物園 月岡 淳子:薬用植物園で20年以上、植物の栽培研究に携わってきた教員が、漢方処方に配合される生薬や薬用植物について解説する。)4回目 薬剤・製剤(京都薬科大学 薬物動態学分野 伊藤 由佳子:薬剤学・製剤学研究に25年以上従事してきた教員が、製薬企業および国立大学病院との共同研究を通じて得た医薬品適正使用に必要なくすりの考え方について解説する。)5回目 分析・薬物代謝(京都薬科大学 代謝分析学分野 内藤 行喜:大学で10年以上、錯体化学をベースに新規作用メカニズムをもつ創薬研究を行ってきた教員が、体内での薬の動き、薬の作用メカニズムの分析方法、ならびに市販薬の品質管理に関する内容について解説する。)6回目 薬理・薬物治療(京都薬科大学 病態生化学分野 石原 慶一:国内外の大学や研究所において20年以上勤務、疾患の治療戦略研究に従事した経験をもつ教員が、“くすり”の作用と疾患治療について解説する。)7回目 臨床・実務(京都薬科大学 臨床薬理学分野 村木 優一:国立大学病院で16年勤務、様々な部署や病棟を経験し、感染症や医療薬学の専門資格を取得している教員が、医療現場における薬剤師の役割について解説する。)	1	
学部等共通科目	くらしの中の看護	征矢野 あや子	1	1回生	各授業回の内容に関連する臨床経験を有する教員が担当する。	1	
学部等共通科目	こどもの発達支援とこころの健康	真下 いずみ	1	1回生	精神科、発達領域での支援経験を有する教員が担当する。	1	
学部等共通科目	住居学概論	鈴木 あるの	2	1回生	免許・資格・役職:一級建築士、二級建築士、宅地建物取引士、一級造園施工管理士、米国カリフォルニア州登録ランドスケープアーキテクト、(マンション)管理業務主任者、日本民俗建築学会理事、元・日本マンション学会関西副支部長。実務経験:国内外の設計事務所および建設コンサルタントにて調査・計画・設計の業務経験あり。	2	
学部等共通科目	自然科学で考える	酒井 徳昭	2	2回生	本授業は3名の教員によるオムニバス形式で実施する。担当教員は、臨床工学技士として病院等での実務経験を有する教員ならびに、工学分野において養成校での指導経験を有する教員で構成されている。医療機器に関わる血液の流れ・呼吸・電気・溶液管理など、臨床現場で実際にみられる身近な自然科学の現象を題材に、数値や現象の意味を多角的に捉え、主体的に考えながら理解を深める姿勢を養う授業として実施する。	2	
学部等共通科目	日本語 I	河村 静江 中川 裕子 乾 乃璃子	2	1回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	
学部等共通科目	日本語 II	河村 静江 中川 裕子 乾 乃璃子	2	1回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	
学部等共通科目	日本語 III	中川 裕子 河村 静江	2	2回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	
学部等共通科目	日本語 IV	中川 裕子 河村 静江	2	2回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	
学部等共通科目	就業体験準備実習	小山 大介 福原 崇之	2	1回生	担当教員は、民間企業での実務経験、産官学連携、企業・自治体調査・分析などの経験を有しており、その経験や現在も続けている現状分析などの情報を受講生へ積極的に伝える。	2	
学部等共通科目	教職入門	塩谷 道次	2	1回生	①教員経験・教科指導(国語科、他)、学級担任(学級経営等)、学年主任(学年経営等)、同和・人権主任、生徒指導(生徒会担当)他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、③教育委員会経験・連合教職大学院みなし実務家教員、教職院人事課参与、研究課・カリキュラム開発支援センター・教員養成支援室首席指導主事、教育計画課・人権教育企画課指導主事 他公立学校(中学校)教員並びに管理職、教育委員会事務局勤務の経験を活かし、教育に関わる内容等についての学修と、様々な角度からの具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	
学部等共通科目	教育心理学	大久保 千恵 湯澤 正通	2	1回生	(大久保)教育領域における公認心理師・臨床心理士としての心理臨床の実務経験を活かして、教育心理学を理解することに役立つ臨床的なお話もさせていただきます。 (湯澤)特別支援教育士の資格をもち、全国の学校での研究授業や教育委員会等主催の研修会の講師を務め、特に、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に関する研究成果を現場の保育士・教師に伝えてきた。小学校教員・幼稚園教員に必要な教育心理学・発達心理学・学習心理学の基礎的知識の習得を目指し、幼稚園・保育園、学校現場で子どもの発達の現状や支援が必要な幼児・児童・生徒についての事例も紹介する。	2	

◆国際英語学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	国際英語学部	
						国際英語学部	備考
学部等共通科目	学校等体験活動	柳澤 彰紀	1	1回生	教員は、公立中学校や中高一貫教育校、教職員の研修センターや教育委員会での勤務経験がある。行政や学校での管理職の経験を最大限に生かし、学校等体験活動の意義についての理解を図り、学生の教職への意欲を高めていく。教員に求められる資質能力の柱を整理して伝えながら、学生には理論と実践とをつなげて考えることや生徒目線の学校像・教師像からの転換を促す。「教育は人となり」の言葉がもつ意味を実感できるよう、コミュニケーション能力や対人関係力の向上も図りたい。	1	
学部等共通科目	中等教職教養講義Ⅰ	濱矢 全	2	2回生	①教員経験・教科指導(数学科、他)、学級担任(学級経営等)、学年主任(学年経営)、同和・人権教育主任、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	
学部等共通科目	中等教職教養講義Ⅱ	中村 祐之	2	2回生	①教員経験・教科指導(英語科、他)、学級担任(学級経営等)、生徒指導(補導主任等)、同和・人権主任、進路指導主事、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、人事主事(教育委員会)公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	
学部等共通科目	総合的な学習の時間の指導法	武田 章	1	2回生	中高一貫校において社会科教諭として長年勤務していたため、中高6年間の社会科関係の授業を担当してきたことに加えて、勤務校が教育研究開発と教育実習を社会的使命としていたことにより、総合的な学習をはじめとする新たな教育研究や教材の開発について取り組んできたことと、毎年3~6人の教育実習生を担当指導してきた。それらの経験を生かしながら、具体的な授業づくりをしていく際の勘所を押さえた指導をしていきたい。	1	
学部等共通科目	教育相談	宮井 研治 別府 悦子	2	2回生	(宮井)臨床心理士、公認心理師。長らく臨床心理職員として、児童福祉現場(児童相談所、児童心理治療施設など)に従事する中で、幼稚園や小中高校などの教育現場との連携を経験してきた。現在はスクールカウンセラーとして教育機関に関わっている。また、認定こども園等へのコンサルテーションも行う。学校現場は、子どもの教育のみならず、育ちの現場であり、「不登校」「いじめ」「児童虐待」といった問題も同時にある現場である。そうした中で「教育相談」という科目は、将来教育を支えていくことを志向する学生にとって必然の学びの場であろう。臨床心理学視点から教育相談を学ぶ現場をサポートできたら考える。(別府)臨床心理士、公認心理師、特別支援学校教諭専修免許、小学校教諭1種免許、幼稚園教諭2種免許 大学病院など医療機関等において、学校不適応児童および発達障害・精神疾患を抱え、相談援助の必要な子どもの心理アセスメントや発達相談、教師・保育者へのコンサルテーションを行ってきました。また、臨床心理士として、スクールカウンセラーが制度化される以前の活用調査事業の時代から従事したり、中学校、高等学校等のいじめ対策委員会に参画してきました。また、児童福祉審議会や子ども貧困対策委員会等の委員会に学識経験者の立場から参加し行政への提言も行ってきました。そうした現場での経験をふまえて、具体例に基づいた教育相談の役割、学校現場での不登校・いじめの実態や対策、課題について講じることができればと考えています。	2	
学部等共通科目	人権と教育	井川 勝	2	2回生	佛科大学教職支援センター非常勤講師(実習指導講師)2020年4月~現在担当科目 教育実習指導/研究(集中講義)4月6時間12月2時間人権同和教育 春学期 14時間 ※ 2023年度より 春・秋学期 各14時間の予定1981年4月~2019年3月 京都市立小学校教員1981年4月~1988年3月 京都市立雲ヶ畑小学校教諭1988年4月~2000年3月 京都市立楽只小学校教諭2000年4月~2005年3月 京都市教育委員会指導部指導主事2005年4月~2010年3月 京都市立梅津北小学校教頭2010年4月~2014年3月 京都市立常盤野小学校校長2014年4月~2016年3月 京都市立紫竹小学校校長2016年4月~2018年3月 京都市立向島南小学校校長2018年4月~2019年3月 京都市立楽只小学校校長2019年4月~2024年3月 京都市教育委員会専門主事2023年4月~現在 京都橋大学非常勤講師	2	
学部等共通科目	生涯学習概論Ⅰ	堂本 雅也	2	1回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	2	
学部等共通科目	図書館概論	嶋田 学	2	1回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、図書館の機能や社会における意義、役割、今後の課題、展望等、公共(公立)図書館の基本について解説する。	2	
学部等共通科目	図書館制度・経営論	嶋田 学	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、公共(公立)図書館に関する法律、図書館政策、図書館経営のあり方等について解説する。	2	
学部等共通科目	図書館情報技術論	嶋田 学	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、公共(公立)図書館における情報技術についての基本的知識と実務的な取り組みについて解説する。	2	

◆国際英語学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	国際英語学部	備考
						国際英語学部	
学部等共通科目	図書館サービス概論	嶋田 学	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、現在公共(公立)図書館で実施されている図書館サービスの概要ならびに今後のあり方について解説する。	2	
学部等共通科目	情報サービス論	加藤 靖子	2	2回生	図書館のレファレンスサービス、発信型情報サービスや利用教育について、公共図書館での司書経験を有する教員が、参考図書・データベース等の情報を基盤にしたレファレンスサービス、情報検索技術を伴うサービス方法、発信型情報サービスや利用教育の展開や展望について解説する。	2	
学部等共通科目	児童サービス論	加藤 靖子	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、児童サービスについて講義をする。	2	
学部等共通科目	情報サービス演習Ⅰ	加藤 靖子	1	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、情報サービスにおける資料・情報の選択から、レファレンス回答および発信型情報サービスにいたるまで指導する。	1	
学部等共通科目	情報サービス演習Ⅱ	加藤 靖子 嶋田 学	1	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験に基づき、公共図書館サービスを実施するうえで情報サービスをどのように実施し活用するか、その内容・意義・活用方法について実習を交えながら解説する。	1	
学部等共通科目	図書館情報資源概論	加藤 靖子	2	2回生	公立図書館で司書実務及び館長としての経験をもつ教員が、図書館情報資源の収集から保存までの具体的手法及び取扱いについて解説する。	2	
学部等共通科目	情報資源組織論	尾松 謙一	2	2回生	図書館での実務経験(公立図書館20年、大学図書館9年)に基づき、目録作成の基礎を講義する。	2	
学部等共通科目	情報資源組織演習Ⅰ	井上 勝	1	2回生	公共図書館で、20年以上にわたり現場で実務に関わり、さまざまな図書館サービスを体験してきました。そこでは、カウンター業務などの日常的な業務はもちろん、レファレンスサービスや行事の計画立案、選書、蔵書管理などのほか、関係機関の各種審議会、委員会などを通じて、広域での図書館サービスの在り方等の政策形成立案等にも関わりました。これらの経験をもとに、この授業では公共図書館で各種のサービスを実施するうえで、書誌情報や主題情報などのように活用するか、その内容・意義・活用方法などについて実習を交えながら解説していきます。ともに学んでいきましょう。	1	
学部等共通科目	図書館情報資源特論	加藤 靖子	1	2回生	公共(公立)図書館で司書として勤務した経験を有する教員が、児童書(絵本、児童文学、科学読物等)について講義をする。	1	
学部等共通科目	図書館施設論	嶋田 学	1	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務し、実際に図書館建設に携わった経験を有する教員が、公共(公立)図書館のあり方を、施設整備の面から解説する。	1	
学部等共通科目	学校経営と学校図書館	綿野 未来	2	2回生	学校図書館、公共図書館、大学図書館、専門学校図書館など、多様な館種で10年以上にわたり実務経験を有する教員が担当する。特に学校図書館分野に強みを持ち、選書・読書指導・情報活用能力育成・学校司書との連携など、現場で培った知識と技能を授業に反映する。実践的な事例を取り入れながら、学校司書として学校図書館運営を行ってきた経験を活かし、現場の現状を踏まえ学校図書館全般について講義する。	2	
学部等共通科目	学校図書館メディアの構成	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際の事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	
学部等共通科目	学習指導と学校図書館	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際の事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	
学部等共通科目	読書と豊かな人間性	綿野 未来	2	2回生	学校図書館、公共図書館、大学図書館、専門学校図書館など、多様な館種で10年以上にわたり実務経験を有する教員が担当する。特に学校図書館分野に強みを持ち、選書・読書指導・情報活用能力育成・学校司書との連携など、現場で培った知識と技能を授業に反映する。実践的な事例を取り入れながら、学校司書として学校図書館運営を行ってきた経験を活かし、現場の現状を踏まえ学校図書館での読書活動全般について講義する。	2	
学部等共通科目	情報メディアの活用	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際の事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	
全学共通科目	健康に生きる	川村 晃右	2	1回生	保健師や助産師、看護師としての実務経験のある教員が担当する。	2	
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅰ	伊藤 孝子	2	3回生	小学校での教員ならびに管理職の経験や教育委員会・総合教育センターでの勤務経験のある者が、その経験を生かして今日的課題や具体的な対応等について指導していく	2	
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅱ	伊藤 孝子	2	3回生	小学校での教員ならびに管理職の経験や教育委員会・総合教育センターでの勤務経験のある者が、その経験を生かして今日的な課題や具体的な対応等について指導していく	2	
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅲ	佐敷 恵成子 中村 祐之	2	4回生	(佐敷)小学校における教員ならびに管理職の経験、および教育委員会・総合教育センターでの勤務を経験した者が、その経験を活かして今日的な課題や実際の学校現場での対応等について理論とつなげながら具体的に指導していく (中村)①教員経験・教科指導(英語科、他)、学級担任(学級経営等)、生徒指導(補導主任等)、同和・人権主任、進路指導主事、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、人事主事(教育委員会)公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	

◆国際英語学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	国際英語学部	備考
						国際英語学部	
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅳ	佐敷 恵威子 中村 祐之	2	4回生	(佐敷)小学校での教員ならびに管理職の経験や教育委員会・総合教育センターでの勤務経験のある者が、その経験を生かして今日的課題や具体的な対応等について指導していく。 (中村)①教員経験・教科指導(英語科、他)、学級担任(学級経営等)、生徒指導(補導主任等)、同和・人権主任、進路指導主事、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、人事主事(教育委員会)公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	
学部等共通科目	ワークエクスベリエンス	南 了太	2	3回生	担当教員は、実務面では産学連携コーディネーターとして企業と豊富な連携実績をもっています。また、様々な実践プロジェクトを通じて受講生の就業意識の向上を図ってきました。さらに、大学事務職員としてキャリア支援(就職相談・面指導・履歴書作成指導・キャリアデザイン講座等)を担当したことがあります。理論面では経営学の博士号を有し、企業の様々な現象を研究しています。	2	

◆国際英語学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	国際英語学部	備考
						国際英語学部	
学部等共通科目	国際キャリア開発演習	山中 香織	2	3回生	企業勤務11年半(うち2年7カ月は海外勤務)、独立して会社設立後は人材育成・組織開発の研修コンサルティング業務を十数年経験する傍ら、国内大学等にて20年近い教育経験がある。企業では国際金融業務全般に従事、その後は研修講師として、新入社員からリーダー層・経営層に対するリーダーシップ・グローバル・企画立案研修や、研究開発部門などにおける組織開発支援を行っている。教育面では経営学(経営組織・組織行動・グローバルマーケティングなど)の講義を担当し、キャリア教育・異文化理解・ロジカル思考などについても教鞭を執っている。	2	
学部等共通科目	英語科教育法Ⅰ	中野 聡	2	3回生	公立小学校、中学校の英語科教員・管理職、県総合教育センター指導主事、市教委指導主事として教員の研修に関わってきました。前任勤務校では、小学校英語教育の在り方を中心に調査研究を進めてきました。国の施策、理論面の知識と実践の力が身に付くことを意識して授業を進めます。	2	
学部等共通科目	英語科教育法Ⅱ	中野 聡	2	3回生	公立小学校、中学校の英語科教員・管理職、県総合教育センター指導主事、市教委指導主事として教員の研修に関わってきました。前任勤務校では、小学校英語教育の在り方を中心に調査研究を進めてきました。国の施策、理論面の知識と実践の力が身に付くことを意識して授業を進めます。	2	
学部等共通科目	英語科教育法Ⅲ	中野 聡	2	3回生	公立小学校、中学校の英語科教員・管理職、県総合教育センター指導主事、市教委指導主事として教員の研修に関わってきました。前任勤務校では、小学校英語教育の在り方を中心に調査研究を進めてきました。国の施策、理論面の知識と実践の力が身に付くことを意識して授業を進めます。	2	
学部等共通科目	英語科教育法Ⅳ	中野 聡	2	3回生	公立小学校、中学校の英語科教員・管理職、県総合教育センター指導主事、市教委指導主事として教員の研修に関わってきました。前任勤務校では、小学校英語教育の在り方を中心に調査研究を進めてきました。国の施策、理論面の知識と実践の力が身に付くことを意識して授業を進めます。	2	
学部等共通科目	地歴科教育法Ⅰ	武田 章	2	3回生	社会科教諭として中高一貫校に約30年勤務していたため、中高6年間の社会科関係授業を担当してきたことに加え、勤務校が教育研究開発と教育実習を社会的使命とする学校であったため、新たな教育研究や教材開発に取り組んできたとともに、毎年3～6人の教育実習生を担当指導してきました。それらの経験を活かしながら、具体的な授業創りをしていく際の勘所を押さえた指導をしていきたいと考えています。	2	
学部等共通科目	日本語教材研究	千々岩 宏晃	2	4回生	授業担当者は日本・インドネシア・ルーマニアの大学で約15年日本語教育に従事。5年の日本語教師養成講座担当の経験を持つ。日本語教育能力検定試験合格。専門は日本語教育・会話分析。	2	
合計単位数						174	

◆発達教育学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	発達教育学部	
						児童教育学科	備考
学部等共通科目	アナウンス技術演習Ⅰ	平尾 和子	2	2回生	担当講師はフリーのアナウンサーとしてニュース番組に現在レギュラー出演中。またテレビリポーターやラジオのパーソナリティ、ナレーションや司会などの経験をもとに、スピーチやアナウンスの技術を指導する。	2	
学部等共通科目	アナウンス技術演習Ⅱ	平尾 和子	2	2回生	担当講師はフリーのアナウンサーとしてニュース番組に現在レギュラー出演中。またテレビリポーターやラジオのパーソナリティ、ナレーションや式典の司会などの経験をもとに、スピーチやアナウンスの技術を指導する。	2	
学部等共通科目	日本史概説Ⅱ	飯塚 一幸	2	1回生	教員は、『日本史探究』の教科書作成に携わった実務経験を有する。最新の歴史学、および歴史教育の成果を踏まえた授業を心がける。	2	
学部等共通科目	日本美術史Ⅱ	福士 雄也	2	1回生	博物館学芸員として、業務上さまざまな形で直接作品に接する機会が多い。授業では、画像イメージとして捉えられがちな作品の物質としての側面についても注意を喚起し、あわせて文化財の保存修理についても折に触れ取り上げる予定である。	2	
学部等共通科目	西洋美術史	河上 真理	2	1回生	ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学に提出した博士学位申請論文を元とする拙著『工部美術学校の研究 イタリア王国の美術外交と日本』(中央公論美術出版、2011年)及び、2017年日本建築学会著作賞を受賞した河上真理・清水重教『ミネルヴァ日本評伝 辰野金吾 美術は建築に応用されざるべからず』(ミネルヴァ書房、2015年)等の研究によって得た知見により、西洋美術史における根本的な問題点を示しながら、時代順に授業をおこなっていく。	2	
学部等共通科目	美術工芸史研究Ⅰ	小林 裕子	2	2回生	京都国立博物館に2023年3月まで在籍し、多くの展覧会に携わってきた。その展示経験の中から得られた京都の仏像および仏教美術全般に関して、全十四回の授業にそれぞれテーマを立てる。そのテーマにもとづきパワーポイントを用いてスライドを映し、作品の全体および詳細を見ながら講義を行う。	2	
学部等共通科目	建築遺産研究Ⅰ	深水 浩	2	2回生	建築保存活動、建築設計、まちづくり活動、ブランディングデザイン等を通して培った経験をもとに、建築遺産としての建築の可能性を多面的に解説する。	2	
学部等共通科目	建築遺産研究Ⅱ	山田 宏	2	3回生	これまで文化財建造物の調査と修理を行ってきた経験を踏まえて、実学からの建築説明を行う。	2	
学部等共通科目	歴史遺産研究Ⅱ	森井 綾乃	2	2回生	学芸員として勤務している教員が、日本の染織や服飾の歴史について解説する。	2	
学部等共通科目	子ども発達教育	倉持 祐二	2	1回生	教育現場と関わった経験や研究をもとにした、長年にわたる学科教員独自の教育・保育の研究成果の一環を伝えたい。	2	
学部等共通科目	教職入門	池田 修	2	1回生	公立中学校で国語科教諭として十九年間指導した経験をもとに、理論と実践の往還をしつつ指導する。時期学習指導要領に登場する可能性の高い、生成AIを活用した教育活動にも焦点を当てて実施する。	2	
学部等共通科目	教育心理学	湯澤 正通	2	1回生	特別支援教育士の資格をもち、全国の学校での研究授業や教育委員会等主催の研修会の講師を務め、特に、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に関する研究成果を現場の保育士・教師に伝えてきた。小学校教員・幼稚園教員に必要な教育心理学・発達心理学・学習心理学の基礎的知識の習得を目指し、幼稚園・保育園、学校現場で子どもの発達の現状や支援が必要な幼児・児童・生徒についての事例も紹介する。	2	
専門科目	絵画・工芸演習	山脇 市子 矢野 真	2	1回生	(沖中)担当教員は保育園・幼稚園での幼児の造形指導、保育者養成大学での教育に長年携わってきた。その経験を活かし、保育における造形活動の重要性を踏まえつつ、適切な課題を自ら作成できるように画材や表現方法を学び、適切な用具の取り扱いを習得することを授業内容とする。 (山脇)担当者は大学の発達教育において、小学校教諭・幼稚園教諭の免許取得科目としての図画工作を担当し、また並行して高等学校で工芸の授業も担当している。幼児の造形活動から、様々な発達段階に応じた造形教育の重要性を視野に、材料の特性や表現方法、適切な用具の使用を習得して作品制作を行い、子どもの造形表現の教育的価値を理解できるようにすることを授業の内容とする。 (矢野)担当教員は保育園・幼稚園での幼児の造形指導、保育者養成大学での教育に長年携わってきた。その経験を活かし、保育における造形活動の重要性を踏まえつつ、適切な課題を自ら作成できるように画材や表現方法を学び、適切な用具の取り扱いを習得することを授業内容とする。	2	
専門科目	こども理解Ⅱ(児童)	倉持 祐二	2	1回生	小学校の現場に20年以上務めた経験をもとに、具体的な事例を紹介しながら、現代の子ども理解の視点を示していく。	2	
学部等共通科目	英語概論	高田 悦子	1	1回生	教員は、私立小学校にて5年間、公立小学校にて20年以上英語指導を行っている。小学校英語指導者認定協会(J-shine)認定の指導者として小学校指導者認定コース講師を10年以上務めた。小学校での英語指導者としての基礎と実技の入門を体験してもらう。	1	
学部等共通科目	数学概論	西村 徳寿	1	1回生	中学校数学の指導経験や小中乗り合い授業の指導経験のある教員が算数教育と数学教育との接続を学生に考えさせるような授業を行う。	1	
専門科目	子どもの保健	瀬古 千佳子	2	1回生	管理栄養士、循環器病予防療養指導士、京都府糖尿病療養指導士の資格を持つ医療従事者である教員が、乳幼児期の生理的・身体的特徴および疾病とその予防について講義する。	2	
学部等共通科目	教科教育法(英語)	中野 聡	2	2回生	公立小学校、中学校の英語科教員・管理職、県総合教育センター指導主事、市教委指導主事として教員の研修に関わってきました。前任勤務校では、小学校英語教育の在り方を中心に調査研究を進めてきました。国の施策、理論面の知識と実践の力が身に付くことを意識して授業を進めます。	2	

◆発達教育学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	発達教育学部	
						児童教育学科	備考
学部等共通科目	特別活動論	土作 彰	2	2回生	小学校教員の経験を活かして、特別活動の具体的な指導法や評価法の在り方および全教育活動における意義について講義する。	2	
学部等共通科目	教科教育法(算数)	西村 徳寿	2	2回生	中学校数学の指導経験や小中乗り合い授業の指導経験のある教員が算数教育と数学教育との接続を学生に考えさせるような授業を行う。	2	
学部等共通科目	教科教育法(家庭)	守野 美佐子	2	2回生	38年の学校教員としての実務経験を生かして、児童の実態や関心・思考に基づいた授業展開や工夫などについて具体的に紹介する。模擬授業に関しても、教育実習生指導の経験に基づいて、現場に対応する指導をする。	2	
学部等共通科目	保育内容演習(表現)Ⅰ	沖中 重明	1	2回生	幼稚園、保育園での造形指導、子どもの造形教室での勤務を通して様々な造形表現の考え方と実践方法を指導する。	1	
学部等共通科目	保育内容演習(人間関係)Ⅰ	別府 悦子	1	2回生	臨床心理士、公認心理師として、保育所やこども園の実践にかかわる。	1	
学部等共通科目	保育内容演習(人間関係)Ⅱ	別府 悦子	1	2回生	公認心理師、臨床心理士として、保育所、認定こども園の実践にかかわる。	1	
学部等共通科目	音楽演習Ⅳ	佐敷 恵威子	2	3回生	保・幼・小・中・高・大、すべての校種において音楽の保育・授業、講義を実践してきた教員が、現場の状況を伝えながら子どもたちとどう向き合っていくのかを理論とつなげて毎回の授業(実技、演習)で指導していく。	2	
学部等共通科目	学級担任論	池田 修	2	2回生	公立中学校で国語科教諭として十九年間指導した経験をもとに、学級担任の仕事について理解させる。また、学級づくりのデザイン、学級の運営、評価の仕方などを指導する。	2	
学部等共通科目	教科教育法(国語)	池田 修	2	3回生	公立中学校で国語科教諭として十九年間指導した経験をもとに、授業づくりのデザイン、授業の運営、評価の仕方などを指導する。また、生成AIを活用し、授業づくり全般に関して効率化を図ることを目指す。	2	
学部等共通科目	教科教育法(社会)	池田 恭浩	2	3回生	小学校での教育経験を活かし、今日の社会科教育における課題や実践の状況を体験的に学ばせる。	2	
学部等共通科目	教科教育法(体育)	田中 真紀	2	3回生	小学校体育及び中学校保健体育の指導経験のある教員がその経験を活かし、今日の体育科教育における課題や授業づくりのデザイン、授業の運営、評価方法などを指導する。	2	
学部等共通科目	教育相談	別府 悦子	2	4回生	臨床心理士、公認心理師、特別支援学校教諭専修免許、小学校教諭1種免許、幼稚園教諭2種免許 大病院など医療機関等において、学校不適応児童および発達障害・精神疾患を抱え、相談援助の必要な子どもの心理アセスメントや発達相談、教師・保育者へのコンサルテーションを行ってきました。また、臨床心理士として、スクールカウンセラーが制度化される以前の活用調査事業の時代から従事したり、中学校、高等学校等のいじめ対策委員会に参画してきました。また、児童福祉審議会や子ども貧困対策委員会等の委員会に学識経験者の立場から参加し行政への提言も行ってきました。そうした現場での経験をふまえて、具体例に基づいた教育相談の役割、学校現場での不登校・いじめの実態や対策、課題について講じることができればと願っています。	2	
専門科目	障害児保育	岸本 栄嗣	2	2回生	心理職(保育所、認定こども園、児童発達支援センター、乳幼児健診などでの発達相談)の実務経験のある教員が、現場の実情をふまえた講義を行います。	2	
専門科目	保育実習指導Ⅰ-1	前田 典子 吉野 美保 深澤 素子 横田 敏子 笹田 寿三恵 三島 千明 義川 恭子 茨木 雅子	1	2回生	・長年の保育経験があり、その豊かな保育実践を活かして具体的な保育場面や子どもの姿を伝えながら、確かな保育観、子ども観とともに、今日における保育の課題も踏まえ、実践的な指導をする。	1	
専門科目	保育実習指導Ⅱ	前田 典子 吉野 美保 深澤 素子 横田 敏子 笹田 寿三恵 三島 千明 義川 恭子 茨木 雅子	1	3回生	・保育現場における長年の経験があり、豊かな実践を活かして具体的で実践的な指導をするとともに、確かな保育観や子ども観とともに、今日の保育の様々な課題を踏まえて指導にあたる。	1	

◆発達教育学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	発達教育学部	
						児童教育学科	備考
専門科目	学校・地域調査(国内)Ⅰ	倉持 祐二	1	2回生	小学校・中学校の現場の経験をもとに、具体的な事例を紹介しながら、現代の学校や子どもの見方を示していく。	1	
専門科目	学校・地域調査(国内)Ⅱ	前田 典子 吉野 美保 深澤 素子 横田 敏子 笹田 寿三恵 三島 千明 義川 恭子 茨木 雅子	1	3回生	保育現場における長年の豊富な保育経験を活かして、保育の今日的な課題を踏まえつつ、一人一人の学生に寄り添い、保育者として必要な資質と能力について、また子どもにとって望ましい保育のあり方について、具体的、実践的に指導する。	1	
専門科目	小学校ICT教育演習	池田 修	2	2回生	公立中学校でICTを活用した授業づくり、授業開発の経験を踏まえて行う。	2	
学部等共通科目	国語概論	乾 乃瑠子	1	2回生	1~6回目の担当教員は、日本語学・日本語教育を専門としており、日本語学校での指導経験があります。	1	
学部等共通科目	社会科概論	池田 恭浩	1	2回生	小学校での教育経験を活かして、社会科の授業を体験的に学ばせる。	1	
学部等共通科目	家庭科概論	小鶴 祥子	1	2回生	中学・高校の家庭科担当経験のある教員が、家庭科の内容(家族と家庭生活・衣食住・環境・消費問題)について、課題も踏まえて解説する。また、手縫いの基礎縫いの実習を行う。	1	
専門科目	子ども家庭支援の心理学	湯澤 正通	2	2回生	特別支援教育士の資格をもち、全国の学校での研究授業や教育委員会等主催の研修会の講師を務め、特に、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に関する研究成果を現場の保育士・教師に伝えてきた。小学校教員・幼稚園教員に必要な教育心理学・発達心理学・学習心理学の基礎的知識の習得を目指し、幼稚園・保育園、学校現場で子どもの発達の現状や支援が必要な幼児・児童・生徒についての事例も紹介する。	2	
専門科目	子ども家庭福祉	内本 充統	2	2回生	イギリスにてソーシャルワーカーの資格を取得後、現地の児童福祉事務所に勤務。帰国後は児童養護施設の指導員として、社会的養護を必要とする子どもたちの生活支援に携わった後に、NGO職員としてバングラデシュおよびネパールにおいて貧困児童支援プロジェクトに関わりました。当事者のエンパワメントを大切にし、主体性を尊重した支援を重視するとともに、実践経験をもとに、学生が「支援とは何か」を自ら考えられる授業づくりに取り組んでいます。	2	
専門科目	社会的養護Ⅰ	内本 充統	2	2回生	イギリスにてソーシャルワーカーの資格を取得後、現地の児童福祉事務所に勤務。帰国後は児童養護施設の指導員として、社会的養護を必要とする子どもたちの生活支援に携わった後に、NGO職員としてバングラデシュおよびネパールにおいて貧困児童支援プロジェクトに関わりました。当事者のエンパワメントを大切にし、主体性を尊重した支援を重視するとともに、実践経験をもとに、学生が「支援とは何か」を自ら考えられる授業づくりに取り組んでいます。	2	
専門科目	子どもの健康と安全	高田 智恵子	1	2回生	保健師である教員が地域における母子保健活動の経験を生かし、保育における保健的対応や関係機関との連携等について実践的な指導を行う。	1	
専門科目	子どもの食と栄養	瀬古 千佳子	2	2回生	管理栄養士、循環器病予防療養指導士、京都府糖尿病療養指導士の資格を持つ医療従事者である教員が、将来の生活習慣病発症及び重症化予防を視野に入れながら、子どもの食と栄養について講義する。	2	
専門科目	社会的養護Ⅱ	内本 充統	1	2回生	イギリスにてソーシャルワーカーの資格を取得後、現地の児童福祉事務所に勤務。帰国後は児童養護施設の指導員として、社会的養護を必要とする子どもたちの生活支援に携わった後に、NGO職員としてバングラデシュおよびネパールにおいて貧困児童支援プロジェクトに関わりました。当事者のエンパワメントを大切にし、主体性を尊重した支援を重視するとともに、実践経験をもとに、学生が「支援とは何か」を自ら考えられる授業づくりに取り組んでいます。	1	
専門科目	保育内容総論	前田 典子	1	3回生	公立幼稚園教諭、教育保育部署における教育行政経験を活かし、具体的な子どもの発達、生活や遊びの様子等とともに、子どもにとってふさわしい保育内容の在り方や幼児教育の今日的な課題等を実践的に伝える。	1	
学部等共通科目	小中英語科指導法	中野 聡	2	2回生	公立小学校、中学校の英語科教員・管理職、県総合教育センター指導主事、市教委指導主事として教員の研修に関わってきました。前任勤務校では、小学校英語教育の在り方を中心に調査研究を進めてきました。国の施策、理論面の知識と実践の力が身に付くことを意識して授業を進めます。	2	
専門科目	保育英語Ⅰ	高田 悦子	2	2回生	教師は、児童英語教室、幼稚園、公・私立小学校にて40年以上英語指導を行い、現在は英語専科教員として公立小学校の英語指導に携わっている。小学校英語指導者認定協会(J-shine)認定の上級認定指導者(現在は上級認定指導者+)資格者として小学校指導者認定コースの講師を10年以上務めた。幼児の英語指導者としての基礎と実技の入門を体験してもらおう。	2	
専門科目	保育英語Ⅱ	高田 悦子	2	2回生	教師は、児童英語教室、幼稚園、公・私立小学校にて40年以上英語指導を行い、現在は英語専科教員として公立小学校の英語指導に携わっている。小学校英語指導者認定協会(J-shine)認定の上級認定指導者(現在は上級認定指導者+)資格者として小学校指導者認定コースの講師を10年以上務めた。幼児の英語指導者としての基礎と実技の入門を体験してもらおう。	2	
専門科目	キャリア開発演習Ⅴ	伊藤 孝子	2	2回生	小学校での教員ならびに管理職の経験や教育委員会・総合教育センターでの勤務経験のある者が、その経験を生かして今日的課題や具体的な対応等について指導していく	2	

◆発達教育学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	発達教育学部	
						児童教育学科	備考
専門科目	保育実践演習Ⅰ	前田 典子	1	2回生	・保育現場での豊富な経験を有する教員が、理論と実践とが往還する学習指導を行い、学生が安心して保育実習にのぞめるようにサポートする。・保育現場における長年の豊富な保育経験を活かして、具体的な保育場面や子どもの姿を伝えながら、確かな保育観、子ども観とともに、保育者としての人間性や倫理観について今日における保育の課題も踏まえつつ、実習に向けての実践的な指導をする。	1	
学部等共通科目	特別支援教育論	別府 悦子	2	3回生	臨床心理士、公認心理師、養護学校教諭専修免許、小学校教諭1種免許、幼稚園教諭2種免許 自治体の保健所や保健センター、大学病院などの医療機関や障害幼児通園施設等において、子どもの発達相談や心理アセスメント、保育所・幼稚園・小中学校への巡回相談などをおこなってきました。そこでは、保健・医療・子育て支援に関わる機関、社会的養護の施設および保育所、幼稚園等との連携を重要視し、専門職や保護者との協力を重視してきました。また、適正就学指導委員会や自治体の児童福祉審議会など特別支援教育の施策に関わる業務にも携わってきました。そうした現場での経験を踏まえて、特別支援教育に関わる現状と課題、専門職に必要とされていることを講じることができればと考えています。	2	
専門科目	保育実習指導Ⅰ-2	前田 典子 吉野 美保 深澤 素子 横田 敏子 笹田 寿三恵 三島 千明 義川 恭子 茨木 雅子	1	3回生	長年の保育現場における保育経験を活かして、実習前後の学生の思いに寄り添うとともに、具体的な保育の実践や今日における子どもをめぐる課題も含め、保育者としてのあるべき姿について指導する。	1	
専門科目	保育実習Ⅲ	内本 充統	2	3回生	児童養護施設職員としての勤務経験をもとに、事例検討等を通じて実践力を高めます。	2	
学部等共通科目	教育実習指導	前田 典子 吉野 美保 深澤 素子 横田 敏子 笹田 寿三恵 三島 千明 義川 恭子 茨木 雅子	1	3回生	(倉持)小学校現場での経験を活かして、学校と子どもの現実に即した指導を行う。 長年の保育現場における幼児教育・保育の経験を活かし、幼稚園教育の基本を踏まえた保育の在り方や、幼児理解や保育者の役割、環境構成の重要性を具体的に指導する。	1	
専門科目	教育実習	倉持 祐二	4	3回生	小学校教員として、20年以上にわたる教育実習生への指導経験を活かし、教育実習に取り組む姿勢をはじめ、授業実践や子どもの指導に対する基礎・基本を身につけさせる。	4	
専門科目	総合的な学習の時間の指導法	倉持 祐二	1	3回生	小学校現場での経験を活かして、総合的な学習の時間の指導法を体験的に学ばせる。	1	
専門科目	子育て支援	別府 悦子	1	3回生	臨床心理士、公認心理師、幼稚園教諭2種免許 自治体の保健所や保健センター、大学病院などの医療機関や障害幼児通園施設等において、子どもの発達相談や心理アセスメント、保育所・幼稚園・小中学校への巡回相談などを行ってきました。そこでは、保健・医療・子育て支援に関わる機関、社会的養護の施設および保育所、幼稚園等の機関、専門職や保護者との連携や協力関係を重視してきました。また自治体の児童福祉審議会委員など子ども虐待や子ども貧困問題の施策に関わる業務にも携わってきました。そうした現場での経験を踏まえて、家庭支援に関わる現状と課題、専門職に必要とされていることを、「こどもまんなか」に考えることができればと考えています	1	
専門科目	乳児保育Ⅱ	青木 美智子	1	3回生	保育所・認定こども園における保育士経験を活かし、乳児の育ちと保育について理論的・体験的に学ぶ。	1	
専門科目	子ども家庭支援論	別府 悦子	2	3回生	別府悦子 臨床心理士、公認心理師 自治体の保健所や保健センター、大学病院などの医療機関や障害幼児通園施設等において、子どもの発達相談や心理アセスメント、保育所・幼稚園・小中学校への巡回相談などを行ってきました。そこでは、保健・医療・子育て支援に関わる機関、社会的養護の施設および保育所、幼稚園等の機関、専門職や保護者との連携や協力関係を重視してきました。また自治体の児童福祉審議会委員など子ども虐待や子ども貧困問題の施策に関わる業務にも携わってきました。そうした現場での経験を踏まえて、家庭支援に関わる現状と課題、専門職に必要とされていることを、「こどもまんなか」に考えることができればと考えています。内本充統 イギリスにてソーシャルワーカーの資格を取得後、現地の児童福祉事務所に勤務。帰国後は児童養護施設の指導員として、社会的養護を必要とする子どもたちの生活支援に携わりました。その後、NGO職員としてバン格拉デシュおよびネパールにおいて貧困児童支援プロジェクトに関わりました。当事者のエンパワメントを大切に、主体性を尊重した支援を重視するとともに、実践経験をもとに、学生が「支援とは何か」を自ら考えられる授業づくりに取り組んでいます。	2	
学部等共通科目	小中教育実習	倉持 祐二	4	3回生	20年以上の小中学校での実習指導の経験をふまえ、実り多い実習になるように実習生にはさまざまなアドバイスをしたい。	4	
専門科目	海外子ども事情	内本 充統	1	3回生	各教員は海外の子ども研究や、研修等で現地を訪問しています。こうした経験から得た知見を、学生と共有したいと思います。	1	

◆発達教育学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	発達教育学部	備考
						児童教育学科	
専門科目	教職実践演習	向井 夫佐代 西浦 弘望 西村 徳寿 前田 典子 青木 美智子 三島 千明	2	4回生	指導教員の小学校や中学校における教職経験を生かした授業を行う。 (前田)公立幼稚園教諭、教育保育部署における行政経験を活かし、保育の今日的な課題を踏まえつつ、保育技術だけでなく、保育の質にかかわる指導や地域との連携、保護者対応等について、具体的かつ実践的に指導する。 (青木)多年にわたる保育の経験者を迎え、保育の今日的な課題を踏まえつつ、保育技術だけでなく、保育の質にかかわる指導や地域との連携、保護者対応等について、具体的かつ実践的に指導する。 (三島)公立幼稚園教諭、教育保育部署における行政経験を活かし、保育の今日的な課題を踏まえつつ、保育技術だけでなく、保育の質にかかわる指導や地域との連携、保護者対応等について、具体的かつ実践的に指導する。	2	
学部等共通科目	教育実習(小学校)Ⅱ	倉持 祐二	2	4回生	小学校での教育実習生への指導経験を活かし、教科教育と教科外教育の両面にわたる教師の役割について指導する。	2	
学部等共通科目	社会調査法	山野 薫 堀 兼大朗	2	1回生	(山野)シンクタンクでの勤務経験を有する教員が、社会調査の豊富な経験を生かして、実例などを交えながら社会調査の実施に必要な知識について解説する。 (堀)これまで学術場面に限らず、ビジネスや地域社会の課題解決のために社会調査を行ってきた。その経験を生かして、実例などを交えながら社会調査の実施に必要な知識について解説する。	2	
全学共通科目	芸術と文化	山本 善則	2	1回生	現役ピアニストであり、数々のコンクールに携わってきた経験等を生かし、現代芸術教育における問題点や、新たな視点を実際にピアノ演奏を行いつつ説明します。	2	
全学共通科目	ジェンダーとダイバーシティ	水島 新太郎	2	1回生	奈良女性センター 市民講座講師千葉市男女共同参画センター さんかくカレッジ講師ジェンダーに関するデジタル新聞記事の執筆(産経デジタル、iRONNA)	2	
全学共通科目	異文化コミュニケーション論	樋谷 恒孝	2	1回生	担当者は国連に約10年勤務、アフリカや中東の紛争国に滞在し主に紛争解決や平和構築、開発に携わりました。また、国際協力機構(JICA)にて青年海外協力隊や企画調査員としてアフリカに滞在した経験があり、嘱託職員としてJICA本部、緒方貞子平和開発研究所に勤務していました。さらに民間企業(商社)に勤務・海外駐在し、アフリカや中東諸国との貿易・マーケティングに携わった経験も持っています。1年以上長期滞在した国はタイ、イギリス、アフリカ4か国(ブルキナファソ、アルジェリア、コンゴ民主共和国、中央アフリカ共和国)、イエメンの7か国、訪れた国は50か国を超え、そのうち30か国はアフリカの国々です。これらの経験を基に現場の事例などを交えながら授業を進めます。	2	
学部等共通科目	人間を考える	杉山 隆一	2	2回生	授業前半部(第1回～7回)を担当する杉山は外務省での勤務経験を有する。後半部(第8回～14回)を担当する樋谷はJICA、国連での平和構築に関する勤務経験を有する。	2	
学部等共通科目	情報技術の歴史と展開	工藤 寛樹	2	1回生	担当教員の専門分野はモバイル・コピキタスコンピューティング、人工知能であり、センシングや人の活動に紐ついて発生するデータを分析することにより人の暮らしをより豊かにする技術開発、研究を行っています。本講義では、情報技術の歴史的な発達の経緯に加えて、専門分野の研究活動によって得られた知見を交えながら将来の展開についても考察します。	2	
全学共通科目	私たちの暮らしと行政	竹内 直人	2	1回生	福井県庁で30年間、主に政策づくりに携わり、多様な政策を立案しました。大学に移ってからは経験を活かし、多くの市町や国、国際機関などの委員を務めています。国、県、市や町など複眼的な観点から人びとの生活と行政の関係を一緒に考えていきます。自治体職員による講義を行います。	2	
学部等共通科目	時事問題にふれる	平尾 毅	2	1回生	日本経済新聞社で30年以上、国内外の支局長はじめ記者、デスクとして企業経営、国際情勢、地域経済に関するニュースを取材、執筆、編集してきた実績とアカデミックな実績、背景を踏まえ、新聞記事の信頼性や記事執筆に至る取材やデータ分析のノウハウなどをわかりやすく伝える。	2	

◆発達教育学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	発達教育学部	備考
						児童教育学科	
学部等共通科目	日本と国際社会	佐久間 浩司	2	1回生	金融機関の国際分野での経験あり。イギリス、ドイツ駐在経験あり。短期出張ではアジア、中近東滞在経験あり。経験を適宜授業に織り込む。	2	
学部等共通科目	食と農から社会を考える	平賀 緑	2	1回生	香港と日本において、新聞社、金融機関、有機農業関連企業などに勤めながら、食・農・環境問題に取り組み市民活動を企画運営した経験を持つ。ロンドン市立大学修士(食料栄養政策)、京都大学博士(経済学)。著書『食べものから学ぶ現代社会—私たちを動かす資本主義のカラクリ』(岩波ジュニア新書、2024年)、『食べものから学ぶ世界史—人も自然も壊さない経済とは?』(岩波ジュニア新書、2021年)、『植物油の政治経済学—大豆と油から考える資本主義的食料システム』(昭和堂、2019年)など。	2	
全学共通科目	情報社会論	杉浦 昌	2	1回生	IT企業の情報システム部門や装置・システム設計開発部門、SI・コンサルティングビジネス部門での実務経験、政府系団体での実務経験のある教員が、テキストやスライド、配布資料、種々の公開資料、レポート、論文等を用いて授業をおこなう。授業は講義を中心にを行うが、理解の深化と確認のため、振り返り学習やレポート提出を実施する場合がある。	2	
学部等共通科目	心理学入門	浦田 洋	2	1回生	臨床心理士、及び公認心理師として長年実務に携わってきた担当者が、教科書を参考にしてあらゆる生活場面を心理学的に理解する視点について解説する。	2	
学部等共通科目	日本の伝統的建築と庭園	鈴木 あるの	2	1回生	資格・免許:一級建築士、二級建築士、一級造園施工管理士、全国通訳案内士、米国カリフォルニア州登録ランドスケープアーキテクト実務経験:国内外(日本、米国、イタリア)の建築設計事務所および造園設計事務所にて調査・計画・設計の実務。国カリフォルニア大学デービス校環境デザイン学科の専門科目(2000-2005年)および京都大学の国際交流教員科目(2008年~2012年)にて「日本の伝統的建築と庭園」を英語で講義・全国通訳案内士(英語)として京都と奈良の建築と庭園をガイド	2	
学部等共通科目	くすりのサイエンス	村木 優一	1	1回生	1回目 生命科学(京都薬科大学 細胞生物学分野 関根 勇一:日本・米国の大学でさまざまな研究を行ってきた教員が、病態解明や創薬につながる生命科学研究について解説する。)2回目 創薬・有機化学(京都薬科大学 薬品化学分野 大石 真也:新しい薬の探索・創製(創薬研究)に従事している教員が、薬づくりの現状・現実を講述する。)3回目 生薬・薬用植物(京都薬科大学 薬用植物園 月岡 淳子:薬用植物園で20年以上、植物の栽培研究に携わってきた教員が、漢方処方と配合される生薬や薬用植物について解説する。)4回目 薬剤・製剤(京都薬科大学 薬物動態学分野 伊藤 由佳子:薬剤学・製剤学研究に25年以上従事してきた教員が、製薬企業および国立大学病院との共同研究を通じて得た医薬品適正使用に必要なくすりの考え方について解説する。)5回目 分析・薬物代謝(京都薬科大学 代謝分析学分野 内藤 行喜:大学で10年以上、錯体化学をベースに新規作用メカニズムをもつ創薬研究を行ってきた教員が、体内での薬の動き、薬の作用メカニズムの分析方法、ならびに市販薬の品質管理に関する内容について解説する。)6回目 薬理・薬物治療(京都薬科大学 病態生化学分野 石原 慶一:国内外の大学や研究所において20年以上勤務、疾患の治療戦略研究に従事した経験のある教員が、くすりの作用と疾患治療について解説する。)7回目 臨床・実務(京都薬科大学 臨床薬理学分野 村木 優一:国立大学病院で16年勤務、様々な部署や病棟を経験し、感染症や医療薬学の専門資格を取得している教員が、医療現場における薬剤師の役割について解説する。)	1	
学部等共通科目	くらしの中の看護	征矢野 あや子	1	1回生	各授業回の内容に関連する臨床経験を有する教員が担当する。	1	
学部等共通科目	こどもの発達支援とこころの健康	真下 いずみ	1	1回生	精神科、発達領域での支援経験を有する教員が担当する。	1	
学部等共通科目	住居学概論	鈴木 あるの	2	1回生	免許・資格・役職:一級建築士、二級建築士、宅地建物取引士、一級造園施工管理士、米国カリフォルニア州登録ランドスケープアーキテクト、(マンション)管理業務主任者。日本民俗建築学会理事、元・日本マンション学会関西副支部長。実務経験:国内外の設計事務所および建設コンサルタントにて調査・計画・設計の業務経験あり。	2	
学部等共通科目	自然科学で考える	酒井 徳昭	2	2回生	本授業は3名の教員によるオムニバス形式で実施する。担当教員は、臨床工学技士として病院等での実務経験を有する教員ならびに、工学分野において養成校での指導経験を有する教員で構成されている。医療機器に関わる血液の流れ・呼吸・電気・溶液管理など、臨床現場で実際にみられる身近な自然科学の現象を題材に、数値や現象の意味を多角的に捉え、主体的に考えながら理解を深める姿勢を養う授業として実施する。	2	
学部等共通科目	日本語 I	河村 静江 中川 裕子 乾 乃璃子	2	1回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	
学部等共通科目	日本語 II	河村 静江 中川 裕子 乾 乃璃子	2	1回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	
学部等共通科目	日本語 III	中川 裕子 河村 静江	2	2回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	
学部等共通科目	日本語 IV	中川 裕子 河村 静江	2	2回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	
学部等共通科目	キャリア開発演習 II	乾 明紀	2	1回生	コンサルティング業界での、組織人事コンサルティングの実務に従事。その経験を活かし、学生・企業・講師に向けた研修等を多数実施。大学においても多くの大学でキャリア科目の指導経験有。	2	

◆発達教育学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	発達教育学部	
						児童教育学科	備考
学部等共通科目	就業体験準備実習	小山 大介 福原 崇之	2	1回生	担当教員は、民間企業での実務経験、産官学連携、企業・自治体調査・分析などの経験を有しており、その経験や現在も続けている現状分析などの情報を受講生へ積極的に伝える。	2	
学部等共通科目	学校等体験活動	柳澤 彰紀	1	1回生	教員は、公立中学校や中高一貫教育校、教職員の研修センターや教育委員会での勤務経験がある。行政や学校での管理職の経験を最大限に生かし、学校等体験活動の意義についての理解を図り、学生の教職への意欲を高めていく。教員に求められる資質能力の柱を整理して伝えながら、学生には理論と実践とをつなげて考えることや生徒目線の学校像・教師像からの転換を促す。「教育は人となり」の言葉がもつ意味を実感できるよう、コミュニケーション能力や対人関係力の向上も図りたい。	1	
学部等共通科目	人権と教育	井川 勝	2	2回生	佛光大学教職支援センター非常勤講師(実習指導講師)2020年4月～現在担当科目 教育実習指導／研究(集中講義)4月6時間12月2時間人権同和教育 春学期 14時間 ※ 2023年度より 春・秋学期 各14時間の予定1981年4月～2019年3月 京都市立小学校教員1981年4月～1988年3月 京都市立雲ヶ畑小学校教諭1988年4月～2000年3月 京都市立築只小学校教諭2000年4月～2005年3月 京都市教育委員会指導部指導主事2005年4月～2010年3月 京都市立梅津北小学校教頭2010年4月～2014年3月 京都市立常盤野小学校校長2014年4月～2016年3月 京都市立紫竹小学校校長2016年4月～2018年3月 京都市立向島南小学校校長2018年4月～2019年3月 京都市立築只小学校校長2019年4月～2024年3月 京都市教育委員会専門主事2023年4月～現在 京都橋大学非常勤講師	2	
学部等共通科目	生涯学習概論 I	堂本 雅也	2	1回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	2	
学部等共通科目	図書館概論	嶋田 学	2	1回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、図書館の機能や社会における意義、役割、今後の課題、展望等、公共(公立)図書館の基本について解説する。	2	
学部等共通科目	図書館制度・経営論	嶋田 学	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、公共(公立)図書館に関する法律、図書館政策、図書館経営のあり方等について解説する。	2	
学部等共通科目	図書館情報技術論	嶋田 学	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、公共(公立)図書館における情報技術についての基本的知識と実務的な取り組みについて解説する。	2	
学部等共通科目	図書館サービス概論	嶋田 学	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、現在公共(公立)図書館で実施されている図書館サービスの概要ならびに今後のあり方について解説する。	2	
学部等共通科目	情報サービス論	加藤 靖子	2	2回生	図書館のレファレンスサービス、発信型情報サービスや利用教育について、公共図書館での司書経験を有する教員が、参考図書・データベース等の情報を基盤にしたレファレンスサービス、情報検索技術を伴うサービス方法、発信型情報サービスや利用教育の展開や活用について解説する。	2	
学部等共通科目	児童サービス論	加藤 靖子	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、児童サービスについて講義をする。	2	
学部等共通科目	情報サービス演習 I	加藤 靖子	1	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、情報サービスにおける資料・情報の選択から、レファレンス回答および発信型情報サービスにいたるまで指導する。	1	
学部等共通科目	情報サービス演習 II	加藤 靖子 嶋田 学	1	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験に基づき、公共図書館サービスを実施するうえで情報サービスをどのように実施し活用するか、その内容・意義・活用方法について実習を交えながら解説する。	1	
学部等共通科目	図書館情報資源概論	加藤 靖子	2	2回生	公立図書館で司書実務及び館長としての経験をもつ教員が、図書館情報資源の収集から保存までの具体的手法及び取扱いについて解説する。	2	
学部等共通科目	情報資源組織論	尾松 謙一	2	2回生	図書館での実務経験(公立図書館20年、大学図書館9年)に基づき、目録作成の基礎を講義する。	2	
学部等共通科目	情報資源組織演習 I	井上 勝	1	2回生	公共図書館で、20年以上にわたり現場で実務に関わり、さまざまな図書館サービスを体験してきました。ここでは、カウンター業務などの日常的な業務はもちろん、レファレンスサービスや行事の計画立案、選書、蔵書管理などのほか、関係機関の各種審議会、委員会などを通じて、広域での図書館サービスの在り方等の政策形成立案等にも関わりました。これらの経験をもとに、この授業では公共図書館で各種のサービスを実施するうえで、書誌情報や主題情報をどのように活用するか、その内容・意義・活用方法について実習を交えながら解説する。	1	
学部等共通科目	図書館情報資源特論	加藤 靖子	1	2回生	公共(公立)図書館で司書として勤務した経験を有する教員が、児童書(絵本、児童文学、科学読物等)について講義をする。	1	
学部等共通科目	図書館施設論	嶋田 学	1	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務し、実際に図書館建設に携わった経験を有する教員が、公共(公立)図書館のあり方を、施設整備の面から解説する。	1	
学部等共通科目	学校経営と学校図書館	綿野 未来	2	2回生	学校図書館、公共図書館、大学図書館、専門学校図書館など、多様な館種で10年以上にわたり実務経験を有する教員が担当する。特に学校図書館分野に強みを持ち、選書・読書指導・情報活用能力育成・学校司書との連携など、現場で培った知識と技能を授業に反映する。実践的な事例を取り入れながら、学校司書として学校図書館運営を行ってきた経験を活かし、現場の現状を踏まえ学校図書館全般について講義する。	2	
学部等共通科目	学校図書館メディアの構成	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際の事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	
学部等共通科目	学習指導と学校図書館	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際の事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	

◆発達教育学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	発達教育学部	
						児童教育学科	備考
学部等共通科目	読書と豊かな人間性	網野 未来	2	2回生	学校図書館、公共図書館、大学図書館、専門学校図書館など、多様な館種で10年以上にわたり実務経験を有する教員が担当する。特に学校図書館分野に強みを持ち、選書・読書指導・情報活用能力育成・学校司書との連携など、現場で培った知識と技能を授業に反映する。実践的な事例を取り入れながら、学校司書として学校図書館運営を行ってきた経験を活かし、現場の現状を踏まえ学校図書館での読書活動全般について講義する。	2	
学部等共通科目	情報メディアの活用	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際の事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	
学部等共通科目	博物館教育論	佐藤 優香	2	1回生	担当教員は、博物館教育の研究者、実践者として20年以上のキャリアがある。これまでさまざまな博物館でプログラムの企画開発や展示の監修等を行ってきた。本講義は、博物館の持つメッセージ伝達機能と利用者の学びの関係、博物館教育の意義と方法等について講義とグループワークを通して学ぶ。グループワークやディスカッションを積極的に取り入れており、博物館利用者、展示、教育プログラムのデザインについて議論する。教育プログラムの評価や開発については、博物館へ赴き実際の試行を通して学ぶ。	2	
学部等共通科目	博物館情報・メディア論	木下 達文	2	1回生	博物館での実務経験ならびに展示業界における10年の経験を有している。	2	
学部等共通科目	博物館経営論	木下 達文	2	2回生	博物館における実務経験ならびに展示業界において10年の経験を有している。	2	
学部等共通科目	博物館資料論	山崎 頼人	2	2回生	担当者は地方自治体の職員として文化財・文化遺産の調査、保存と活用を計画し推進した経験があり、現在は博物館学芸員として、常設展・企画展・特別展などの企画運営、展示・保存環境の調整と維持、資料保存・博物館をめぐる社会的諸問題など多方面において講演等のアウトリーチに参画協力してきた。それらの経験をもとに博物館における資料の意味とさまざまな活かし方を講義する。	2	
学部等共通科目	博物館資料保存論	一瀬 和夫	2	2回生	文化財保存修復関係、文化財行政関係など、45年以上。	2	
学部等共通科目	博物館展示論	木下 達文	2	2回生	展示業界において10年の実務経験を有している。	2	
学部等共通科目	生涯学習概論Ⅱ	藤田 美佳	2	1回生	本講義を担当する教員は、①社会教育・生涯学習なかでも成人基礎教育および多様性に関わる多文化教育・異文化間教育を専門とし、大学で、社会教育や地域教育に関する講義や、社会教育主事養成課程の講義を担当している。②成人基礎教育に関しては、アメリカ、韓国における移民・難民に対する第二言語としての識字教育および日本国内の識字教育に関わる研究をしている。③大阪府内の自治体の生涯学習基本計画の制定に関わる役割を担い、教育委員会の事務執行にかかる点検・評価委員を10年以上にわたって務めてきた。④公益財団法人(公民館指定管理者)の評議員を務め、現在では、公民館長として、社会教育・生涯学習の実践に携わっている。以上の経験および研究の蓄積を生かして、欧米やアジアの事例を含む国内外の実践を踏まえた市民社会の発展と生涯学習の可能性について講義する。特に日本国内に関しては、多文化・多様性に関わる事例を通じて、現代社会に求められる社会教育・生涯学習についての理解を深められるよう多様な実践を紹介する。また、特色ある地域の社会教育・生涯学習関連施設の取り組みについて、フィールドワークの機会を設け、主体的な学習を促す。なお、受講生の興味・関心に則し、各回の講義内容については、受講生との話し合いにより、変更する場合がある。講義では、下記の内容を扱う。(1)講義のテーマとなる導入学習、課題の意識化についてのワークを含むオリエンテーション(2)社会教育・生涯学習に関する基礎的な学習(3)社会教育施設に関する学習・公民館・図書館・博物館 他(4)公民館の実践に関する学習(5)地域における社会教育・生涯学習実践(6)現代的な課題と社会教育・生涯学習(7)世界の社会教育・生涯学習政策と海外の実践に関する学習	2	
学部等共通科目	生涯学習支援論Ⅰ	堂本 雅也	2	2回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	2	
学部等共通科目	生涯学習支援論Ⅱ	堂本 雅也	2	2回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	2	
学部等共通科目	社会教育演習	堂本 雅也	2	2回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	2	
学部等共通科目	社会教育課題研究	堂本 雅也	1	2回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	1	
全学共通科目	健康に生きる	川村 晃右	2	1回生	保健師や助産師、看護師としての実務経験のある教員が担当する。	2	
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅰ	伊藤 孝子	2	3回生	小学校での教員ならびに管理職の経験や教育委員会・総合教育センターでの勤務経験のある者が、その経験を生かして今日的課題や具体的な対応等について指導していく	2	
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅱ	伊藤 孝子	2	3回生	小学校での教員ならびに管理職の経験や教育委員会・総合教育センターでの勤務経験のある者が、その経験を生かして今日的な課題や具体的な対応等について指導していく	2	

◆発達教育学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	発達教育学部	
						児童教育学科	備考
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅲ	佐敷 恵威子 中村 祐之	2	4回生	(佐敷)小学校における教員ならびに管理職の経験、および教育委員会、総合教育センターでの勤務を経験した者が、その経験を活かして今日的な課題や実際の学校現場での対応等について理論とつなげながら具体的に指導していく。 (中村)①教員経験・教科指導(英語科、他)、学級担任(学級経営等)、生徒指導(補導主任等)、同和・人権主任、進路指導主事、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、人事主事(教育委員会)公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅳ	佐敷 恵威子 中村 祐之	2	4回生	(佐敷)小学校での教員ならびに管理職の経験や教育委員会、総合教育センターでの勤務経験のある者が、その経験を活かして今日的課題や具体的な対応等について指導していく。 (中村)①教員経験・教科指導(英語科、他)、学級担任(学級経営等)、生徒指導(補導主任等)、同和・人権主任、進路指導主事、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、人事主事(教育委員会)公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	
学部等共通科目	英語科教育法Ⅰ	中野 聡	2	3回生	公立小学校、中学校の英語科教員・管理職、県総合教育センター指導主事、市教委指導主事として教員の研修に関わってきました。前任勤務校では、小学校英語教育の在り方を中心に調査研究を進めてきました。国の施策、理論面の知識と実践の力が身に付くことを意識して授業を進めます。	2	
学部等共通科目	英語科教育法Ⅱ	中野 聡	2	3回生	公立小学校、中学校の英語科教員・管理職、県総合教育センター指導主事、市教委指導主事として教員の研修に関わってきました。前任勤務校では、小学校英語教育の在り方を中心に調査研究を進めてきました。国の施策、理論面の知識と実践の力が身に付くことを意識して授業を進めます。	2	
学部等共通科目	英語科教育法Ⅳ	中野 聡	2	3回生	公立小学校、中学校の英語科教員・管理職、県総合教育センター指導主事、市教委指導主事として教員の研修に関わってきました。前任勤務校では、小学校英語教育の在り方を中心に調査研究を進めてきました。国の施策、理論面の知識と実践の力が身に付くことを意識して授業を進めます。	2	
学部等共通科目	国語科教育法Ⅰ	池田 修	2	3回生	公立中学校で国語科教諭として十九年間指導した経験をもとに、授業づくりのデザイン、授業の運営、評価の仕方などを指導する。また、生成AIを活用した授業の効率化、高質化に取り組む。	2	
学部等共通科目	国語科教育法Ⅱ	池田 修	2	3回生	公立中学校で国語科教諭として十九年間指導した経験をもとに、授業づくりのデザイン、授業の運営、評価の仕方などを指導する。特に、模擬授業を行う。また、生成AI時代に応じた授業の効率化、高質化に取り組む。	2	
学部等共通科目	博物館実習Ⅰ	肥後 弘幸	1	3回生	文化財調査員、博物館学芸員としての経験に基づき、発掘調査した遺跡の出土遺物の整理研究法を解説し実習を指導する。	1	
学部等共通科目	博物館実習Ⅱ	一瀬 和夫	1	3回生	博物館建設5年、学芸員7年、展示開発と展示の実施(一瀬)	1	
学部等共通科目	博物館実習Ⅲ	木下 達文	1	4回生	博物館における実務経験に加え、展示業界において10年の経験がある。	1	
学部等共通科目	社会教育実習	堂本 雅也	1	3回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	1	
学部等共通科目	日本語教材研究	千々岩 宏晃	2	4回生	授業担当者は日本・インドネシア・ルーマニアの大学で約15年日本語教育に従事。5年の日本語教師養成講座担当の経験を持つ。日本語教育能力検定試験合格。専門は日本語教育・会話分析。	2	
合計単位数						238	

◆総合心理学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	総合心理学部	備考
						総合心理学科	
専門科目	心理学統計法Ⅰ	前田 洋光	2	1回生	調査会社(シンクタンク)で研究員を務めた教員が統計の実践例を交えて解説する。	2	
専門科目	自己表現研究Ⅰ	岸 太一 ジェイムス 朋子 松下 幸治 石山 裕菜 大久保 千恵 濱田 智崇	2	1回生	心理臨床実践経験を有する教員が担当する。教員のファシリテーションのもと、安全に自己開示ができる空間を構築したうえで授業を進めていく。	2	
専門科目	臨床心理学概論	岸 太一	2	1回生	臨床心理士・公認心理師の資格を有する教員が講義を通じて臨床心理学を概説する。	2	
専門科目	パーソナリティ心理学	南波 英和	2	1回生	学校心理臨床の実務を基に、パーソナリティ心理学をどのように理解するか、解説を行う。	2	
専門科目	公認心理師の職責	石山 裕菜	2	1回生	相談員及び研究員として実務経験のある教員が、現場での体験を踏まえ、先行研究や事例を交えながら講義する。	2	
専門科目	人体の構造と機能及び疾病	大武 陽一	2	1回生	臨床医・産業医・公認心理師としての知見に基づき、臨床現場で遭遇する具体的な症例や、多職種連携(チーム医療)における実情を交えた講義を行う。	2	
専門科目	心理的アセスメントⅠ	田中 芳幸	2	2回生	臨床心理士・公認心理師である教員の下、心理的アセスメントに必要な諸理論を学ぶ。	2	
専門科目	健康・医療心理学	田中 芳幸	2	2回生	臨床心理士・公認心理師である教員の下、健康と医療に関わる心理学に関する知識と技能を学ぶ。	2	
専門科目	対人援助論	松下 幸治	2	2回生	臨床心理士及び公認心理師の資格を有する教員の下、対人援助の本質に関する講義を行う。	2	
専門科目	心理実践講義	前田 洋光	2	2回生	授業を担当する各講師はそれぞれが実務経験を有する。	2	
専門科目	カウンセリング	大久保 千恵	2	2回生	公認心理師・臨床心理士として、医療・教育・産業・発達領域での心理臨床の実務家としての臨床経験を活かして、事例などを織り交ぜて、わかりやすく説明することを心がけます。	2	
専門科目	コミュニティ心理学	宮井 研治	2	2回生	長らく児童福祉臨床の現場(児童相談所等)に従事してきた経験と、現在、スクールカウンセラー、保育所・認定こども園での保育士とのコンサルテーション等の経験を踏まえながらコミュニティを心理学的視点で講義する。	2	
専門科目	関係行政論	宮井 研治	2	2回生	臨床心理士・公認心理師としての実務経験を有する教員が、心の臨床実践における様々な領域での基盤となる「関係法令」「行政」「公認心理師としての職責・倫理」について教授する。	2	
専門科目	感情・人格心理学	坂本 久美	2	2回生	公認心理師および臨床心理士の資格を持ち、発達臨床やカウンセリングの業務にも従事している教員が、人の感情やパーソナリティについて概説しながら、臨床場面での具体的な症例の話もまじえて解説する。	2	
専門科目	福祉心理学	宮井 研治	2	2回生	公認心理師・臨床心理士として児童相談所等における実務経験を有する教員が、福祉心理学の展開と、心理における対人支援の実際について教授する。	2	
専門科目	心理的アセスメントⅡ	雲財 啓	2	3回生	実務を基に、心理検査の使用目的や用途などの解説を具体的にを行う。	2	
専門科目	心理学的支援法	濱田 智崇	2	3回生	臨床心理士として20年以上の実績があり、現在は公認心理師として様々な心理学的支援の実践に携わっている担当者が、実際に自分の担当した事例を紹介しながら、受講者にはそれらについてさらに考えてもらう。そのことにより、単に知識を得るだけでなく、実践で「使える」思考回路を養うことができると考えている。	2	
専門科目	障害者・障害児心理学	宮井 研治	2	3回生	「知的障害児通園施設」や「児童相談所」の心理職の実務経験を基にした授業を行う。	2	
専門科目	司法・犯罪心理学	ジェイムス 朋子	2	3回生	担当者は司法・犯罪領域における、心理臨床実践、処方開発とその研究、実践者の育成に関わる実務者であり、その実践的経験に基づき実際の犯罪行為やそれを犯した人々への理解を深められるような具体的題材を使用する。	2	
専門科目	心理演習	ジェイムス 朋子 大久保 千恵	2	3回生	公認心理師及び臨床心理士の資格を有する教員の指導の下、心理検査や心理面接に関する技能を修得する	2	
専門科目	環境心理学	石山 裕菜	2	3回生	相談員及び研究員として実務経験のある教員が、現場での体験を踏まえ、先行研究や事例を交えながら講義する。	2	
専門科目	コーチング心理学	中村 泰介	2	3回生	スポーツ競技の実践において、実践者、監督、コーチとして従事した経験がある。スポーツコーチングや小学校教諭免許状に必須の運動・体育関連科目、中学校、高等学校の保健体育免許状に必須の関連科目の担当経験もある。上記の経験を生かし、集団組織の中で必要とされる様々なスキル獲得を目指した授業を展開する。	2	

◆総合心理学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	総合心理学部	備考
						総合心理学科	
専門科目	メンタルヘルス・マネジメント	石山 裕菜	2	3回生	相談員及び研究員として実務経験のある教員が、現場での体験を踏まえ、先行研究や事例を交えながら講義する。	2	
専門科目	医療と生命の倫理	梶谷 佳子	2	3回生	病院での臨床経験を活用しながら、様々な倫理的課題を考察する。	2	
専門科目	精神疾患とその治療	川岸 久也	2	3回生	臨床医たる精神科医が、自信の経験を交えながら疾患理解につながるような話題を提供します。	2	
専門科目	心理実習	竹田 駿介	2	4回生	保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働のいずれかの領域または複数の領域において豊富な臨床経験をもつ教員が担当する	2	
学部等共通科目	広告とメディア	増谷 博昭	2	2回生	担当教員は、広告会社でコピーライターやクリエイティブディレクターなどの立場で、TVCM制作やイベント実施、Web構築、CSR(環境)報告書の作成などの実務経験を有しています。また、経営コンサルタントとして、企業幹部の人材育成や企業の戦略策定支援なども行っています。それらの経験を通じ、実社会と学生の橋渡しができる授業プログラムを展開します。	2	
専門科目	マーケティング・コミュニケーション	増谷 博昭	2	3回生	担当教員は、広告会社でコピーライターやクリエイティブディレクターなどの立場で、TVCM制作やイベント実施、Web構築、CSR(環境)報告書の作成などの実務経験を有しています。また、経営コンサルタントとして、企業幹部の人材育成や企業の戦略策定支援なども行っています。それらの経験を通じ、実社会と学生の橋渡しができる授業プログラムを展開します。	2	
全学共通科目	芸術と文化	山本 善則	2	1回生	現役ピアニストであり、数々のコンクールに携わってきた経験等を生かし、現代芸術教育における問題点や、新たな視点を実際にピアノ演奏を行いつつ説明します。	2	
全学共通科目	ジェンダーとダイバーシティ	水島 新太郎	2	1回生	奈良女性センター 市民講座講師千葉市男女共同参画センター さんかくカレッジ講師ジェンダーに関するデジタル新聞記事の執筆(産経デジタル、IRONNA)	2	
全学共通科目	異文化コミュニケーション論	樋谷 恒孝	2	1回生	担当者は国連に約10年勤務、アフリカや中東の紛争国に滞在し主に紛争解決や平和構築、開発に携わりました。また、国際協力機構(JICA)にて青年海外協力隊や企画調査員としてアフリカに滞在した経験があり、嘱託職員としてJICA本部、緒方貞子平和開発研究所に勤務していました。さらに民間企業(商社)に勤務・海外駐在し、アフリカや中東諸国との貿易・マーケティングに携わった経験も持っています。1年以上長期滞在した国はタイ、イギリス、アフリカ4か国(ブルキナファソ、アルジェリア、コンゴ民主共和国、中央アフリカ共和国)、イエメンの7か国、訪れた国は50か国を超え、そのうち30か国はアフリカの国々です。これらの経験を基に現場の事例などを交えながら授業を進めます。	2	
全学共通科目	私たちのくらしと行政	竹内 直人	2	1回生	福井県庁で30年間、主に政策づくりに携わり、多様な政策を立案しました。大学に移ってからは経験を活かして、多くの市町や国、国際機関などの委員を務めています。国、県、市や町など複眼的な観点から人びとの生活と行政の関係を一緒に考えていきます。自治体職員による講義を行います。	2	
全学共通科目	情報社会論	杉浦 昌	2	1回生	IT企業の情報システム部門や装置・システム設計開発部門、SI・コンサルティングビジネス部門での実務経験、政府系団体での実務経験のある教員が、テキストやスライド、配布資料、種々の公開資料、レポート、論文等を用いて授業をおこなう。授業は講義を中心に行うが、理解の深化と確認のため、振り返り学習やレポート提出を実施する場合がある。	2	
学部等共通科目	日本語Ⅰ	河村 静江 中川 裕子 乾 乃璃子	2	1回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	
学部等共通科目	日本語Ⅱ	河村 静江 中川 裕子 乾 乃璃子	2	1回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	
学部等共通科目	日本語Ⅲ	中川 裕子 河村 静江	2	2回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	
学部等共通科目	日本語Ⅳ	中川 裕子 河村 静江	2	2回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	
学部等共通科目	教職入門	塩谷 道次	2	1回生	①教員経験・教科指導(国語科、他)、学級担任(学級経営等)、学年主任(学年経営等)、同和・人権主任、生徒指導(生徒会担当)他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、③教育委員会経験・連合教職大学院みなし実務家教員、教職院人事課参事、研究課・カリキュラム開発支援センター・教員養成支援室首席指導主事、教育計画課・人権教育企画課指導主事 他公立学校(中学校)教員並びに管理職、教育委員会事務局勤務の経験を活かし、教育に関わる内容等についての学修と、様々な角度からの具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	
学部等共通科目	教育心理学	大久保 千恵 湯澤 正通	2	1回生	(大久保)教育領域における公認心理師・臨床心理士としての心理臨床の実務経験を活かして、教育心理学を理解することに役立つ臨床的なお話もさせていただきます。(湯澤)特別支援教育士の資格をもち、全国の学校での研究授業や教育委員会等主催の研修会の講師を務め、特に、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に関する研究成果を現場の保育士・教師に伝えてきた。小学校教員・幼稚園教員に必要な教育心理学・発達心理学・学習心理学の基礎的知識の習得を目指し、幼稚園・保育園、学校現場で子どもの発達の現状や支援が必要な幼児・児童・生徒についての事例も紹介する。	2	

◆総合心理学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	総合心理学部	備考
						総合心理学科	
学部等共通科目	学校等体験活動	柳澤 彰紀	1	1回生	教員は、公立中学校や中高一貫教育校、教職員の研修センターや教育委員会での勤務経験がある。行政や学校での管理職の経験を最大限に生かし、学校等体験活動の意義についての理解を図り、学生の教職への意欲を高めていく。教員に求められる資質能力の柱を整理して伝えながら、学生には理論と実践とをつなげて考えることや生徒目線の学校像・教師像からの転換を促す。「教育は人と人」の言葉がもつ意味を実感できるよう、コミュニケーション能力や対人関係力の向上も図りたい。	1	
学部等共通科目	中等教職教養講義Ⅰ	濱矢 全	2	2回生	①教員経験・教科指導(数学科、他)、学級担任(学級経営等)、学年主任(学年経営)、同和・人権教育主任、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	
学部等共通科目	中等教職教養講義Ⅱ	中村 祐之	2	2回生	①教員経験・教科指導(英語科、他)、学級担任(学級経営等)、生徒指導(補導主任等)、同和・人権主任、進路指導主事、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、人事主事(教育委員会)公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	
学部等共通科目	総合的な学習の時間の指導法	武田 章	1	2回生	中高一貫校において社会科教諭として長年勤務していたため、中高6年間の社会科関係の授業を担当してきたことに加えて、勤務校が教育研究開発と教育実習を社会的使命としていたことにより、総合的な学習をはじめとする新たな教育研究や教材の開発について取り組んできたとともに、毎年3・6人の教育実習生を担当指導してきた。それらの経験を生かしながら、具体的な授業づくりをしていく際の勘所を押さえた指導をしていきたい。	1	
学部等共通科目	特別活動論	池田 修 柳澤 彰紀	2	2回生	(池田)中学校教員の経験を活かして、特別活動の具体的な指導法や評価法の在り方について講義する。 (柳澤)中学校及び高等学校での経験を生かし、特別活動の具体的な指導法や評価法の在り方について講義する。受講生が教員として求められる資質能力を高められるようにする。	2	
学部等共通科目	人権と教育	井川 勝	2	2回生	佛科大学教職支援センター非常勤講師(実習指導講師)2020年4月～現在担当科目 教育実習指導/研究(集中講義)4月6時間12月2時間人権同和教育 春学期 14時間 ※ 2023年度より 春・秋学期 各14時間の予定1981年4月～2019年3月 京都市立小学校教員1981年4月～1988年3月 京都市立雲ヶ畑小学校教諭1988年4月～2000年3月 京都市立築只小学校教諭2000年4月～2005年3月 京都市教育委員会指導部指導主事2005年4月～2010年3月 京都市立梅津北小学校教頭2010年4月～2014年3月 京都市立常盤野小学校校長2014年4月～2016年3月 京都市立紫竹小学校校長2016年4月～2018年3月 京都市立向島南小学校校長2018年4月～2019年3月 京都市立築只小学校校長2019年4月～2024年3月 京都市教育委員会専門主事2023年4月～現在 京都橋大学非常勤講師	2	
学部等共通科目	生涯学習概論Ⅰ	壁本 雅也	2	1回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	2	
学部等共通科目	図書館概論	嶋田 学	2	1回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、図書館の機能や社会における意義、役割、今後の課題、展望等、公共(公立)図書館の基本について解説する。	2	
学部等共通科目	図書館制度・経営論	嶋田 学	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、公共(公立)図書館に関する法律、図書館政策、図書館経営のあり方等について解説する。	2	

◆総合心理学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	総合心理学部	備考
						総合心理学科	
学部等共通科目	図書館情報技術論	嶋田 学	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、公共(公立)図書館における情報技術についての基本的知識と実務的な取り組みについて解説する。	2	
学部等共通科目	図書館サービス概論	嶋田 学	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、現在公共(公立)図書館で実施されている図書館サービスの概要ならびに今後のあり方について解説する。	2	
学部等共通科目	情報サービス論	加藤 靖子	2	2回生	図書館のレファレンスサービス、発信型情報サービスや利用教育について、公共図書館での司書経験を有する教員が、参考図書・データベース等の情報を基盤にしたレファレンスサービス、情報検索技術を伴うサービス方法、発信型情報サービスや利用教育の展開や展望について解説する。	2	
学部等共通科目	児童サービス論	加藤 靖子	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、児童サービスについて講義をする。	2	
学部等共通科目	情報サービス演習Ⅰ	加藤 靖子	1	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、情報サービスにおける資料・情報の選択から、レファレンス回答および発信型情報サービスにいたるまで指導する。	1	
学部等共通科目	情報サービス演習Ⅱ	加藤 靖子 嶋田 学	1	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験に基づき、公共図書館サービスを実施するうえで情報サービスをどのように実施し活用するか、その内容・意義・活用方法について実習を交えながら解説する。	1	
学部等共通科目	図書館情報資源概論	加藤 靖子	2	2回生	公立図書館で司書実務及び館長としての経験をもつ教員が、図書館情報資源の収集から保存までの具体的手法及び取扱いについて解説する。	2	
学部等共通科目	情報資源組織論	尾松 謙一	2	2回生	図書館での実務経験(公立図書館20年、大学図書館9年)に基づき、目録作成の基礎を講義する。	2	
学部等共通科目	情報資源組織演習Ⅰ	井上 勝	1	2回生	公共図書館で、20年以上にわたり現場で実務に関わり、さまざまな図書館サービスを体験してきました。ここでは、カウンター業務などの日常的な業務はもちろん、レファレンスサービスや行事の計画立案、選書、蔵書管理などのほか、関係機関の各種審議会、委員会などを通じて、広域での図書館サービスの在り方等の政策形成立案等にも関わりました。これらの経験にもとづき、この授業では公共図書館で各種のサービスを実施するうえで、書誌情報や主題情報をどのように活用するか、その内容・意義・活用方法などについて実習を交えながら解説していきます。ともに学んでいきましょう。	1	
学部等共通科目	図書館情報資源特論	加藤 靖子	1	2回生	公共(公立)図書館で司書として勤務した経験を有する教員が、児童書(絵本、児童文学、科学読物等)について講義をする。	1	
学部等共通科目	図書館施設論	嶋田 学	1	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務し、実際に図書館建設に携わった経験を有する教員が、公共(公立)図書館のあり方を、施設整備の面から解説する。	1	
学部等共通科目	学校経営と学校図書館	綿野 未来	2	2回生	学校図書館、公共図書館、大学図書館、専門学校図書館など、多様な館種で10年以上にわたり実務経験を有する教員が担当する。特に学校図書館分野に強みを持ち、選書・読書指導・情報活用能力育成・学校司書との連携など、現場で培った知識と技能を授業に反映する。実践的な事例を取り入れながら、学校司書として学校図書館運営を行ってきた経験を活かし、現場の現状を踏まえ学校図書館全般について講義する。	2	
学部等共通科目	学校図書館メディアの構成	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際の事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	
学部等共通科目	学習指導と学校図書館	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際の事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	
学部等共通科目	読書と豊かな人間性	綿野 未来	2	2回生	学校図書館、公共図書館、大学図書館、専門学校図書館など、多様な館種で10年以上にわたり実務経験を有する教員が担当する。特に学校図書館分野に強みを持ち、選書・読書指導・情報活用能力育成・学校司書との連携など、現場で培った知識と技能を授業に反映する。実践的な事例を取り入れながら、学校司書として学校図書館運営を行ってきた経験を活かし、現場の現状を踏まえ学校図書館での読書活動全般について講義する。	2	
学部等共通科目	情報メディアの活用	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際の事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	
学部等共通科目	生涯学習概論Ⅱ	藤田 美佳	2	1回生	本講義を担当する教員は、①社会教育・生涯学習なかでも成人基礎教育および多様性に関わる多文化教育・異文化間教育を専門とし、大学で、社会教育や地域教育に関する講義や、社会教育主事養成課程の講義を担当している。②成人基礎教育に関しては、アメリカ、韓国における移民・難民に対する第二言語としての識字教育および日本国内の識字教育に関わる研究をしている。③大阪府内の自治体の生涯学習基本計画の制定に関わる役割を担い、教育委員会の事務執行にかかる点検・評価委員を10年以上にわたって務めてきた。④公益財団法人(公民館指定管理者)の評議員を務め、現在では、公民館長として、社会教育・生涯学習の実践に携わっている。以上の経験および研究の蓄積を生かして、欧米やアジアの事例を含む国内外の実践を踏まえた市民社会の発展と生涯学習の可能性について講義する。特に日本国内に関しては、多文化・多様性に関わる事例を通じて、現代社会に求められる社会教育・生涯学習についての理解を深められるよう多様な実践を紹介する。また、特色ある地域の社会教育・生涯学習関連施設の取り組みについて、フィールドワークの機会を設け、主体的な学習を促す。なお、受講生の興味・関心に則し、各回の講義内容については、受講生との話し合いにより、変更する場合がある。講義では、下記の内容を扱う。(1)講義のテーマとなる導入学習、課題の意識化についてのワークを含むオリエンテーション(2)社会教育・生涯学習に関する基礎的な学習(3)社会教育施設に関する学習(公民館・図書館・博物館 他)(4)公民館の実践に関する学習(5)地域における社会教育・生涯学習実践(6)現代的な課題と社会教育・生涯学習(7)世界の社会教育・生涯学習政策と海外の実践に関する学習	2	

◆総合心理学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	総合心理学部	備考
						総合心理学科	
全学共通科目	健康に生きる	川村 晃右	2	1回生	保健師や助産師、看護師としての実務経験のある教員が担当する。	2	
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅰ	伊藤 孝子	2	3回生	小学校での教員ならびに管理職の経験や教育委員会・総合教育センターでの勤務経験のある者が、その経験を生かして今日的課題や具体的な対応等について指導していく		
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅱ	伊藤 孝子	2	3回生	小学校での教員ならびに管理職の経験や教育委員会・総合教育センターでの勤務経験のある者が、その経験を生かして今日的な課題や具体的な対応等について指導していく		
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅲ	佐敷 恵威子 中村 祐之	2	4回生	(佐敷)小学校における教員ならびに管理職の経験、および教育委員会、総合教育センターでの勤務を経験した者が、その経験を活かして今日的な課題や実際の学校現場での対応等について理論とつなげながら具体的に指導していく (中村)①教員経験・教科指導(英語科、他)、学級担任(学級経営等)、生徒指導(補導主任等)、同和・人権主任、進路指導主事、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、人事主事(教育委員会)公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。		
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅳ	佐敷 恵威子 中村 祐之	2	4回生	(佐敷)小学校での教員ならびに管理職の経験や教育委員会・総合教育センターでの勤務経験のある者が、その経験を生かして今日的課題や具体的な対応等について指導していく。 (中村)①教員経験・教科指導(英語科、他)、学級担任(学級経営等)、生徒指導(補導主任等)、同和・人権主任、進路指導主事、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、人事主事(教育委員会)公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。		
学部等共通科目	ワークエクスペリエンス	南 了太	2	3回生	担当教員は、実務面では産学連携コーディネーターとして企業と豊富な連携実績をもっています。また、様々な実践プロジェクトを通じて受講生の就業意識の向上を図ってきました。さらに、大学事務職員としてキャリア支援(就職相談・面指導・履歴書作成指導・キャリアデザイン講座等)を担当したことがあります。理論面では経営学の博士号を有し、企業の様々な現象を研究しています。	2	
学部等共通科目	キャリア開発演習Ⅳ	乾 明紀	2	3回生	サービス業界での実務経験を経て、その経験を活かした、ビジネスマナーやキャリア形成の講座を実施。大学内キャリアセンターに従事し、学生を対象とした指導経験も多数。本科目以外にも様々な大学にてキャリア科目を指導。		
合計単位数						125	

◆経済学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	経済学部	備考
						経済学 科	
学部等共通科目	医療管理論Ⅰ	橋本 昌浩	2	1回生	急性期病院に約30年間勤務し、そのうち診療情報管理士として約20年間の勤務経験があります。担当業務は以下のとおりです。診療情報管理室の開設、電子カルテの導入・更新への参画、病院職員への個人情報保護教育の担当、診療録開示業務、プライバシーマーク導入の担当。民間病院において、DPC制度開始当初よりDPC請求を導入した経験を有し、DPCデータを活用した分析を通じて医療の質向上に努めた。QI事業への参画。日本診療情報管理学会認定「診療情報管理士指導者」資格を取得。日本診療情報管理学会の国際診療情報管理士教育課程を修了。日本診療情報管理学会、日本診療情報管理士会等で役員を歴任。以上の豊富な実務経験を有する教員が、教科書の内容に加え、現場で培った知識や事例を紹介しながら、診療情報管理について講義します。	2	
学部等共通科目	簿記Ⅰ	掛谷 純子	2	1回生	教員は公認会計士としての実務経験を持っており、その際の経験を踏まえた授業を行う。	2	
学部等共通科目	医療概論	戸田 省吾	2	1回生	2022年3月まで市立大津市民病院の副院長として診療業務全般の管理にたずさわり、また呼吸器外科医として肺癌の手術を中心に多くの手術を行い、そのほか心臓外科、消化器外科の診療も行ってきました。また、同月まで市立大津市民病院の診療情報管理室の室長も兼務しており、日々診療情報管理士のみならずと直接かかわって業務内容の相談、指示を行っていました。現在は医療法人蒼生会 台向病院の院長をしており、日々の臨床とともに診療情報管理の責任者もしています。これらの経験を活かした授業を行います。みなさんには初めての内容で難しく感じるとは思いますが、できるだけわかりやすく、要点を明確に示して講義を進めていきます。	2	
学部等共通科目	解剖生理学	大槻 俊輔	2	1回生	医育機関での内科救急の専門医・指導医であり、分子生物学者でもありました。ヒトのからだの役割や仕組み、疾病の成り立ちもすこし踏み込んでお教えします。英語もすこし織り交ぜます。	2	
専門科目	社会経済学	小山 大介	2	1回生	担当教員は、当該分野を専門領域とし、経済社会の実証研究を続ける。また、社会経済学の枠組みを利用し、調査・研究を進め、政策提言などを行っている。本講義は、経済学の基礎的理論を学ぶ「経済原論」として位置付けることができる。経済学には多様な学派が存在しているが、そのうち「社会経済学」における「経済原論」を学ぶ。	2	
専門科目	現代の経済と社会Ⅰ	石水 喜夫	2	1回生	担当教員は、いわゆる「官庁エコノミスト」で2021年度の本学における経済学部新設にあわせて中央省庁から移籍してきた。政府の総合調整部局で経済見通しや雇用政策の企画、立案を担当したほか、2006年版から2011年版までの「労働経済白書」で執筆責任者を6年連続で務めるなど、社会・公共政策に実務経験がある。本科目は、就職進路課(キャリアセンター)主催の「公務員試験デュアル講座(社会・公共政策講座)」で当該担当教員が実施してきた公務員就職指導の授業を継承し、2025年度より経済学部の正課科目として開講された。引き続き、キャリアセンターの運営する公務員試験対策講座との連携を確保した「デュアル講座」として運用されるので、本格的な公務員就職準備を始める前の入門的、初歩的講座として、低回数生の受講を推奨するものである。	2	
専門科目	データサイエンスⅠ	石水 喜夫	2	2回生	担当教員は、いわゆる「官庁エコノミスト」であり、2021年度の本学における経済学部新設にあわせて中央省庁から移籍してきた。政府の総合調整部局で経済見通しや雇用政策の企画、立案を担当したほか、2006年版から2011年版までの「労働経済白書」で執筆責任者を6年連続で務めている。経済分析に加え、与党・首相官邸との政策調整にもかかわり、国民への事実の提示と権力による世論誘導との狭間で、経済分析のあり方に関する問題意識を形成してきた。大学での「学問の自由」を基礎として、授業に主体的に参加する学生としっかり議論しながら講義を進めていく。	2	
専門科目	データサイエンスⅡ	小山 大介	2	2回生	本授業では、まず、社会に役立つ基礎的な統計分析の手法を学ぶ。その後、参加者が自身で目標設定を行い、プロジェクト(各種ランキングの構築)を完結させることを目指す。そのため、授業内容は、講師による講義とグループワークが基本となる。講師は、各種地域調査やデータ分析に携わっており、データ構築に関するアドバイスを適宜行うことができる。講師は、国内外に存在する統計分析に関する実務経験を有しており、その知見を活かし、授業のなかで統計分析手法、適切な統計へのアプローチ方法などを指導する。	2	
専門科目	応用マクロ経済学	小山 大介	2	2回生	担当教員は、世界経済論、多国籍企業論、地域経済学を研究領域としている。その専門的な知見にくわえ、新たな経済的事実を紹介しながら講義を進める。授業ではマクロ経済学の理論を応用に移し、マクロ経済学的視点から日本経済を見た時、どのようなことが分析できるのか検討する。	2	
学部等共通科目	非営利経済論	平賀 緑	2	3回生	食・農・環境、草の根自治からグローバリゼーションまで、幅広い分野の市民活動に関わっています。・認定NPO法人 環境市民(理事)・NPO法人 使い捨て時代を考える会(アーカイブ事業/50年史編集)・西日本アグロエコロジー協会(理事)・認定NPO法人 セカンドハーベスト京都(ボランティア)・NPO法人 AMネット(理事)・ミュンヒパリスム京都	2	
学部等共通科目	金融論	矢口 満	2	2回生	担当する教員は、最大手金融機関グループの銀行および証券会社などで31年間にわたる勤務経験を有する。この実務経験に基づき、金融システムの重要性や金融政策の役割について、理論的な知識と実践的な解釈を講義する。	2	
専門科目	国際金融論	矢口 満	2	2回生	担当する教員は、最大手金融機関グループの銀行・証券会社・研究所にて、海外駐在も含めて31年間にわたる勤務経験がある。この教員が、国際金融の基本から重要事項までについて、理論的な知識と実践的な解釈を解説する。	2	
専門科目	社会政策論	久本 憲夫	2	2回生	長年にわたって京都府参与として京都府の各種委員会に参画していただけでなく、京都地域最低賃金審議会会長なども歴任している。そうした政策の現場の経験も授業に生かす。	2	
学部等共通科目	医療管理論Ⅱ	橋本 昌浩	2	2回生	急性期病院に約30年間勤務し、そのうち診療情報管理士として約20年間の勤務経験があります。担当業務は以下のとおりです。診療情報管理室の開設、電子カルテの導入・更新への参画、病院職員への個人情報保護教育の担当、診療録開示業務、プライバシーマーク導入の担当。民間病院において、DPC制度開始当初よりDPC請求を導入した経験を有し、DPCデータを活用した分析を通じて医療の質向上に努めた。QI事業への参画。日本診療情報管理学会認定「診療情報管理士指導者」資格を取得。日本診療情報管理学会の国際診療情報管理士教育課程を修了。日本診療情報管理学会、日本診療情報管理士会等で役員を歴任。以上の豊富な実務経験を有する教員が、教科書の内容に加え、現場で培った知識や事例を紹介しながら、診療情報管理について講義します。	2	

◆経済学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	経済学部	備考
						経済学科	
学部等共通科目	医療管理論Ⅲ	橋本 昌浩	2	2回生	急性期病院に約30年間勤務し、そのうち診療情報管理士として約20年間の勤務経験があります。担当業務は以下のとおりです。診療情報管理室の開設、電子カルテの導入・更新への参画、病院職員への個人情報保護教育の担当、診療録開示業務、プライバシーマーク導入の担当。民間病院において、DPC制度開始当初よりDPC請求を導入した経験を有し、DPCデータを活用した分析を通じて医療の質向上に努めた。QI事業への参画。日本診療情報管理学会認定「診療情報管理士指導者」資格を取得。日本診療情報管理学会の国際診療情報管理士教育課程を修了。日本診療情報管理学会、日本診療情報管理士会等で役員を歴任。以上の豊富な実務経験を有する教員が、教科書の内容に加え、現場で培った知識や事例を紹介しながら、診療情報管理について講義します。	2	
学部等共通科目	保健医療情報学	橋本 昌浩	2	2回生	急性期病院に約30年間勤務し、そのうち診療情報管理士として約20年間の勤務経験があります。担当業務は以下のとおりです。診療情報管理室の開設、電子カルテの導入・更新への参画、病院職員への個人情報保護教育の担当、診療録開示業務、プライバシーマーク導入の担当。民間病院において、DPC制度開始当初よりDPC請求を導入した経験を有し、DPCデータを活用した分析を通じて医療の質向上に努めた。QI事業への参画。日本診療情報管理学会認定「診療情報管理士指導者」資格を取得。日本診療情報管理学会の国際診療情報管理士教育課程を修了。日本診療情報管理学会、日本診療情報管理士会等で役員を歴任。以上の豊富な実務経験を有する教員が、教科書の内容に加え、現場で培った知識や事例を紹介しながら、診療情報管理について講義します。	2	
学部等共通科目	情報セキュリティⅠ	寺田 雅之	2	2回生	授業担当者は、日本電信電話(株)および(株)NTTドコモにおいて、情報セキュリティ技術やプライバシー保護技術の研究開発に取り組み、その成果を「モバイル空間統計」や「秘匿クロス統計」などのサービスの実用化に結びつけてきました。これらの成果は、「科学技術分野における文部科学大臣表彰(科学技術賞)」や「技術・経営イノベーション大賞(総務大臣賞)」をはじめとする各種表彰を受賞するなど、社会的に高く評価されています。それらの経験に基づき、本科目で説明する技術が社会にどのようなメリットをもたらすのかを説明し、技術の必要性を理解してもらいたいと思います。	2	
学部等共通科目	診療情報管理論Ⅰ	橋本 昌浩	2	2回生	急性期病院に約30年間勤務し、そのうち診療情報管理士として約20年間の勤務経験があります。担当業務は以下のとおりです。診療情報管理室の開設、電子カルテの導入・更新への参画、病院職員への個人情報保護教育の担当、診療録開示業務、プライバシーマーク導入の担当。民間病院において、DPC制度開始当初よりDPC請求を導入した経験を有し、DPCデータを活用した分析を通じて医療の質向上に努めた。QI事業への参画。日本診療情報管理学会認定「診療情報管理士指導者」資格を取得。日本診療情報管理学会の国際診療情報管理士教育課程を修了。日本診療情報管理学会、日本診療情報管理士会等で役員を歴任。以上の豊富な実務経験を有する教員が、教科書の内容に加え、現場で培った知識や事例を紹介しながら、診療情報管理について講義します。	2	
学部等共通科目	診療情報管理論Ⅱ	橋本 昌浩	2	2回生	急性期病院に約30年間勤務し、そのうち診療情報管理士として約20年間の勤務経験があります。担当業務は以下のとおりです。診療情報管理室の開設、電子カルテの導入・更新への参画、病院職員への個人情報保護教育の担当、診療録開示業務、プライバシーマーク導入の担当。民間病院において、DPC制度開始当初よりDPC請求を導入した経験を有し、DPCデータを活用した分析を通じて医療の質向上に努めた。QI事業への参画。日本診療情報管理学会認定「診療情報管理士指導者」資格を取得。日本診療情報管理学会の国際診療情報管理士教育課程を修了。日本診療情報管理学会、日本診療情報管理士会等で役員を歴任。以上の豊富な実務経験を有する教員が、教科書の内容に加え、現場で培った知識や事例を紹介しながら、診療情報管理について講義します。	2	
学部等共通科目	臨床医学Ⅰ	戸田 寛	2	2回生	・医師として40年以上診療に携わってきた教員が、実務経験に基づいて担当範囲について解説する。・資格試験に役立つ要点についても分析して紹介する。・パワーポイントスライドを用いてプレゼンテーションを行う。	2	
学部等共通科目	臨床医学Ⅱ	鶴山 竜昭	2	2回生	臨床診断などに基づき実地的な授業を行う。	2	
学部等共通科目	臨床医学Ⅳ	戸田 省吾	2	2回生	2022年3月まで市立大津市民病院の副院長として診療業務全般の管理にたずさわり、また呼吸器外科医として肺癌の手術を中心に多くの手術を行い、そのほかに心臓外科、消化器外科の診療も行ってきました。また、同月まで市立大津市民病院の診療情報管理室の室長も兼務しており、日々診療情報管理士のみなさんと直接かかわって業務内容の相談、指示を行っていました。現在は医療法人喜望会 谷向病院の院長をしており、日々の臨床とともに診療情報管理の責任者もしています。これらの経験を活かした授業を行います。できるだけわかりやすく、要点を明確に示して講義を進めていきます。	2	
学部等共通科目	証券市場論	矢口 満	2	3回生	最大手金融機関グループで31年間(そのうちグループ内の主要証券会社で12年間)にわたり勤務した教員の指導の下、株式市場をはじめ様々な証券市場の機能を学ぶ。	2	
専門科目	貿易論	小山 大介	2	3回生	担当教員は、多国籍企業における貿易(企業内貿易)活動や日米商政策を研究分野の1つとしています。また、国境を横断する貿易(財・サービス)や投資が拡大するなかで、各国経済や国内地域経済がどのように変容していくのかについて、関心を持っています。貿易論においては、貿易理論だけでなく、現在の各国・地域間関係がどのようになっているのか、についても紹介していきます。	2	
専門科目	国際経済論	小山 大介	2	2回生	担当教員は、多国籍企業における貿易(企業内貿易)活動や通商政策、地域経済学を研究分野の1つとしています。また、国境を横断する貿易(財・サービス)や投資が拡大するなかで、各国経済や国内地域経済がどのように変容していくのかについて、関心を持っています。世界経済論においては、貿易や投資の実態、世界経済情勢にくわえ、現在の各国・地域間関係がどのようになっているのか、についても紹介していきます。	2	

◆経済学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	経済学部	備考
						経済学科	
学部等共通科目	自治体経営論	竹内 直人	2	3回生	自治体職員として政策形成に携った教員の指導の下、自治体の総合計画を素材に、地方自治の歴史、地方自治政策・地方行財政の基礎について学習する。自治体財政の課題や少子高齢化の進展、情報開示と説明責任への要求の高まりなど、自治体経営を取り巻く環境の変化について概観した上で、地方分権やニュー・パブリック・マネジメント、官民連携など、自治体経営における近年の新しい潮流について学ぶ。本年度は自治体総合計画を素材に、実務家の講演も織り込みながら講義を行う。	2	
専門科目	政策過程論	竹内 直人	2	3回生	福井県庁に30年間勤務し政策部門や財政部門における長い経験を持ち、多くの政策過程に関わってきた。また、大学奉職後は、民間企業の役員として経営に関わっており、政府と企業の政策過程、経営過程について経験が豊富であり、その経験を活かして政策形成の実態を分かり易く解説する。	2	
専門科目	地方行財政論	竹内 直人	2	3回生	自治体職員として財政部門や政策形成に携わり、国の委員や多くの自治体で行財政改革の審議会委員を務める教員の指導の下、地方自治政策・地方行財政論の基礎について学習する。また、自治体の首長を招いて講義をいただき、自治体経営の変化や苦勞を学ぶ。	2	
専門科目	政策評価論	江口 雅祥	2	3回生	担当教員(非常勤)は、経済学・経営学をバックグラウンドに、過去には民間リサーチ・コンサルティング会社に在籍し政府(国・地方自治体)等を支援するコンサルティング業務に約20年間従事し、現在は地方自治体等の人材開発トレーナーや組織開発ファシリテーターとして活動しています。実務経験を生かし、政府等の公開情報をフルに用いながら、アカデミックな知見をベースにしつつもプラクティカル(実践的)であることを重視します。公務員志望者だけでなく、実社会でリーダーシップを発揮し問題解決に取り組むことを志す全ての学生を歓迎します。	2	
専門科目	観光法規論	石床 渉	2	3回生	これまで観光産業に従事していた経験(宿泊・観光地域創生)を踏まえ、観光法規と観光実務の関係性について解説する。	2	
学部等共通科目	臨床医学総論	戸田 省吾	2	3回生	担当する戸田は救急病院で長らく救急・外傷治療に携わってきた。その経験をいかして講義を進めていく。	2	
学部等共通科目	病院実務実習	橋本 昌浩	1	3回生	急性期病院に約30年間勤務し、そのうち診療情報管理士として約20年間の勤務経験があります。担当業務は以下のとおりです。診療情報管理室の開設、電子カルテの導入・更新への参画、病院職員への個人情報保護教育の担当、診療録開示業務、プライバシーシールド導入の担当。民間病院において、DPC制度開始当初よりDPC請求を導入した経験を持ち、DPCデータを活用した分析を通じて医療の質向上に努めた。QI事業への参画。日本診療情報管理学会認定「診療情報管理士指導者」資格を取得。日本診療情報管理学会の国際診療情報管理士教育課程を修了。日本診療情報管理学会、日本診療情報管理士会等で役員を歴任。以上の豊富な実務経験を有する教員が、教科書の内容に加え、現場で培った知識や事例を紹介しながら、診療情報管理について講義します。	1	
学部等共通科目	国際統計分類	藤野 美幸	4	3回生	医療機関にて実際に診療情報管理士として勤務しておりました。現在、日本診療情報管理士会の評議員として教育委員会の活動に参加しております。教員の実務経験としては、診療情報管理士関連の教科書を10年以上非常勤講師として行っております。本講義では、診療情報管理で重要な業務であるコーディングについて学びます。コーディングの勉強を通して、実際の業務について触れ、診療情報管理士の業務を理解できることを目指します。	4	
学部等共通科目	診療情報総合演習Ⅰ	橋本 昌浩	4	3回生	急性期病院に約30年間勤務し、そのうち診療情報管理士として約20年間の勤務経験があります。担当業務は以下のとおりです。診療情報管理室の開設、電子カルテの導入・更新への参画、病院職員への個人情報保護教育の担当、診療録開示業務、プライバシーシールド導入の担当。民間病院において、DPC制度開始当初よりDPC請求を導入した経験を持ち、DPCデータを活用した分析を通じて医療の質向上に努めた。QI事業への参画。日本診療情報管理学会認定「診療情報管理士指導者」資格を取得。日本診療情報管理学会の国際診療情報管理士教育課程を修了。日本診療情報管理学会、日本診療情報管理士会等で役員を歴任。以上の豊富な実務経験を有する教員が、教科書の内容に加え、現場で培った知識や事例を紹介しながら、診療情報管理について講義します。	4	
学部等共通科目	診療情報総合演習Ⅱ	橋本 昌浩	4	3回生	急性期病院に約30年間勤務し、そのうち診療情報管理士として約20年間の勤務経験があります。担当業務は以下のとおりです。診療情報管理室の開設、電子カルテの導入・更新への参画、病院職員への個人情報保護教育の担当、診療録開示業務、プライバシーシールド導入の担当。民間病院において、DPC制度開始当初よりDPC請求を導入した経験を持ち、DPCデータを活用した分析を通じて医療の質向上に努めた。QI事業への参画。日本診療情報管理学会認定「診療情報管理士指導者」資格を取得。日本診療情報管理学会の国際診療情報管理士教育課程を修了。日本診療情報管理学会、日本診療情報管理士会等で役員を歴任。以上の豊富な実務経験を有する教員が、教科書の内容に加え、現場で培った知識や事例を紹介しながら、診療情報管理について講義します。	4	
学部等共通科目	会社法	仙波 亮一	2	2回生	行政書士としての実務経験を有する教員が、企業とその法規制について教授する。会社法における特に株式会社に関わる諸制度を、具体的な事例や条文を参照しながら解説する。法人性、資本制度、株式の譲渡や公開などの基本原理、株主総会や取締役会などの意思決定に関わる機関設計や組織編成、会計、監査制度などのファイナンス・ガバナンスの制度、これらの概要を事例を示しながら学習する。必要に応じて企業間の取引等商法に関する内容にも触れながら、会社法の理解を深める。	2	
学部等共通科目	管理会計論	井上 和子	2	2回生	一部上場製造業および中堅企業において、経理業務に従事後、税理士登録、税理士(原簿管理士・1級ファイナンシャルプランニング技能士(CFP))事務所を開業し、現在も税理士業務に従事しています。本講義では、今まさに、現実の社会・企業で行われている実際の様相・エピソードを盛り込み、管理会計の役割を体系的に理解できるよう講義をおこないます。	2	

◆経済学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	経済学部	備考
						経済学科	
学部等共通科目	保険論	近藤 隆則	2	2回生	大手銀行で20年以上にわたって勤務した教員の指導の下、リスクの基礎概念を学んだ上で、リスクマネジメントおよび保険について学習します。	2	
学部等共通科目	地域経営論	木下 達文	2	2回生	地域文化施設における地域文化資源調査の実績を有しているとともに、文化施設のプロデュース会社において10年の実績がある。	2	
学部等共通科目	税法	井上 和子	2	3回生	一部上場製造業および中堅企業において、経理業務に従事後、税理士登録。税理士(原簿管理士・1級ファイナンシャルプランニング技能士(CFP))事務所を開業し、現在も税理士業務に従事しています。本講義では、今まさに、現実の社会・企業で行われている実際の稼相・エピソードを盛り込み、税制の仕組みや役割を体系的に理解できるよう講義をおこないます。	2	
学部等共通科目	労働法	仙波 亮一	2	3回生	社会保険労務士としての実務経験を有する教員が、労働法のポイントとなる項目について、概観から、より深く、より広く、他の項目との関係にも留意しながら説明します。具体的な事例・裁判例を素材に、労働紛争の法的解決について考えます。労働基準法、労働契約法を中心とした個別的労働関係法と、労働組合法などの集団的労働関係法について学びます。この学習によって、大局的見地に立って的確な価値判断・意思決定を行うことができるようになることを目指します。	2	
学部等共通科目	非営利組織論	大野 宏之	2	3回生	・実務家教員(元大手スポーツ用品メーカープロダクトマーケティング管掌)四半世紀以上の企業キャリアの中で、入社以来デザイン、商品開発や商品を軸にしたマーケティング業務を経験してきた。日本オリンピック委員会、日本陸連などのNPOや地方行政組織にも関与するなどの横断的キャリアを背景に指導する。	2	
全学共通科目	芸術と文化	山本 善則	2	1回生	現役ピアニストであり、数々のコンクールに携わってきた経験等を生かし、現代芸術教育における問題点や、新たな視点を実際にピアノ演奏をいくつか説明します。	2	
全学共通科目	ジェンダーとダイバーシティ	水島 新太郎	2	1回生	奈良女性センター 市民講座講師千葉市男女共同参画センター さんかくカレッジ講師ジェンダーに関するデジタル新聞記事の執筆(産経デジタル、iRONNA)	2	
全学共通科目	異文化コミュニケーション論	樋谷 恒孝	2	1回生	担当者は国連に約10年勤務、アフリカや中東の紛争国に滞在し主に紛争解決や平和構築、開発に携わりました。また、国際協力機構(JICA)にて青年海外協力隊や企画調査員としてアフリカに滞在した経験があり、嘱託職員としてJICA本部、緒方貞子平和開発研究所に勤務していました。さらに民間企業(商社)に勤務・海外駐在し、アフリカや中東諸国との貿易・マーケティングに携わった経験も持っています。1年以上長期滞在した国はタイ、イギリス、アフリカ4か国(ブルキナファソ、アルジェリア、コンゴ民主共和国、中央アフリカ共和国)、イエメンの7か国、訪れた国は50か国を超え、そのうち30か国はアフリカの国々です。これらの経験を基に現場の事例などを交えながら授業を進めます。	2	
学部等共通科目	人間を考える	杉山 隆一	2	2回生	授業前半部(第1回~7回)を担当する杉山は外務省での勤務経験を有する。後半部(第8回~14回)を担当する樋谷はJICA、国連での平和構築に関する勤務経験を有する。	2	
学部等共通科目	情報技術の歴史と展開	工藤 寛樹	2	1回生	担当教員の専門分野はモバイル・ユビキタスコンピューティング、人工知能であり、センシングや人の活動に紐づいて発生するデータを分析することにより人の暮らしをより豊かにする技術開発、研究を行っています。本講義では、情報技術の歴史的な発達を経緯に加えて、専門分野の研究活動によって得られた知見を交えながら将来の展開についても考察します。	2	
全学共通科目	私たちの暮らしと行政	竹内 直人	2	1回生	福井県庁で30年間、主に政策づくりに携わり、多様な政策を立案しました。大学に移ってからは経験を活かして、多くの市町や国、国際機関などの委員を務めています。国、県、市や町など複眼的な観点から人びとの生活と行政の関係を一緒に考えていきます。自治体職員による講義を行います。	2	
学部等共通科目	時事問題にふれる	平尾 毅	2	1回生	日本経済新聞社で30年以上、国内外の支局長はじめ記者、デスクとして企業経営、国際情勢、地域経済に関するニュースを取材、執筆、編集してきた実績とアカデミックな実績、背景を踏まえ、新聞記事の信頼性や記事執筆に至る取材やデータ分析のノウハウなどをわかりやすく伝える。	2	

◆経済学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	経済学部	備考
						経済学 科	
学部等共通科目	日本と国際社会	佐久間 浩司	2	1回生	金融機関の国際分野での経験あり。イギリス、ドイツ駐在経験あり。短期出張ではアジア、中近東滞在経験あり。経験を適宜授業に織り込む。	2	
学部等共通科目	食と農から社会を考える	平賀 緑	2	1回生	香港と日本において、新聞社、金融機関、有機農業関連企業などに勤めながら、食・農・環境問題に取り組む市民活動を企画運営した経験を持つ。ロンドン市立大学修士(食料栄養政策)、京都大学博士(経済学)。著書に『食べものから学ぶ現代社会—私たちが動かす資本主義のカラクリ』(岩波ジュニア新書、2024年)、『食べものから学ぶ世界史—人も自然も壊さない経済とは?』(岩波ジュニア新書、2021年)、『植物油の政治経済学—大豆と油から考える資本主義的食料システム』(昭和堂、2019年)など。	2	
全学共通科目	情報社会論	杉浦 昌	2	1回生	IT企業の情報システム部門や装置・システム設計開発部門、SI・コンサルティングビジネス部門での実務経験、政府系団体での実務経験のある教員が、テキストやスライド、配布資料、種々の公開資料、レポート、論文等を用いて授業をおこなう。授業は講義を中心に行うが、理解の深化と確認のため、振り返り学習やレポート提出を実施する場合がある。	2	
学部等共通科目	心理学入門	浦田 洋	2	1回生	臨床心理士、及び公認心理師として長年実務に携わってきた担当者が、教科書を参考にしてあらゆる生活場面を心理学的に理解する視点について解説する。	2	
学部等共通科目	日本の伝統的建築と庭園	鈴木 あるの	2	1回生	資格・免許:一級建築士、二級建築士、一級造園施工管理士、全国通訳案内士、米国カリフォルニア州登録ランドスケープアーキテクト実務経験:・国内外(日本、米国、イタリア)の建築設計事務所および造園設計事務所にて調査・計画・設計の実務・国カリフォルニア大学デービス校環境デザイン学科の専門科目(2000-2005年)および京都大学の国際交流教養科目(2008年~2012年)にて「日本の伝統的建築と庭園」を英語で講義・全国通訳案内士(英語)として京都と奈良の建築と庭園をガイド	2	
学部等共通科目	くすりのサイエンス	村木 優一	1	1回生	1回目 生命科学(京都薬科大学 細胞生物学分野 関根 勇一:日本・米国の大学でさまざまな研究を行ってきた教員が、病態解明や創薬につながる生命科学研究について解説する。)2回目 創薬・有機化学(京都薬科大学 薬品化学分野 大石 真也:新しい薬の探索・創製(創薬研究)に従事している教員が、薬づくりの現状・現実を講述する。)3回目 生薬・薬用植物(京都薬科大学 薬用植物園 月岡 淳子:薬用植物園で20年以上、植物の栽培研究に携わってきた教員が、漢方処方配合される生薬や薬用植物について解説する。)4回目 薬剤・製剤(京都薬科大学 薬物動態学分野 伊藤 由佳子:薬剤学・製剤学研究に25年以上従事してきた教員が、製薬企業および国立大学病院との共同研究を通じて得た医薬品適正使用に必要なくすりの考え方について解説する。)5回目 分析・薬物代謝(京都薬科大学 代謝分析学分野 内藤 行喜:大学で10年以上、錯体化学をベースに新規作用メカニズムをもつ創薬研究を行ってきた教員が、体内での薬の動き、薬の作用メカニズムの分析方法、ならびに市販薬の品質管理に関する内容について解説する。)6回目 薬理・薬物治療(京都薬科大学 病態生化学分野 石原 慶一:国内外の大学や研究所において20年以上勤務、疾患の治療戦略研究に従事した経験を持つ教員が、“くすり”の作用と疾患治療について解説する。)7回目 臨床・実務(京都薬科大学 臨床薬剤学分野 村木 優一:国立大学病院で16年勤務、様々な部署や病棟を経験し、感染症や医療薬学の専門資格を取得している教員が、医療現場における薬剤師の役割について解説する。)	1	
学部等共通科目	くらしの中の看護	征矢野 あや子	1	1回生	各授業回の内容に関連する臨床経験を有する教員が担当する。	1	
学部等共通科目	こどもの発達支援とこころの健康	真下 いずみ	1	1回生	精神科、発達領域での支援経験を有する教員が担当する。	1	
学部等共通科目	住居学概論	鈴木 あるの	2	1回生	免許・資格・役職:一級建築士、二級建築士、宅地建物取引士、一級造園施工管理士、米国カリフォルニア州登録ランドスケープアーキテクト、(マンション)管理業務主任者、日本民俗建築学会理事、元・日本マンション学会関西支部長。実務経験:国内外の設計事務所および建設コンサルタントにて調査・計画・設計の業務経験あり。	2	
学部等共通科目	自然科学で考える	酒井 徳昭	2	2回生	本授業は3名の教員によるオムニバス形式で実施する。担当教員は、臨床工学技士として病院等での実務経験を有する教員ならびに、工学分野において養成校での指導経験を有する教員で構成されている。医療機器に関わる血液の流れ・呼吸・電気・溶液管理など、臨床現場で実際にみられる身近な自然科学の現象を題材に、数値や現象の意味を多角的に捉え、主体的に考えながら理解を深める姿勢を養う授業として実施する。	2	
学部等共通科目	日本語Ⅰ	河村 静江 中川 裕子 乾 乃璃子	2	1回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	
学部等共通科目	日本語Ⅱ	河村 静江 中川 裕子 乾 乃璃子	2	1回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	
学部等共通科目	日本語Ⅲ	中川 裕子 河村 静江	2	2回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	

◆経済学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	担当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	経済学部	備考
						経済 学 科	
学部等共通科目	日本語Ⅳ	中川 裕子 河村 静江	2	2回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	
学部等共通科目	キャリア開発演習Ⅱ	乾 明紀	2	1回生	コンサルティング業界での、組織人事コンサルティングの実務に従事。その経験を活かし、学生・企業・講師に向けた研修等を多数実施。大学においても多くの大学でキャリア科目の指導経験有。	2	
学部等共通科目	就業体験準備実習	小山 大介 福原 崇之	2	1回生	担当教員は、民間企業での実務経験、産官学連携、企業・自治体調査・分析などの経験を有しており、その経験や現在も続けている現状分析などの情報を受講生へ積極的に伝える。	2	
学部等共通科目	教職入門	塩谷 道次	2	1回生	①教員経験・教科指導(国語科、他)、学級担任(学級経営等)、学年主任(学年経営等)、同和・人権主任、生徒指導(生徒会担当) 他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、③教育委員会経験・連合教職大学院みなし実務家教員、教職院人事課参与、研究課・カリキュラム開発支援センター・教員養成支援室首席指導主事、教育計画課・人権教育企画課指導主事 他公立学校(中学校)教員並びに管理職、教育委員会事務局勤務の経験を活かし、教育に関わる内容等についての学修と、様々な角度からの具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	
学部等共通科目	教育心理学	大久保 千恵 湯澤 正通	2	1回生	(大久保)教育領域における公認心理師・臨床心理士としての心理臨床の実務経験を活かし、教育心理学を理解することに役立つ臨場的なお話もさせていただきます。 (湯澤)特別支援教育士の資格をもち、全国の学校での研究授業や教育委員会等主催の研修会の講師を務め、特に、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に関する研究成果を現場の保育士・教師に伝えてきた。小学校教員・幼稚園教員に必要な教育心理学・発達心理学・学習心理学の基礎的知識の習得を目指し、幼稚園・保育園、学校現場で子どもの発達の現状や支援が必要な幼児・児童・生徒についての事例も紹介する。	2	
学部等共通科目	学校等体験活動	柳澤 彰紀	1	1回生	教員は、公立中学校や中高一貫教育校、教職員の研修センターや教育委員会での勤務経験がある。行政や学校での管理職の経験を最大限に生かし、学校等体験活動の意義についての理解を図り、学生の教職への意欲を高めていく。教員に求められる資質能力の柱を整理して伝えながら、学生には理論と実践とをつなげて考えることや生徒目線の学校像・教師像からの転換を促す。「教育は人となり」の言葉がもつ意味を実感できるよう、コミュニケーション能力や人間関係力の向上も図りたい。	1	
学部等共通科目	中等教職教養講義Ⅰ	濱矢 全	2	2回生	①教員経験・教科指導(数学科、他)、学級担任(学級経営等)、学年主任(学年経営)、同和・人権教育主任、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	
学部等共通科目	中等教職教養講義Ⅱ	中村 祐之	2	2回生	①教員経験・教科指導(英語科、他)、学級担任(学級経営等)、生徒指導(補導主任等)、同和・人権主任、進路指導主事、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	
学部等共通科目	総合的な学習の時間の指導法	武田 章	1	2回生	中高一貫校において社会科教諭として長年勤務していたため、中高6年間の社会科関係の授業を担当してきたことに加えて、勤務校が教育研究開発と教育実習を社会的使命としていたことにより、総合的な学習をはじめとする新たな教育研究や教材の開発について取り組んできたとともに、毎年3・6人の教育実習生を担当指導してきた。それらの経験を生かしながら、具体的な授業づくりをしていく際の勘所を押さえた指導をしていきたい。	1	
学部等共通科目	特別活動論	池田 修 柳澤 彰紀	2	2回生	(池田)中学校教員の経験を活かし、特別活動の具体的な指導法や評価法の在り方について講義する。 (柳澤)中学校及び高等学校での経験を生かし、特別活動の具体的な指導法や評価法の在り方について講義する。受講生が教員として求められる資質能力を高められるようにする。	2	
学部等共通科目	教育相談	宮井 研治 別府 悦子	2	2回生	(宮井)臨床心理士、公認心理師。長らく臨床心理職員として、児童福祉現場(児童相談所、児童心理治療施設など)に従事する中で、幼稚園や小中高校などの教育現場との連携を経験してきた。現在はスクールカウンセラーとして教育機関に関わっている。また、認定こども園等へのコンサルテーションも行う。学校現場は、子どもの教育のみならず、育ちの現場であり、「不登校」「いじめ」「児童虐待」といった問題も同時にある現場である。そうした中で「教育相談」という科目は、将来教育を支えていくことを志向する学生にとって必然の学びの場であろう。臨床心理学視点から教育相談を学ぶ現場をサポートできたらと考える。 (別府)臨床心理士、公認心理師。特別支援学校教諭専修免許、小学校教諭1種免許、幼稚園教諭2種免許、大学病院など医療機関等において、学校不適応児童および発達障害・精神疾患を抱え、相談援助の必要な子どもの心理アセスメントや発達相談、教師・保育者へのコンサルテーションを行ってきました。また、臨床心理士として、スクールカウンセラーが制度化される以前の活用調査事業の時代から従事したり、中学校、高等学校等のいじめ対策委員会に参画してきました。また、児童福祉審議会や子ども貧困対策委員会等の委員会に学識経験者の立場から参加し行政への提言も行ってきました。そうした現場での経験をかまえて、具体例に基づいた教育相談の役割、学校現場での不登校・いじめの実態や対策、課題について講じることができればと考えています。	2	
学部等共通科目	人権と教育	井川 勝	2	2回生	佛教大学教職支援センター非常勤講師(実習指導講師)2020年4月～現在担当科目 教育実習指導／研究(集中講義)4月6時間12月2時間 人権同和教育 春学期 14時間 ※2023年度より 春・秋学期 各14時間の予定 1981年4月～2019年3月 京都市立小学校教員 1981年4月～1988年3月 京都市立雲ヶ畑小学校教諭 1988年4月～2000年3月 京都市立楽只小学校教諭 2000年4月～2005年3月 京都市教育委員会指導部指導主事 2005年4月～2010年3月 京都市立梅津北小学校教頭 2010年4月～2014年3月 京都市立常盤野小学校校長 2014年4月～2016年3月 京都市立紫竹小学校校長 2016年4月～2018年3月 京都市立向島南小学校校長 2018年4月～2019年3月 京都市立楽只小学校校長 2019年4月～2024年3月 京都市教育委員会専門主事 2023年4月～現在 京都橘大学非常勤講師	2	
学部等共通科目	生涯学習概論Ⅰ	堂本 雅也	2	1回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	2	

◆経済学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	担当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	経済学部	備考
						経済学 科	
学部等共通科目	図書館概論	嶋田 学	2	1回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、図書館の機能や社会における意義、役割、今後の課題、展望等、公共(公立)図書館の基本について解説する。	2	
学部等共通科目	図書館制度・経営論	嶋田 学	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、公共(公立)図書館に関する法律、図書館政策、図書館経営のあり方等について解説する。	2	
学部等共通科目	図書館情報技術論	嶋田 学	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、公共(公立)図書館における情報技術についての基本的知識と実務的な取り組みについて解説する。	2	
学部等共通科目	図書館サービス概論	嶋田 学	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、現在公共(公立)図書館で実施されている図書館サービスの概要ならびに今後のあり方について解説する。	2	
学部等共通科目	情報サービス論	加藤 靖子	2	2回生	図書館のレファレンスサービス、発信型情報サービスや利用教育について、公共図書館での司書経験を有する教員が、参考図書・データベース等の情報を基盤にしたレファレンスサービス、情報検索技術を伴うサービス方法、発信型情報サービスや利用教育の留意点等について解説する。	2	
学部等共通科目	児童サービス論	加藤 靖子	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、児童サービスについて講義をする。	2	
学部等共通科目	情報サービス演習 I	加藤 靖子	1	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、情報サービスにおける資料・情報の選択から、レファレンス回答および発信型情報サービスにいたるまで指導する。	1	
学部等共通科目	情報サービス演習 II	加藤 靖子 嶋田 学	1	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験に基づき、公共図書館サービスを実施するうえで情報サービスをどのように実施し活用するか、その内容・意義・活用方法について実習を交えながら解説する。	1	
学部等共通科目	図書館情報資源概論	加藤 靖子	2	2回生	公立図書館で司書実務及び館長としての経験をもつ教員が、図書館情報資源の収集から保存までの具体的手法及び取扱いについて解説する。	2	
学部等共通科目	情報資源組織論	尾松 謙一	2	2回生	図書館での実務経験(公立図書館20年、大学図書館9年)に基づき、目録作成の基礎を講義する。	2	
学部等共通科目	情報資源組織演習 I	井上 勝	1	2回生	公共図書館で、20年以上にわたり現場で実務に関わり、さまざまな図書館サービスを体験してきました。ここでは、カウンター業務などの日常的な業務はもちろん、レファレンスサービスや行事の計画立案、選書、蔵書管理などのほか、関係機関の各種審議会、委員会などを通じて、広域での図書館サービスの在り方等の政策形成立案等にも関わりました。これらの経験にもとづき、この授業では公共図書館で各種のサービスを実施するうえで、書誌情報や主題情報をどのように活用するか、その内容・意義・活用方法などについて実習を交えながら解説していきます。ともに学んでいきましょう。	1	
学部等共通科目	図書館情報資源特論	加藤 靖子	1	2回生	公共(公立)図書館で司書として勤務した経験を有する教員が、児童書(絵本、児童文学、科学読物等)について講義をする。	1	
学部等共通科目	図書館施設論	嶋田 学	1	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務し、実際に図書館建設に携わった経験を有する教員が、公共(公立)図書館のあり方を、施設整備の面から解説する。	1	
学部等共通科目	学校経営と学校図書館	綿野 未来	2	2回生	学校図書館、公共図書館、大学図書館、専門学校図書館など、多様な館種で10年以上にわたり実務経験を有する教員が担当する。特に学校図書館分野に強みを持ち、選書・読書指導・情報活用能力育成・学校司書との連携など、現場で培った知識と技能を授業に反映する。実践的な事例を取り入れながら、学校司書として学校図書館運営を行ってきた経験を活かし、現場の現状を踏まえ学校図書館全般について講義する。	2	
学部等共通科目	学校図書館メディアの構成	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際の事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	
学部等共通科目	学習指導と学校図書館	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際の事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	
学部等共通科目	読書と豊かな人間性	綿野 未来	2	2回生	学校図書館、公共図書館、大学図書館、専門学校図書館など、多様な館種で10年以上にわたり実務経験を有する教員が担当する。特に学校図書館分野に強みを持ち、選書・読書指導・情報活用能力育成・学校司書との連携など、現場で培った知識と技能を授業に反映する。実践的な事例を取り入れながら、学校司書として学校図書館運営を行ってきた経験を活かし、現場の現状を踏まえ学校図書館での読書活動全般について講義する。	2	
学部等共通科目	情報メディアの活用	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際の事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	
学部等共通科目	博物館教育論	佐藤 優香	2	1回生	担当教員は、博物館教育の研究者、実践者として20年以上のキャリアがある。これまでさまざまな博物館でプログラムの企画開発や展示の監修等を行ってきた。本講義は、博物館の持つメッセージ伝達機能と利用者の学びの関係、博物館教育の意義と方法等について講義とグループワークを通して学ぶ。グループワークやディスカッションを積極的に取り入れており、博物館利用者、展示、教育プログラムのデザインについて議論する。教育プログラムの評価や開発については、博物館へ赴き実際の試行を通して学ぶ。	2	
学部等共通科目	博物館情報・メディア論	木下 達文	2	1回生	博物館での実務経験ならびに展示業界における10年の経験を有している。	2	
学部等共通科目	博物館経営論	木下 達文	2	2回生	博物館における実務経験ならびに展示業界において10年の経験を有している。	2	

◆経済学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	経済学部	備考
						経済学 科	
学部等共通科目	博物館資料論	山崎 頼人	2	2回生	担当者は地方自治体の職員として文化財・文化遺産の調査、保存と活用を計画し推進した経験があり、現在は博物館学芸員として、常設展・企画展・特別展などの企画運営、展示・保存環境の調整と維持、資料保存・博物館をめぐる社会的諸問題など多方面において講演等のアウトリーチに参画協力してきた。それらの経験をもとに博物館における資料の意味とさまざまな活かし方を講義する。	2	
学部等共通科目	博物館資料保存論	一瀬 和夫	2	2回生	文化財保存修復関係、文化財行政関係など、45年以上。	2	
学部等共通科目	博物館展示論	木下 達文	2	2回生	展示業界において10年の実務経験を有している。	2	
学部等共通科目	生涯学習概論Ⅱ	藤田 美佳	2	1回生	本講義を担当する教員は、①社会教育・生涯学習なかでも成人基礎教育および多様性に関わる多文化教育・異文化間教育を専門とし、大学で、社会教育や地域教育に関する講義や、社会教育主事養成課程の講義を担当している。②成人基礎教育に関しては、アメリカ、韓国における移民・難民に対する第二言語としての識字教育および日本国内の識字教育に関わる研究をしている。③大阪府内の自治体の生涯学習基本計画の制定に関わる役職を担い、教育委員会の事務執行にかかる点検・評価委員を10年以上にわたって務めてきた。④公益財団法人(公民館指定管理者)の評議員を務め、現在では、公民館長として、社会教育・生涯学習の実践に携わっている。以上の経験および研究の蓄積を生かして、欧米やアジアの事例を含む国内外の実践を踏まえた市民社会の発展と生涯学習の可能性について講義する。特に日本国内に関しては、多文化・多様性に関わる事例を通じて、現代社会に求められる社会教育・生涯学習についての理解を深められるよう多様な実践を紹介する。また、特色ある地域の社会教育・生涯学習関連施設の取り組みについて、フィールドワークの機会を設け、主体的な学習を促す。なお、受講生の興味・関心に則し、各回の講義内容については、受講生との話し合いにより、変更する場合がある。講義では、下記の内容を扱う。(1)講義のテーマとなる導入学習、課題の意識化についてのワークを含むオリエンテーション(2)社会教育・生涯学習に関する基礎的な学習(3)社会教育施設に関する学習:公民館・図書館・博物館 他(4)公民館の実践に関する学習(5)地域における社会教育・生涯学習実践(6)現代的な課題と社会教育・生涯学習(7)世界の社会教育・生涯学習政策と海外の実践に関する学習	2	
学部等共通科目	生涯学習支援論Ⅰ	望本 雅也	2	2回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	2	
学部等共通科目	生涯学習支援論Ⅱ	望本 雅也	2	2回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	2	
学部等共通科目	社会教育演習	望本 雅也	2	2回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	2	
学部等共通科目	社会教育課題研究	望本 雅也	1	2回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	1	
全学共通科目	健康に生きる	川村 晃石	2	1回生	保健師や助産師、看護師としての実務経験のある教員が担当する。	2	
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅰ	伊藤 孝子	2	3回生	小学校での教員ならびに管理職の経験や教育委員会・総合教育センターでの勤務経験のある者が、その経験を生かして今日的課題や具体的な対応等について指導していく	2	
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅱ	伊藤 孝子	2	3回生	小学校での教員ならびに管理職の経験や教育委員会・総合教育センターでの勤務経験のある者が、その経験を生かして今日的な課題や具体的な対応等について指導していく	2	
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅲ	佐敷 恵威子 中村 祐之	2	4回生	(佐敷)小学校における教員ならびに管理職の経験、および教育委員会、総合教育センターでの勤務を経験した者が、その経験を活かして今日的な課題や実際の学校現場での対応等について理論とつなげながら具体的に指導していく (中村)①教員経験・教科指導(英語科、他)、学級担任(学級経営等)、生徒指導(補導主任等)、同和・人権主任、進路指導主事、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、人事主事(教育委員会)公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅳ	佐敷 恵威子 中村 祐之	2	4回生	(佐敷)小学校での教員ならびに管理職の経験や教育委員会・総合教育センターでの勤務経験のある者が、その経験を生かして今日的課題や具体的な対応等について指導していく。 (中村)①教員経験・教科指導(英語科、他)、学級担任(学級経営等)、生徒指導(補導主任等)、同和・人権主任、進路指導主事、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、人事主事(教育委員会)公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	
学部等共通科目	ワークエクスペリエンス	南 了太	2	3回生	担当教員は、実務面では産学連携コーディネーターとして企業と豊富な連携実績をもっています。また、様々な実践プロジェクトを通じて受講生の就業意識の向上を図ってきました。さらに、大学事務職員としてキャリア支援(就職相談・面指導・履歴書作成指導・キャリアデザイン講座等)を担当したことがあります。理論面では経営学の博士号を有し、企業の様々な現象を研究しています。	2	
学部等共通科目	キャリア開発演習Ⅳ	乾 明紀	2	3回生	サービス業界での実務経験を経て、その経験を活かした、ビジネスマナーやキャリア形成の講座を実施。大学内キャリアセンターに従事し、学生を対象とした指導経験も多数。本科目以外にも様々な大学にてキャリア科目を指導。	2	

◆経済学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	経済学部	備考
						経済学科	
学部等共通科目	地歴科教育法 I	武田 章	2	3回生	社会科教諭として中高一貫校に約30年勤務していたため、中高6年間の社会科関係授業を担当してきたことに加え、勤務校が教育研究開発と教育実習を社会的使命とする学校であったため、新たな教育研究や教材開発に取り組んできたとともに、毎年3～6人の教育実習生を担当指導してきました。それらの経験を活かしながら、具体的な授業創りをしていく際の勘所を押さえた指導をしていきたいと考えています。	2	

◆経済学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	担当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	経済学部	備考
						経済学科	
学部等共通科目	博物館実習Ⅰ	肥後 弘幸	1	3回生	文化財調査員、博物館学芸員としての経験に基づき、発掘調査した遺跡の出土遺物の整理研究法を解説し実習を指導する。	1	
学部等共通科目	博物館実習Ⅱ	一瀬 和夫	1	3回生	博物館建設5年、学芸員7年、展示開発と展示の実施(一瀬)	1	
学部等共通科目	博物館実習Ⅲ	木下 達文	1	4回生	博物館における実務経験に加え、展示業界において10年の経験がある。	1	
学部等共通科目	社会教育実習	堂本 雅也	1	3回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	1	
学部等共通科目	日本語教材研究	千々岩 宏晃	2	4回生	授業担当者は日本・インドネシア・ルーマニアの大学で約15年日本語教育に従事。5年の日本語教師養成講座担当の経験を持つ。日本語教育能力検定試験合格。専門は日本語教育・会話分析。	2	
合計単位数						224	

◆経営学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回数	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	経営学部	備考
						経営 学 科	
学部等共通科目	医療管理論Ⅰ	橋本 昌浩	2	1回生	急性期病院に約30年間勤務し、そのうち診療情報管理士として約20年間の勤務経験があります。担当業務は以下のとおりです。診療情報管理室の開設、電子カルテの導入・更新への参画、病院職員への個人情報保護教育の担当、診療録開示業務、プライバシーシールド導入の担当。民間病院において、DPC制度開始当初よりDPC請求を導入した経験を有し、DPCデータを活用した分析を通じて医療の質向上に努めた。QI事業への参画。日本診療情報管理学会認定「診療情報管理士指導者」資格を取得。日本診療情報管理学会の国際診療情報管理士教育課程を修了。日本診療情報管理学会、日本診療情報管理士会等で役員を歴任。以上の豊富な実務経験を有する教員が、教科書の内容に加え、現場で培った知識や事例を紹介しながら、診療情報管理について講義します。	2	
学部等共通科目	医療概論	戸田 省吾	2	1回生	2022年3月まで市立大津市民病院長の副院長として診療業務全般の管理にたずさわり、また呼吸器外科医として肺癌の手術を中心に多くの手術を行い、そのほかに心臓外科、消化器外科の診療も行ってきました。また、同月まで市立大津市民病院長の診療情報管理室の室長も兼任しており、日々診療情報管理士のみなさんと直接かかわって業務内容の相談、指示を行っていました。現在は医療法人喜望会 谷向病院の院長をしており、日々の臨床とともに診療情報管理の責任者もしています。これらの経験を活かした授業を行います。みなさんには初めての内容で難しく感じるとは思いますが、できるだけわかりやすく、要点を明確に示して講義を進めていきます。	2	
学部等共通科目	解剖生理学	大槻 俊輔	2	1回生	医育機関での内科救急の専門医・指導医であり、分子生物学者でもありました。ヒトのからだの役割や仕組み、疾病の成り立ちもすこし踏み込んでお教えします。英語もすこし織り交ぜます。	2	
学部等共通科目	医療管理論Ⅱ	橋本 昌浩	2	2回生	急性期病院に約30年間勤務し、そのうち診療情報管理士として約20年間の勤務経験があります。担当業務は以下のとおりです。診療情報管理室の開設、電子カルテの導入・更新への参画、病院職員への個人情報保護教育の担当、診療録開示業務、プライバシーシールド導入の担当。民間病院において、DPC制度開始当初よりDPC請求を導入した経験を有し、DPCデータを活用した分析を通じて医療の質向上に努めた。QI事業への参画。日本診療情報管理学会認定「診療情報管理士指導者」資格を取得。日本診療情報管理学会の国際診療情報管理士教育課程を修了。日本診療情報管理学会、日本診療情報管理士会等で役員を歴任。以上の豊富な実務経験を有する教員が、教科書の内容に加え、現場で培った知識や事例を紹介しながら、診療情報管理について講義します。	2	
学部等共通科目	医療管理論Ⅲ	橋本 昌浩	2	2回生	急性期病院に約30年間勤務し、そのうち診療情報管理士として約20年間の勤務経験があります。担当業務は以下のとおりです。診療情報管理室の開設、電子カルテの導入・更新への参画、病院職員への個人情報保護教育の担当、診療録開示業務、プライバシーシールド導入の担当。民間病院において、DPC制度開始当初よりDPC請求を導入した経験を有し、DPCデータを活用した分析を通じて医療の質向上に努めた。QI事業への参画。日本診療情報管理学会認定「診療情報管理士指導者」資格を取得。日本診療情報管理学会の国際診療情報管理士教育課程を修了。日本診療情報管理学会、日本診療情報管理士会等で役員を歴任。以上の豊富な実務経験を有する教員が、教科書の内容に加え、現場で培った知識や事例を紹介しながら、診療情報管理について講義します。	2	
学部等共通科目	保健医療情報学	橋本 昌浩	2	2回生	急性期病院に約30年間勤務し、そのうち診療情報管理士として約20年間の勤務経験があります。担当業務は以下のとおりです。診療情報管理室の開設、電子カルテの導入・更新への参画、病院職員への個人情報保護教育の担当、診療録開示業務、プライバシーシールド導入の担当。民間病院において、DPC制度開始当初よりDPC請求を導入した経験を有し、DPCデータを活用した分析を通じて医療の質向上に努めた。QI事業への参画。日本診療情報管理学会認定「診療情報管理士指導者」資格を取得。日本診療情報管理学会の国際診療情報管理士教育課程を修了。日本診療情報管理学会、日本診療情報管理士会等で役員を歴任。以上の豊富な実務経験を有する教員が、教科書の内容に加え、現場で培った知識や事例を紹介しながら、診療情報管理について講義します。	2	
学部等共通科目	情報セキュリティⅠ	寺田 雅之	2	2回生	授業担当者は、日本電信電話(株)および(株)NTTドコモにおいて、情報セキュリティ技術やプライバシー保護技術の研究開発に取り組み、その成果を「モバイル空間統計」や「秘匿クロス統計」などのサービスの実用化に結びつけてきました。これらの成果は、「科学技術分野における文部科学大臣表彰(科学技術賞)」や「技術・経営イノベーション大賞(総務大臣賞)」をはじめとする各種表彰を受賞するなど、社会的に高く評価されています。それらの経験に基づき、本科目で説明する技術が社会にどのようなメリットをもたらすかを説明し、技術の必要性を理解してもらいたいと思います。	2	
学部等共通科目	診療情報管理論Ⅰ	橋本 昌浩	2	2回生	急性期病院に約30年間勤務し、そのうち診療情報管理士として約20年間の勤務経験があります。担当業務は以下のとおりです。診療情報管理室の開設、電子カルテの導入・更新への参画、病院職員への個人情報保護教育の担当、診療録開示業務、プライバシーシールド導入の担当。民間病院において、DPC制度開始当初よりDPC請求を導入した経験を有し、DPCデータを活用した分析を通じて医療の質向上に努めた。QI事業への参画。日本診療情報管理学会認定「診療情報管理士指導者」資格を取得。日本診療情報管理学会の国際診療情報管理士教育課程を修了。日本診療情報管理学会、日本診療情報管理士会等で役員を歴任。以上の豊富な実務経験を有する教員が、教科書の内容に加え、現場で培った知識や事例を紹介しながら、診療情報管理について講義します。	2	
学部等共通科目	診療情報管理論Ⅱ	橋本 昌浩	2	2回生	急性期病院に約30年間勤務し、そのうち診療情報管理士として約20年間の勤務経験があります。担当業務は以下のとおりです。診療情報管理室の開設、電子カルテの導入・更新への参画、病院職員への個人情報保護教育の担当、診療録開示業務、プライバシーシールド導入の担当。民間病院において、DPC制度開始当初よりDPC請求を導入した経験を有し、DPCデータを活用した分析を通じて医療の質向上に努めた。QI事業への参画。日本診療情報管理学会認定「診療情報管理士指導者」資格を取得。日本診療情報管理学会の国際診療情報管理士教育課程を修了。日本診療情報管理学会、日本診療情報管理士会等で役員を歴任。以上の豊富な実務経験を有する教員が、教科書の内容に加え、現場で培った知識や事例を紹介しながら、診療情報管理について講義します。	2	
学部等共通科目	臨床医学Ⅰ	戸田 寛	2	2回生	・医師として40年以上診療に携わってきた教員が、実務経験に基づいて担当範囲について解説する。・資格試験に役立つ要点についても分析して紹介する。・パワーポイントスライドを用いてプレゼンテーションを行う。	2	

◆経営学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	経営学部	備考
						経営 学 科	
学部等共通科目	臨床医学Ⅱ	鶴山 竜昭	2	2回生	臨床診断などに基づき実地的な授業を行う。	2	
学部等共通科目	臨床医学Ⅳ	戸田 省吾	2	2回生	2022年3月まで市立大津市民病院の副院長として診療業務全般の管理にたずさわり、また呼吸器外科医として肺癌の手術を中心に多くの手術を行い、そのほかに心臓外科、消化器外科の診療も行ってきました。また、同月まで市立大津市民病院の診療情報管理室の室長も兼務しており、日々診療情報管理士のみなさんと直接かかわって業務内容の相談、指示を行っていました。現在は医療法人喜望会 谷向病院の院長をしており、日々の臨床とともに診療情報管理の責任者もしています。これらの経験を活かした授業を行います。できるだけわかりやすく、要点を明確に示して講義を進めていきます。	2	
学部等共通科目	自治体経営論	竹内 直人	2	3回生	自治体職員として政策形成に携わった教員の指導の下、自治体の総合計画を素材に、地方自治の歴史、地方自治政策・地方財政の基礎について学習する。自治体財政の課題や少子高齢化の進展、情報開示と説明責任への要求の高まりなど、自治体経営を取り巻く環境の変化について概観した上で、地方分権やニュー・パブリック・マネジメント、官民連携など、自治体経営における近年の新しい潮流について学ぶ。本年度は自治体総合計画を素材に、実務家の講演も織り込みながら講義を行う。	2	
学部等共通科目	臨床医学総論	戸田 省吾	2	3回生	担当する戸田は救急病院で長らく救急・外傷治療に携わってきた。その経験をいかして講義を進めていく。	2	
学部等共通科目	病院実務実習	橋本 昌浩	1	3回生	急性期病院に約30年間勤務し、そのうち診療情報管理士として約20年間の勤務経験があります。担当業務は以下のとおりです。診療情報管理室の開設、電子カルテの導入・更新への参画、病院職員への個人情報保護教育の担当、診療録開示業務、プライバシーマーク導入の担当。民間病院において、DPC制度開始当初よりDPC請求を導入した経験を有し、DPCデータを活用した分析を通じて医療の質向上に努めた。QI事業への参画。日本診療情報管理学会認定「診療情報管理士指導者」資格を取得。日本診療情報管理学会の国際診療情報管理士教育課程を修了。日本診療情報管理学会、日本診療情報管理士会等で役員を歴任。以上の豊富な実務経験を有する教員が、教科書の内容に加え、現場で培った知識や事例を紹介しながら、診療情報管理について講義します。	1	
学部等共通科目	国際統計分類	藤野 美幸	4	3回生	医療機関にて実際に診療情報管理士として勤務しておりました。現在、日本診療情報管理士会の評議員として教育委員会の活動に参加しております。教員の実務経験としては、診療情報管理士関連の教科を10年以上非常勤講師として行っております。本講義では、診療情報管理で重要な業務であるコーディングについて学びます。コーディングの勉強を通して、実際の業務について触れ、診療情報管理士の業務を理解できることを目指します。	4	
学部等共通科目	診療情報総合演習Ⅰ	橋本 昌浩	4	3回生	急性期病院に約30年間勤務し、そのうち診療情報管理士として約20年間の勤務経験があります。担当業務は以下のとおりです。診療情報管理室の開設、電子カルテの導入・更新への参画、病院職員への個人情報保護教育の担当、診療録開示業務、プライバシーマーク導入の担当。民間病院において、DPC制度開始当初よりDPC請求を導入した経験を有し、DPCデータを活用した分析を通じて医療の質向上に努めた。QI事業への参画。日本診療情報管理学会認定「診療情報管理士指導者」資格を取得。日本診療情報管理学会の国際診療情報管理士教育課程を修了。日本診療情報管理学会、日本診療情報管理士会等で役員を歴任。以上の豊富な実務経験を有する教員が、教科書の内容に加え、現場で培った知識や事例を紹介しながら、診療情報管理について講義します。	4	
学部等共通科目	診療情報総合演習Ⅱ	橋本 昌浩	4	3回生	急性期病院に約30年間勤務し、そのうち診療情報管理士として約20年間の勤務経験があります。担当業務は以下のとおりです。診療情報管理室の開設、電子カルテの導入・更新への参画、病院職員への個人情報保護教育の担当、診療録開示業務、プライバシーマーク導入の担当。民間病院において、DPC制度開始当初よりDPC請求を導入した経験を有し、DPCデータを活用した分析を通じて医療の質向上に努めた。QI事業への参画。日本診療情報管理学会認定「診療情報管理士指導者」資格を取得。日本診療情報管理学会の国際診療情報管理士教育課程を修了。日本診療情報管理学会、日本診療情報管理士会等で役員を歴任。以上の豊富な実務経験を有する教員が、教科書の内容に加え、現場で培った知識や事例を紹介しながら、診療情報管理について講義します。	4	
学部等共通科目	社会調査法	山野 薫 堀 兼大朗	2	1回生	(山野)シンクタンクでの勤務経験を有する教員が、社会調査の豊富な経験を生かして、実例などを交えながら社会調査の実施に必要な知識について解説する。 (堀)これまで学術場面に限らず、ビジネスや地域社会の課題解決のために社会調査を行ってきた。その経験を生かして、実例などを交えながら社会調査の実施に必要な知識について解説する。	2	
専門科目	金融入門	近藤 陸則	2	1回生	大手銀行で20年以上にわたって勤務した教員の指導の下、銀行、信用金庫、保険会社、証券会社、ノンバンクといった様々な種類の金融機関について、経済社会の中で果たしている役割や教員の実務経験を踏まえた業務内容について学びます。また近年発達を遂げつつあるフィンテック(情報処理技術と融合した各種の金融商品やサービスの総称)についても学びます。	2	
専門科目	簿記入門	井上 和子	2	1回生	一部上場製造業および中堅企業において、経理業務に従事後、税理士登録、税理士(原価管理士・1級ファイナンシャルプランニング技能士(CFP))事務所を開業し、現在も税理士業務に従事しています。本講義では、今まさに現実の社会・企業で行われている実際の稼働・エピソードを盛り込み、会計の仕組みや役割を体系的に理解できるように講義をおこないます。	2	
学部等共通科目	会社法	仙波 亮一	2	2回生	行政書士としての実務経験を有する教員が、企業とその法規制について教授する。会社法における特に株式会社に関する諸制度を、具体的な事例や条文を参照しながら解説する。法人性、資本制度、株式の譲渡や公開などの基本原理、株主総会や取締役会などの意思決定に関わる機関設計や組織編成、会計、監査制度などのファイナンス・ガバナンスの制度、これらの概要を事例を示しながら学ぶ。必要に応じて企業間の取引等商法に関する内容にも触れながら、会社法の理解を深める。	2	

◆経営学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回数	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	経営学部	備考
						経営 学 科	
学部等共通科目	管理会計論	井上 和子	2	2回生	一部上場製造業および中堅企業において、経理業務に従事後、税理士登録。税理士(原価管理士・1級ファイナンシャルプランニング技能士(CFP))事務所を開業し、現在も税理士業務に従事しています。本講義では、今まさに、現実の社会・企業で行われている実際の様相・エピソードを盛り込み、管理会計の役割を体系的に理解できるように講義をおこないます。	2	
学部等共通科目	保険論	近藤 陸則	2	2回生	大手銀行で20年以上にわたって勤務した教員の指導の下、リスクの基礎概念を学んだ上で、リスクマネジメントおよび保険について学習します。	2	
専門科目	経営組織論Ⅱ	仙波 亮一	2	2回生	社会保険労務士としての実務経験を有する教員が、組織(主に企業)での人(主に従業員)の行動について、経営管理と組織行動の分野における基本的な理論や概念を教えます。	2	
専門科目	ビジネス・ケーススタディ	松石 泰彦	2	2回生	各回のゲスト講師はすべて第一線で活躍する実務家であり、業務内容や業界情勢、自らの経験から若者に伝えたいことなどを講義する。	2	
専門科目	初級簿記	掛谷 純子	2	2回生	公認会計士としての実務経験を踏まえた授業を行う	2	
専門科目	中級簿記	掛谷 純子	2	2回生	公認会計士としての実務経験を踏まえた授業を行う	2	
学部等共通科目	広告とメディア	増谷 博昭	2	2回生	担当教員は、広告会社でコピーライターやクリエイティブディレクターなどの立場で、TVCM制作やイベント実施、Web構築、CSR(環境)報告書の作成などの実務経験を有しています。また、経営コンサルタントとして、企業幹部の人材育成や企業の戦略策定支援なども行っています。それらの経験を通じ、実社会と学生の橋渡しができる授業プログラムを展開します。	2	
専門科目	マーケティング・リサーチⅡ	山野 薫	2	2回生	シンクタンクでの勤務経験を有する教員が、マーケティング・リサーチの豊富な経験を生かして、実例などを交えながらリサーチ(調査)の実施に必要な知識について解説する。	2	
専門科目	ビジネス環境とマーケティング	増谷 博昭	2	2回生	担当教員は、広告会社でコピーライターやクリエイティブディレクターなどの立場で、TVCM制作やイベント実施、Web構築などの実務経験を有しています。また、経営コンサルタントとして、企業幹部の人材育成や産業財企業の戦略策定支援なども行っています。それらの経験を通じ、実社会と学生の橋渡しができる授業プログラムを展開します。	2	
学部等共通科目	アントレプレナーシップⅠ	丸山 一芳	2	2回生	学生が起業するための事業計画書を執筆したり、実際の事業を創造する大学院での勤務経験がある。	2	
専門科目	アントレプレナーシップⅡ	丸山 一芳	2	2回生	担当教員は、企業における実務経験と起業家を育成・支援する大学院での勤務経験がある。	2	
学部等共通科目	地域経営論	木下 達文	2	2回生	地域文化施設における地域文化資源調査の実績を有しているとともに、文化施設のプロデュース会社において10年の実績がある。	2	
専門科目	スポーツとメディア	大野 宏之	2	2回生	日本最大手のスポーツ用品関連企業におけるプロダクト開発・マーケティング部門の要職、経済シンクタンク客員研究員やスポーツクラブ非常勤経営企画室長などを歴任。SCMといった基幹業務構築、東京マラソンや直営事業にも関与するなどの横断的キャリアを背景に指導する。【メッセージ】ゲストスピーカーとして、クララ株式会社(https://www.clara.co.jp/) 家本社長のご講演を予定。15歳という年齢での起業に始まり、非常に多方面にわたる事業展開に成功、さらにスポーツ関連においてもBリーグプロチームの経営やスポーツITソリューション、レンタルサイクル事業など多岐の事業化を実現されている。	2	
専門科目	スポーツと流通	大野 宏之	2	2回生	日本最大手のスポーツ用品関連企業におけるプロダクト開発・マーケティング部門の要職、経済シンクタンク客員研究員やスポーツクラブ非常勤経営企画室長などを歴任。SCMといった基幹業務構築、東京マラソンや直営事業にも関与するなどの横断的キャリアを背景に指導する。	2	
専門科目	コーポレート・ファイナンス	近藤 陸則	2	3回生	大手銀行で20年以上にわたって勤務した教員の指導の下、資本の最適構成、コーポレート・ガバナンス、株主主権の問題点、新規株式公開(IPO)、合併・買収(M&A)、企業再生などについて、実務を踏まえた学びの場を提供します。	2	
専門科目	地域金融論	近藤 陸則	2	3回生	大手銀行で20年以上にわたって勤務した教員の指導の下、地域金融機関の役割や中小企業に対する地域金融機関の支援策についての実践的な知識を身に付けます。また、近畿地方の金融機関の特徴や動向についても、教員の実務経験も踏まえて触れます。	2	
専門科目	監査論	眞田 光昭	2	3回生	二つの銀行(日債銀(現あおぞら銀行)・滋賀銀行)での実務経験に加えて、3つの国際公認資格【注】を有する教員が、『内部監査』の理論と実務について、事例等を交え分かり易く解説します。授業の本論に加え、社会人/中小企業診断士として培った経験や知見等も、ランダムにお伝えしたいと思います。【注】公認内部監査人(CIA)、公認不正検査士(CFE)、公認情報システム監査人(CISA)	2	
学部等共通科目	税法	井上 和子	2	3回生	一部上場製造業および中堅企業において、経理業務に従事後、税理士登録。税理士(原価管理士・1級ファイナンシャルプランニング技能士(CFP))事務所を開業し、現在も税理士業務に従事しています。本講義では、今まさに、現実の社会・企業で行われている実際の様相・エピソードを盛り込み、税制の仕組みや役割を体系的に理解できるように講義をおこないます。	2	
学部等共通科目	マーケティング・コミュニケーション	増谷 博昭	2	3回生	担当教員は、広告会社でコピーライターやクリエイティブディレクターなどの立場で、TVCM制作やイベント実施、Web構築、CSR(環境)報告書の作成などの実務経験を有しています。また、経営コンサルタントとして、企業幹部の人材育成や企業の戦略策定支援なども行っています。それらの経験を通じ、実社会と学生の橋渡しができる授業プログラムを展開します。	2	
学部等共通科目	知的財産マネジメント	小田 哲明	2	3回生	弁理士として日米での実務経験及びベンチャー企業のメンター経験を有する教員が知的財産権及び知的財産戦略について説明する。	2	

◆経営学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	経営学部	備考
						経営 学 科	
学部等共通科目	労働法	仙波 亮一	2	3回生	社会保険労務士としての実務経験を有する教員が、労働法のポイントとなる項目について、概観から、より深く、より広く、他の項目との関係にも留意しながら説明します。具体的な事例・裁判例を素材に、労働紛争の法的解決について考えます。労働基準法、労働契約法を中心とした個別的労働関係法と、労働組合法などの集団的労働関係法について学びます。この学習によって、大局的見地に立って的確な価値判断・意思決定を行うことができるようになることを目指します。	2	
学部等共通科目	非営利組織論	大野 宏之	2	3回生	・実務家教員(元大手スポーツ用品メーカープロダクトマーケティング管掌)四半世紀以上の企業キャリアの中で、入社以来デザイン、商品開発や商品を軸にしたマーケティング業務を経験してきた。日本オリンピック委員会、日本陸連などのNPOや地方行政組織にも関与するなどの横断的キャリアを背景に指導する。	2	
全学共通科目	芸術と文化	山本 善則	2	1回生	現役ピアニストであり、数々のコンクールに携わってきた経験等を生かし、現代芸術教育における問題点や、新たな視点を実際にピアノ演奏をいくつか説明します。	2	
全学共通科目	ジェンダーとダイバーシティ	水島 新太郎	2	1回生	奈良女性センター 市民講座講師千葉市男女共同参画センター さんかくレッジ講師ジェンダーに関するデジタル新聞記事の執筆(産経デジタル、iRONNA)	2	
全学共通科目	異文化コミュニケーション論	樋谷 恒孝	2	1回生	担当者は国連に約10年勤務、アフリカや中東の紛争国に滞在し主に紛争解決や平和構築、開発に携わりました。また、国際協力機構(JICA)にて青年海外協力隊や企画調査員としてアフリカに滞在した経験があり、嘱託職員としてJICA本部、緒方貞子平和開発研究所に勤務していました。さらに民間企業(商社)に勤務・海外駐在し、アフリカや中東諸国との貿易・マーケティングに携わった経験も持っています。1年以上長期滞在した国はタイ、イギリス、アフリカ4か国(ブルキナファソ、アルジェリア、コンゴ民主共和国、中央アフリカ共和国)、イエメンの7か国、訪れた国は50か国を超え、そのうち30か国はアフリカの国々です。これらの経験を基に現場の事例などを交えながら授業を進めます。	2	
学部等共通科目	人間を考える	杉山 隆一	2	2回生	授業前半部(第1回～7回)を担当する杉山は外務省での勤務経験を有する。後半部(第8回～14回)を担当する樋谷はJICA、国連での平和構築に関する勤務経験を有する。	2	
学部等共通科目	情報技術の歴史と展開	工藤 寛樹	2	1回生	担当教員の専門分野はモバイル・コピキタスコンピューティング、人工知能であり、センシングや人の活動に紐づいて発生するデータを分析することにより人の暮らしをより豊かにする技術開発、研究を行っています。本講義では、情報技術の歴史的な発展の経緯に加えて、専門分野の研究活動によって得られた知見を交えながら将来の展開についても考察します。	2	
全学共通科目	私たちの暮らしと行政	竹内 直人	2	1回生	福井県庁で30年間、主に政策づくりに携わり、多様な政策を立案しました。大学に移ってからは経験を活かして、多くの市町や国、国際機関などの委員を務めています。国、県、市や町など複眼的な観点から人びとの生活と行政の関係を一緒に考えていきます。自治体職員による講義を行います。	2	
学部等共通科目	時事問題にふれる	平尾 毅	2	1回生	日本経済新聞社で30年以上、国内外の支局長はじめ記者、デスクとして企業経営、国際情勢、地域経済に関するニュースを取材、執筆、編集してきた実績とアカデミックな実績、背景を踏まえ、新聞記事の信頼性や記事執筆に至る取材やデータ分析のノウハウなどをわかりやすく伝える。	2	
学部等共通科目	日本と国際社会	佐久間 浩司	2	1回生	金融機関の国際分野での経験あり。イギリス、ドイツ駐在経験あり。短期出張ではアジア、中近東滞在経験あり。経験を適宜授業に織り込む。	2	
学部等共通科目	食と農から社会を考える	平賀 緑	2	1回生	香港と日本において、新聞社、金融機関、有機農業関連企業などに勤めながら、食・農・環境問題に取り組む市民活動を企画運営した経験を持つ。ロンドン市立大学修士(食料栄養政策)、京都大学博士(経済学)。著書に『食べものから学ぶ現代社会—私たちが動かす資本主義のカラクリ』(岩波ジュニア新書、2024年)、『食べものから学ぶ世界史—人も自然も壊さない経済とは?』(岩波ジュニア新書、2021年)、『植物油の政治経済学—大豆と油から考える資本主義的食料システム』(昭和堂、2019年)など。	2	
全学共通科目	情報社会論	杉浦 昌	2	1回生	IT企業の情報システム部門や装置・システム設計開発部門、SI・コンサルティングビジネス部門での実務経験、政府系団体での実務経験のある教員が、テキストやスライド、配布資料、種々の公開資料、レポート、論文等を用いて授業をおこなう。授業は講義を中心に行うが、理解の深化と確認のため、振り返り学習やレポート提出を実施する場合がある。	2	
学部等共通科目	心理学入門	浦田 洋	2	1回生	臨床心理士、及び公認心理師として長年実務に携わってきた担当者が、教科書を参考にしてあらゆる生活場面を心理学的に理解する視点について解説する。	2	
学部等共通科目	日本の伝統的建築と庭園	鈴木 あるの	2	1回生	資格・免許：一級建築士、二級建築士、一級造園施工管理士、全国通訳案内士、米国カリフォルニア州登録ランドスケープアーキテクト実務経験・国内外(日本、米国、イタリア)の建築設計事務所および造園設計事務所にて調査・計画・設計の実務、国カリフォルニア大学デービス校環境デザイン学科の専門科目(2000-2005年)および京都大学の国際交流教養科目(2008年～2012年)にて「日本の伝統的建築と庭園」を英語で講義・全国通訳案内士(英語)として京都と奈良の建築と庭園をガイド	2	

◆経営学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回数	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	経営学部	備考
						経営 学 科	
学部等共通科目	くすりのサイエンス	村木 優一	1	1回生	1回目 生命科学(京都薬科大学 細胞生物学分野 関根 勇一:日本・米国の大学でさまざまな研究を行ってきた教員が、病態解明や創薬につながる生命科学研究について解説する。)2回目 創薬・有機化学(京都薬科大学 薬品化学分野 大石 真也:新しい薬の探索・創製(創薬研究)に従事している教員が、薬づくりの現状・現実を講述する。)3回目 生薬・薬用植物(京都薬科大学 薬用植物園 月岡 淳子:薬用植物園で20年以上、植物の栽培研究に携わってきた教員が、漢方処方と配合される生薬や薬用植物について解説する。)4回目 薬剤・製剤(京都薬科大学 薬物動態学分野 伊藤 由佳子:薬剤学・製剤学研究に25年以上に従事してきた教員が、製薬企業および国立大学病院との共同研究を通じて得た医薬品適正使用に必要なくすりの考え方について解説する。)5回目 分析・薬物代謝(京都薬科大学 代謝分析学分野 内藤 行喜:大学で10年以上、錯体化学をベースに新規作用メカニズムをもつ創薬研究を行ってきた教員が、体内での薬の動き、薬の作用メカニズムの分析方法、ならびに市販薬の品質管理に関する内容について解説する。)6回目 薬理・薬物治療(京都薬科大学 病態生化学分野 石原 慶一:国内外の大学や研究所において20年以上勤務、疾患の治療戦略研究に従事した経験と有する教員が、「くすり」の作用と疾患治療について解説する。)7回目 臨床・実務(京都薬科大学 臨床薬理学分野 村木 優一:国立大学病院で16年勤務、様々な部署や病棟を経験し、感染症や医療薬学の専門資格を取得している教員が、医療現場における薬剤師の役割について解説する。)	1	
学部等共通科目	くらしの中の看護	征矢野 あや子	1	1回生	各授業回の内容に関連する臨床経験を有する教員が担当する。	1	
学部等共通科目	こどもの発達支援とこころの健康	真下 いずみ	1	1回生	精神科、発達領域での支援経験を有する教員が担当する。	1	
学部等共通科目	住居学概論	鈴木 あるの	2	1回生	免許・資格・役職:一級建築士、二級建築士、宅地建物取引士、一級造園施工管理士、米国カリフォルニア州登録ランドスケープアーキテクト、(マンション)管理業務主任者、日本民俗建築学会理事、元・日本マンション学会関西副支部長。実務経験:国内外の設計事務所および建設コンサルタントにて調査・計画・設計の業務経験あり。	2	
学部等共通科目	自然科学で考える	酒井 徳昭	2	2回生	本授業は3名の教員によるオムニバス形式で実施する。担当教員は、臨床工学技士として病院等での実務経験を有する教員ならびに、工学分野において養成校での指導経験を有する教員で構成されている。医療機器に関わる血液の流れ・呼吸・電気・溶液管理など、臨床現場で実際にみられる身近な自然科学の現象を題材に、数値や現象の意味を多角的に捉え、主体的に考えながら理解を深める姿勢を養う授業として実施する。	2	
学部等共通科目	日本語Ⅰ	河村 静江 中川 裕子 乾 乃瑠子	2	1回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	
学部等共通科目	日本語Ⅱ	河村 静江 中川 裕子 乾 乃瑠子	2	1回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	
学部等共通科目	日本語Ⅲ	中川 裕子 河村 静江	2	2回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	
学部等共通科目	日本語Ⅳ	中川 裕子 河村 静江	2	2回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	
学部等共通科目	キャリア開発演習Ⅱ	乾 明紀	2	1回生	コンサルティング業界での、組織人事コンサルティングの実務に従事。その経験を活かし、学生・企業・講師に向けた研修等を多数実施。大学においても多くの大学でキャリア科目の指導経験有。	2	
学部等共通科目	就業体験準備実習	小山 大介 福原 崇之	2	1回生	担当教員は、民間企業での実務経験、産官学連携、企業・自治体調査・分析などの経験を有しており、その経験や現在も続けている現状分析などの情報を受講生へ積極的に伝える。	2	
学部等共通科目	教職入門	塩谷 道次	2	1回生	①教員経験・教科指導(国語科、他)、学級担任(学級経営等)、学年主任(学年経営等)、同和・人権主任、生徒指導(生徒会担当)他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、③教育委員会経験・連合教職大学院のみならず実務家教員、教職院人事課参事、研究課・カリキュラム開発支援センター・教員養成支援室首席指導主事、教育計画課・人権教育企画課指導主事 他公立学校(中学校)教員並びに管理職、教育委員会事務局勤務の経験を活かし、教育に関わる内容等についての学修と、様々な角度からの具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	
学部等共通科目	教育心理学	大久保 千恵 湯澤 正通	2	1回生	(大久保)教育領域における公認心理師・臨床心理士としての心理臨床の実務経験を活かし、教育心理学を理解することに役立つ臨床的なお話をさせていただきます。 (湯澤)特別支援教育士の資格をもち、全国の学校での研究授業や教育委員会等主催の研修会の講師を務め、特に、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に関する研究成果を現場の保育士・教師に伝えてきた。小学校教員・幼稚園教員に必要な教育心理学・発達心理学・学習心理学の基礎的知識の習得を目指し、幼稚園・保育園、学校現場で子どもの発達の現状や支援が必要な幼児・児童・生徒についての事例も紹介する。	2	
学部等共通科目	学校等体験活動	柳澤 彰紀	1	1回生	教員は、公立中学校や中高一貫教育校、教職員の研修センターや教育委員会での勤務経験がある。行政や学校での管理職の経験を最大限に生かし、学校等体験活動の意義についての理解を図り、学生の教職への意欲を高めていく。教員に求められる資質能力の柱を整理して伝えるから、学生には理論と実践とをつなげて考えることや生徒目線の学校像・教師像からの転換を促す。「教育は人となり」の言葉がもつ意味を実感できるよう、コミュニケーション能力や対人関係力の向上も図りたい。	1	

◆経営学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回数	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	経営学部	備考
						経営 学 科	
学部等共通科目	中等教職教養講義Ⅰ	濱矢 全	2	2回生	①教員経験・教科指導(数学科、他)、学級担任(学級経営等)、学年主任(学年経営)、同和・人権教育主任、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	
学部等共通科目	中等教職教養講義Ⅱ	中村 祐之	2	2回生	①教員経験・教科指導(英語科、他)、学級担任(学級経営等)、生徒指導(補導主任等)、同和・人権主任、進路指導主事、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、人事主事(教育委員会)公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	
学部等共通科目	総合的な学習の時間の指導法	武田 章	1	2回生	中高一貫校において社会科教諭として長年勤務していたため、中高6年間の社会科関係の授業を担当してきたことに加えて、勤務校が教育研究開発と教育実習を社会的使命としていたことにより、総合的な学習をはじめとする新たな教育研究や教材の開発について取り組んできたことと、毎年3～6人の教育実習生を担当指導してきた。それらの経験を生かしながら、具体的な授業づくりをしていく際の勘所を押さえた指導をしていきたい。	1	
学部等共通科目	特別活動論	池田 修 柳澤 彰紀	2	2回生	(池田)中学校教員の経験を活かして、特別活動の具体的な指導法や評価法の在り方について講義する。 (柳澤)中学校及び高等学校での経験を生かし、特別活動の具体的な指導法や評価法の在り方について講義する。受講生が教員として求められる資質能力を高められるようにする。	2	
学部等共通科目	教育相談	宮井 研治 別府 悦子	2	2回生	(宮井)臨床心理士、公認心理師。長らく臨床心理職員として、児童福祉現場(児童相談所、児童心理治療施設など)に従事する中で、幼稚園や小中学校などの教育現場との連携を経験してきた。現在はスクールカウンセラーとして教育機関に関わっている。また、認定こども園等へのコンサルテーションも行う。学校現場は、子どもの教育のみならず、育ちの現場であり、「不登校」「いじめ」「児童虐待」といった問題も同時にある現場である。そうした中で「教育相談」という科目は、将来教育を支えていくことを志向する学生にとって必然の学びの場であろう。臨床心理学視点から教育相談を学ぶ現場をサポートできたらと考える。 (別府)臨床心理士、公認心理師、特別支援学校教諭専修免許、小学校教諭1種免許、幼稚園教諭2種免許 大病院など医療機関等において、学校不適応児童および発達障害・精神疾患を抱え、相談援助の必要な子どもの心理アセスメントや発達相談、教師・保育者へのコンサルテーションを行ってきました。また、臨床心理士として、スクールカウンセラーが制度化される以前の活用調査事業の時代から従事したり、中学校、高等学校等のいじめ対策委員会に参画してきました。また、児童福祉審議会や子ども貧困対策委員会等の委員会に学識経験者の立場から参加し行政への提言も行ってきました。そうした現場での経験をふまえて、具体例に基づいた教育相談の役割、学校現場での不登校・いじめの実態や対策、課題について講じることができればと考えています。	2	
学部等共通科目	人権と教育	井川 勝	2	2回生	佛科大学教職支援センター非常勤講師(実習指導講師)2020年4月～現在担当科目 教育実習指導/研究(集中講義)4月6時間 12月2時間人権同和教育 春学期 14時間 ※2023年度より 春・秋学期 各14時間の予定1981年4月～2019年3月 京都市立小学校教員1981年4月～1988年3月 京都市立雲ヶ畑小学校教諭1988年4月～2000年3月 京都市立築紫小学校教諭2000年4月～2005年3月 京都市教育委員会指導部指導主事2005年4月～2010年3月 京都市立梅津北小学校教頭2010年4月～2014年3月 京都市立常盤野小学校校長2014年4月～2016年3月 京都市立紫竹小学校校長2016年4月～2018年3月 京都市立向島南小学校校長2018年4月～2019年3月 京都市立築紫小学校校長2019年4月～2024年3月 京都市教育委員会専門主事2023年4月～現在 京都橋大学非常勤講師	2	
学部等共通科目	生涯学習概論Ⅰ	堂本 雅也	2	1回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	2	
学部等共通科目	図書館概論	嶋田 学	2	1回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、図書館の機能や社会における意義、役割、今後の課題、展望等、公共(公立)図書館の基本について解説する。	2	
学部等共通科目	図書館制度・経営論	嶋田 学	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、公共(公立)図書館に関する法律、図書館政策、図書館経営のあり方等について解説する。	2	
学部等共通科目	図書館情報技術論	嶋田 学	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、公共(公立)図書館における情報技術についての基本的知識と実務的な取り組みについて解説する。	2	
学部等共通科目	図書館サービス概論	嶋田 学	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、現在公共(公立)図書館で実施されている図書館サービスの概要ならびに今後のあり方について解説する。	2	
学部等共通科目	情報サービス論	加藤 靖子	2	2回生	図書館のレファレンスサービス、発信型情報サービスや利用教育について、公共図書館での司書経験を有する教員が、参考図書・データベース等の情報を基盤にしたレファレンスサービス、情報検索技術を伴うサービス方法、発信型情報サービスや利用教育の展開や展望について解説する。	2	
学部等共通科目	児童サービス論	加藤 靖子	2	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、児童サービスについて講義をする。	2	
学部等共通科目	情報サービス演習Ⅰ	加藤 靖子	1	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験を有する教員が、情報サービスにおける資料・情報の選択から、レファレンス回答および発信型情報サービスにいたるまで指導する。	1	
学部等共通科目	情報サービス演習Ⅱ	加藤 靖子 嶋田 学	1	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務した経験に基づき、公共図書館サービスを実施するうえで情報サービスをどのように実施し活用するか、その内容・意義・活用方法について実習を交えながら解説する。	1	

◆経営学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回数	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	経営学部	備考
						経営 学 科	
学部等共通科目	図書館情報資源概論	加藤 靖子	2	2回生	公立図書館で司書実務及び館長としての経験をもつ教員が、図書館情報資源の収集から保存までの具体的手法及び取扱いについて解説する。	2	
学部等共通科目	情報資源組織論	尾松 謙一	2	2回生	図書館での実務経験(公立図書館20年、大学図書館9年)に基づき、目録作成の基礎を講義する。	2	
学部等共通科目	情報資源組織演習 I	井上 勝	1	2回生	公共図書館で、20年以上にわたり現場で実務に関わり、さまざまな図書館サービスを体験してきました。そこでは、カウンター業務などの日常的な業務はもちろん、レファレンスサービスや行事の計画立案、選書、蔵書管理などのほか、関係機関の各種審議会、委員会などを通じて、広域での図書館サービスの在り方等の政策形成立案等にも関わりました。これらの経験にもとづき、この授業では公共図書館で各種のサービスを実施するうえで、書誌情報や主題情報をどのように活用するか、その内容・意義・活用方法などについて実習を交えながら解説していきます。ともに学んでいきましょう。	1	
学部等共通科目	図書館情報資源特論	加藤 靖子	1	2回生	公共(公立)図書館で司書として勤務した経験をもつ教員が、児童書(絵本、児童文学、科学読物等)について講義をする。	1	
学部等共通科目	図書館施設論	嶋田 学	1	2回生	公共(公立)図書館で司書ならびに図書館長として勤務し、実際に図書館建設に携わった経験をもつ教員が、公共(公立)図書館のあり方を、施設整備の面から解説する。	1	
学部等共通科目	学校経営と学校図書館	綿野 未来	2	2回生	学校図書館、公共図書館、大学図書館、専門学校図書館など、多様な館種で10年以上にわたり実務経験を有する教員が担当する。特に学校図書館分野に強みを持ち、選書・読書指導・情報活用能力育成・学校司書との連携など、現場で培った知識と技能を授業に反映する。実践的な事例を取り入れながら、学校司書として学校図書館運営を行ってきた経験を活かし、現場の現状を踏まえ学校図書館全般について講義する。	2	
学部等共通科目	学校図書館メディアの構成	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際の事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	
学部等共通科目	学習指導と学校図書館	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際の事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	
学部等共通科目	読書と豊かな人間性	綿野 未来	2	2回生	学校図書館、公共図書館、大学図書館、専門学校図書館など、多様な館種で10年以上にわたり実務経験を有する教員が担当する。特に学校図書館分野に強みを持ち、選書・読書指導・情報活用能力育成・学校司書との連携など、現場で培った知識と技能を授業に反映する。実践的な事例を取り入れながら、学校司書として学校図書館運営を行ってきた経験を活かし、現場の現状を踏まえ学校図書館での読書活動全般について講義する。	2	
学部等共通科目	情報メディアの活用	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際の事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	
学部等共通科目	博物館教育論	佐藤 優香	2	1回生	担当教員は、博物館教育の研究者、実践者として20年以上のキャリアがある。これまでさまざまな博物館でプログラムの企画開発や展示の監修等を行ってきた。本講義は、博物館の持つメッセージ伝達機能と利用者の学びの関係、博物館教育の意義と方法等について講義とグループワークを通して学ぶ。グループワークやディスカッションを積極的に取り入れており、博物館利用者、展示、教育プログラムのデザインについて議論する。教育プログラムの評価や開発については、博物館へ赴き実際の試行を通して学ぶ。	2	
学部等共通科目	博物館情報・メディア論	木下 達文	2	1回生	博物館での実務経験ならびに展示業界における10年の経験を有している。	2	
学部等共通科目	博物館経営論	木下 達文	2	2回生	博物館における実務経験ならびに展示業界において10年の経験を有している。	2	
学部等共通科目	博物館資料論	山崎 頼人	2	2回生	担当者は地方自治体の職員として文化財・文化遺産の調査、保存と活用を計画し推進した経験があり、現在は博物館学芸員として、常設展・企画展・特別展などの企画運営、展示・保存環境の調整と維持、資料保存・博物館をめぐる社会的諸問題など多方面において講演等のアウトリーチに参画協力してきた。それらの経験をもとに博物館における資料の意味とさまざまな活かし方を講義する。	2	
学部等共通科目	博物館資料保存論	一瀬 和夫	2	2回生	文化財保存修復関係、文化財行政関係など、45年以上。	2	
学部等共通科目	博物館展示論	木下 達文	2	2回生	展示業界において10年の実務経験を有している。	2	

◆経営学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回数	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	経営学部	備考
						経営 学 科	
学部等共通科目	生涯学習概論Ⅱ	藤田 美佳	2	1回生	本講義を担当する教員は、①社会教育・生涯学習なかでも成人基礎教育および多様性に関する多文化教育・異文化間教育を専門とし、大学で、社会教育や地域教育に関する講義や、社会教育主事養成課程の講義を担当している。②成人基礎教育に関しては、アメリカ、韓国における移民・難民に対する第二言語としての識字教育および日本国内の識字教育に関する研究をしている。③大阪府内の自治体の生涯学習基本計画の制定に関わる役職を担い、教育委員会の事務執行にかかると点検・評価委員を10年以上にわたって務めてきた。④公益財団法人(公民館指定管理者)の評議員を務め、現在では、公民館長として、社会教育・生涯学習の実践に携わっている。以上の経験および研究の蓄積を生かして、欧米やアジアの事例を含む国内外の実践を踏まえた市民社会の発展と生涯学習の可能性について講義する。特に日本国内に関しては、多文化・多様性に関する事例を通じて、現代社会に求められる社会教育・生涯学習についての理解を深められるよう多様な実践を紹介する。また、特色ある地域の社会教育・生涯学習関連施設の取り組みについて、フィールドワークの機会を設け、主体的な学習を促す。なお、受講生の興味・関心に則し、各回の講義内容については、受講生との話し合いにより、変更する場合がある。講義では、下記の内容を扱う。(1)講義のテーマとなる導入学習、課題の意識化についてのワークを含むオリエンテーション(2)社会教育・生涯学習に関する基礎的な学習(3)社会教育施設に関する学習(公民館・図書館・博物館 他(4)公民館の実践に関する学習(5)地域における社会教育・生涯学習実践(6)現代的な課題と社会教育・生涯学習(7)世界の社会教育・生涯学習政策と海外の実践に関する学習	2	
学部等共通科目	生涯学習支援論Ⅰ	堂本 雅也	2	2回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	2	
学部等共通科目	生涯学習支援論Ⅱ	堂本 雅也	2	2回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	2	
学部等共通科目	社会教育演習	堂本 雅也	2	2回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	2	
学部等共通科目	社会教育課題研究	堂本 雅也	1	2回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	1	
全学共通科目	健康に生きる	川村 晃右	2	1回生	保健師や助産師、看護師としての実務経験のある教員が担当する。	2	
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅰ	伊藤 孝子	2	3回生	小学校での教員ならびに管理職の経験や教育委員会・総合教育センターでの勤務経験のある者が、その経験を生かして今日的課題や具体的な対応等について指導していく	2	
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅱ	伊藤 孝子	2	3回生	小学校での教員ならびに管理職の経験や教育委員会・総合教育センターでの勤務経験のある者が、その経験を生かして今日的な課題や具体的な対応等について指導していく	2	
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅲ	佐敷 恵威子 中村 祐之	2	4回生	(佐敷)小学校における教員ならびに管理職の経験、および教育委員会、総合教育センターでの勤務を経験した者が、その経験を活かして今日的な課題や実際の学校現場での対応等について理論とつなげながら具体的に指導していく (中村)①教員経験・教科指導(英語科、他)、学級担任(学級経営等)、生徒指導(補導主任等)、同和・人権主任、進路指導主事、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、人事主事(教育委員会)公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅳ	佐敷 恵威子 中村 祐之	2	4回生	(佐敷)小学校での教員ならびに管理職の経験や教育委員会・総合教育センターでの勤務経験のある者が、その経験を生かして今日的課題や具体的な対応等について指導していく (中村)①教員経験・教科指導(英語科、他)、学級担任(学級経営等)、生徒指導(補導主任等)、同和・人権主任、進路指導主事、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、人事主事(教育委員会)公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	
学部等共通科目	ワークエクスベリエンス	南 了太	2	3回生	担当教員は、実務面では産学連携コーディネーターとして企業と豊富な連携実績をもっています。また、様々な実践プロジェクトを通じて受講生の就業意識の向上を図ってきました。さらに、大学事務職員としてキャリア支援(就職相談・面指導・履歴書作成指導・キャリアデザイン講座等)を担当したことがあります。理論面では経営学の博士号を有し、企業の様々な現象を研究しています。	2	
学部等共通科目	キャリア開発演習Ⅳ	乾 明紀	2	3回生	サービス業界での実務経験を経て、その経験を活かした、ビジネスマナーやキャリア形成の講座を実施。大学内キャリアセンターに従事し、学生を対象とした指導経験も多数。本科目以外にも様々な大学にてキャリア科目を指導。	2	
学部等共通科目	地歴科教育法Ⅰ	武田 章	2	3回生	社会科教諭として中高一貫校に約30年勤務していたため、中高6年間の社会科関係授業を担当してきたことに加え、勤務校が教育研究開発と教育実習を社会的使命とする学校であったため、新たな教育研究や教材開発に取り組んできたとともに、毎年3~6人の教育実習生を担当指導してきました。それらの経験を活かしながら、具体的な授業創りをしていく際の助所を押さえた指導をしていきたいと考えています。	2	
学部等共通科目	博物館実習Ⅰ	肥後 弘幸	1	3回生	文化財調査員、博物館学芸員としての経験に基づき、発掘調査した遺跡の出土遺物の整理研究法を解説し実習を指導する。	1	
学部等共通科目	博物館実習Ⅱ	一瀬 和夫	1	3回生	博物館建設5年、学芸員7年、展示開発と展示の実施(一瀬)	1	
学部等共通科目	博物館実習Ⅲ	木下 達文	1	4回生	博物館における実務経験に加え、展示業界において10年の経験がある。	1	

◆経営学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	経営学部	備考
						経営 学 科	
学部等共通科目	社会教育実習	堂本 雅也	1	3回生	生涯学習センターにおける勤務経験や、生涯学習インストラクター(市民ボランティア講師)としての活動経験をもとに、教育実践の現場から得られた知見を授業のなかでお伝えいたします。	1	
学部等共通科目	日本語教材研究	千々岩 宏晃	2	4回生	授業担当者は日本・インドネシア・ルーマニアの大学で約15年日本語教育に従事。5年の日本語教師養成講座担当の経験を持つ。日本語教育能力検定試験合格。専門は日本語教育・会話分析。	2	
合計単位数						228	

◆デジタルメディア学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	デジタルメディア学部	備考
						メディア学 デジタル学 学 科	
学部等共通科目	知的財産マネジメント	小田 哲明	2	3回生	弁理士として日米での実務経験及びベンチャー企業のメンター経験を有する教員が知的財産権及び知的財産戦略について説明する。	2	
専門科目	メディア実践Ⅱ	高本 陽花	2	1回生	本講義は、CGクリエイターとして月刊誌の表紙、プロジェクトマッピング、製品プロダクト、原型3Dモデルや企業のPV制作等、幅広くCG制作に従事してきた経験を活かし講義を行う。3Dモデリングソフトウェア「Blender」を使用して、モデリング(造形)やアニメーションの基本的な考え方・制作方法について体系的かつ実践的に学修することを目的とする。修得した技術を活用して各自個人制作に取り組みながら、制作にあたり直面する技術的・時間的制約を受ける課題を、学生間および教員とも協力し解決していく。作成した作品を評価し改善点を見出し、他者からアドバイスを貰いながら自己改良・自己学修を進め、表現スキル・コミュニケーション能力の向上を目指す。	2	
専門科目	先端科学技術	加藤 諒	2	1回生	担当教員は、約5年間ITベンチャー企業で働き、システム設計や開発、営業を行ってきた。4年目からは、現場のトップとして全案件のマネージメントや社員研修などにも取り組んできた。これらの経験をもとに実学に沿った授業を実施する。	2	
全学共通科目	芸術と文化	山本 善則	2	1回生	現役ピアニストであり、数々のコンクールに携わってきた経験等を生かし、現代芸術教育における問題点や、新たな視点を実際にピアノ演奏を行いつつ説明します。	2	
全学共通科目	ジェンダーとダイバーシティ	水島 新太郎	2	1回生	奈良女性センター 市民講座講師千葉市男女共同参画センター さんかくカレッジ講師ジェンダーに関するデジタル新聞記事の執筆(産経デジタル、iRONNA)	2	
全学共通科目	異文化コミュニケーション論	樋谷 恒孝	2	1回生	担当者は国連に約10年勤務、アフリカや中東の紛争国に滞在し主に紛争解決や平和構築、開発に携わりました。また、国際協力機構(JICA)にて青年海外協力隊や企画調査員としてアフリカに滞在した経験があり、嘱託職員としてJICA本部、緒方貞子平和開発研究所に勤務していました。さらに民間企業(商社)に勤務・海外駐在し、アフリカや中東諸国との貿易・マーケティングに携わった経験も持っています。1年以上長期滞在した国はタイ、イギリス、アフリカ4か国(ブルキナファソ、アルジェリア、コンゴ民主共和国、中央アフリカ共和国)、イエメンの7か国、訪れた国は50か国を超え、そのうち30か国はアフリカの国々です。これらの経験を基に現場の事例などを交えながら授業を進めます。	2	
学部等共通科目	人間を考える	杉山 隆一	2	2回生	授業前半部(第1回～7回)を担当する杉山は外務省での勤務経験を有する。後半部(第8回～14回)を担当する樋谷はJICA、国連での平和構築に関する勤務経験を有する。	2	
学部等共通科目	情報技術の歴史と展開	工藤 寛樹	2	1回生	担当教員の専門分野はモバイル・コピキタスコンピューティング、人工知能であり、センシングや人の活動に紐づいて発生するデータを分析することにより人の暮らしをより豊かにする技術開発、研究を行っています。本講義では、情報技術の歴史的な発達を経緯に加えて、専門分野の研究活動によって得られた知見を交えながら将来の展開についても考察します。	2	
全学共通科目	私たちのくらしと行政	竹内 直人	2	1回生	福井県庁で30年間、主に政策づくりに携わり、多様な政策を立案しました。大学に移ってからは経験を活かして、多くの市町や、国際機関などの委員を務めています。国、県、市や町など複眼的な観点から人びとの生活と行政の関係を一緒に考えていきま	2	
学部等共通科目	時事問題にふれる	平尾 毅	2	1回生	日本経済新聞社で30年以上、国内外の支局長はじめ記者、デスクとして企業経営、国際情勢、地域経済に関するニュースを取材、執筆、編集してきた実績とアカデミックな実績、背景を踏まえ、新聞記事の信頼性や記事執筆に至る取材やデータ分析のノウハウなどをわかりやすく伝える。	2	
学部等共通科目	日本と国際社会	佐久間 浩司	2	1回生	金融機関の国際分野での経験あり。イギリス、ドイツ駐在経験あり。短期出張ではアジア、中近東滞在経験あり。経験を適宜授業に織り込む。	2	
学部等共通科目	食と農から社会を考える	平賀 緑	2	1回生	香港と日本において、新聞社、金融機関、有機農業関連企業などに勤めながら、食・農・環境問題に取り組む市民活動を企画運営した経験を持つ。ロンドン市立大学修士(食料栄養政策)、京都大学博士(経済学)。著書に『食べものから学ぶ現代社会—私たちが動かす資本主義のカラクリ』(岩波ジュニア新書、2024年)、『食べものから学ぶ世界史—人も自然も壊さない経済とは?』(岩波ジュニア新書、2021年)、『植物油の政治経済学—大豆と油から考える資本主義的食料システム』(昭和堂、2019年)など。	2	
全学共通科目	情報社会論	杉浦 昌	2	1回生	IT企業の情報システム部門や装置・システム設計開発部門、SI・コンサルティングビジネス部門での実務経験、政府系団体での実務経験のある教員が、テキストやスライド、配布資料、種々の公開資料、レポート、論文等を用いて授業をおこなう。授業は講義を中心に行うが、理解の深化と確認のため、振り返り学習やレポート提出を実施する場合がある。	2	
学部等共通科目	心理学入門	浦田 洋	2	1回生	臨床心理士、及び公認心理師として長年実務に携わってきた担当者が、教科書を参考にしてあらゆる生活場面を心理学的に理解する視点について解説する。	2	
学部等共通科目	日本の伝統的建築と庭園	鈴木 あるの	2	1回生	資格・免許：一級建築士、二級建築士、一級造園施工管理士、全国通訳案内士、米国カリフォルニア州登録ランドスケープアーキテクト実務経験：国内外(日本、米、国、イタリア)の建築設計事務所および造園設計事務所にて調査・計画・設計の実務・国カリフォルニア大学デービス校環境デザイン学科の専門科目(2000-2005年)および京都大学の国際交流教養科目(2008年～2012年)にて「日本の伝統的建築と庭園」を英語で講義・全国通訳案内士(英語)として京都と奈良の建築と庭園をガイド	2	

◆デジタルメディア学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	デジタルメディア学部	備考
						メディア学	
学部等共通科目	くすりのサイエンス	村木 優一	1	1回生	1回目 生命科学(京都薬科大学 細胞生物学分野 関根 勇一:日本・米国の大学でさまざまな研究を行ってきた教員が、病態解明や創薬につながる生命科学研究について解説する。)2回目 創薬・有機化学(京都薬科大学 薬品化学分野 大石 真也:新しい薬の探索・創製(創薬研究))に従事している教員が、薬づくりの現状・現実を講述する。)3回目 生薬・薬用植物(京都薬科大学 薬用植物園 月岡 淳子:薬用植物園で20年以上、植物の栽培研究に携わってきた教員が、漢方処方に配合される生薬や薬用植物について解説する。)4回目 薬剤・製剤(京都薬科大学 薬物動態学分野 伊藤 由佳子:薬剤学・製剤学研究に25年以上従事してきた教員が、製薬企業および国立大学病院との共同研究を通じて得た医薬品適正使用に必要なくすりの考え方について解説する。)5回目 分析・薬物代謝(京都薬科大学 代謝分析学分野 内藤 行喜:大学で10年以上、錯体化学をベースに新規作用メカニズムをもつ創薬研究を行ってきた教員が、体内での薬の動き、薬の作用メカニズムの分析方法、ならびに市販薬の品質管理に関する内容について解説する。)6回目 薬理・薬物治療(京都薬科大学 病態生化学分野 石原 慶一:国内外の大学や研究所において20年以上勤務、疾患の治療戦略研究に従事した経験をもつ教員が、「くすり」の作用と疾患治療について解説する。)7回目 臨床・実務(京都薬科大学 臨床薬剤疫学分野 村木 優一:国立大学病院で16年勤務、様々な部署や病棟を経験し、感染症や医療薬学の専門資格を取得している教員が、医療現場における薬剤師の役割について解説する。)	1	
学部等共通科目	くらしの中の看護	征矢野 あや子	1	1回生	各授業回の内容に関連する臨床経験を有する教員が担当する。	1	
学部等共通科目	こどもの発達支援とこころの健康	真下 いずみ	1	1回生	精神科、発達領域での支援経験を有する教員が担当する。	1	
学部等共通科目	住居学概論	鈴木 あるの	2	1回生	免許・資格・役職:一級建築士、二級建築士、宅地建物取引士、一級造園施工管理士、米国カリフォルニア州登録ランドスケープアーキテクト、(マンション)管理業務主任者、日本民俗建築学会理事、元・日本マンション学会関西副支部長。実務経験:国内外の設計事務所および建設コンサルタントにて調査・計画・設計の業務経験あり。	2	
学部等共通科目	自然科学で考える	酒井 徳昭	2	2回生	本授業は3名の教員によるオムニバス形式で実施する。担当教員は、臨床工学技士として病院等での実務経験を有する教員ならびに、工学分野において養成校での指導経験を有する教員で構成されている。医療機器に関わる血液の流れ・呼吸・電気・溶液管理など、臨床現場で実際にみられる身近な自然科学の現象を題材に、数値や現象の意味を多角的に捉え、主体的に考えながら理解を深める姿勢を養う授業として実施する。	2	
学部等共通科目	日本語 I	河村 静江 中川 裕子 乾 乃璃子	2	1回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	
学部等共通科目	日本語 II	河村 静江 中川 裕子 乾 乃璃子	2	1回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	
学部等共通科目	日本語 III	中川 裕子 河村 静江	2	2回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	
学部等共通科目	日本語 IV	中川 裕子 河村 静江	2	2回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	
学部等共通科目	キャリア開発演習 II	乾 明紀	2	1回生	コンサルティング業界での、組織人事コンサルティングの実務に従事。その経験を活かし、学生・企業・講師に向けた研修等を多数実施。大学においても多くの大学でキャリア科目の指導経験あり。	2	
学部等共通科目	就業体験準備実習	小山 大介 福原 崇之	2	1回生	担当教員は、民間企業での実務経験、産官学連携、企業・自治体調査・分析などの経験を有しており、その経験や現在も続けている現状分析などの情報を受講生へ積極的に伝える。	2	
学部等共通科目	教職入門	塩谷 道次	2	1回生	①教員経験・教科指導(国語科、他)、学級担任(学級経営等)、学年主任(学年経営等)、同和・人権主任、生徒指導(生徒会担当)他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、③教育委員会経験・連合教職大学院みなし実務家教員、教職院人事課参与、研究課・カリキュラム開発支援センター・教員養成支援室首席指導主事、教育計画課・人権教育企画課指導主事 他 公立学校(中学校)教員並びに管理職、教育委員会事務局勤務の経験を活かし、教育に関わる内容等についての学修と、様々な角度からの具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	
学部等共通科目	教育心理学	大久保 千恵 湯澤 正通	2	1回生	(大久保)教育領域における公認心理師・臨床心理士としての心理臨床の実務経験を活かし、教育心理学を理解することに役立つ臨床的なお話もさせていただきます。 (湯澤)特別支援教育士の資格をもち、全国の学校での研究授業や教育委員会等主催の研修会の講師を務め、特に、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に関する研究成果を現場の保育士・教師に伝えてきた。小学校教員・幼稚園教員に必要な教育心理学・発達心理学・学習心理学の基礎的知識の習得を目指し、幼稚園・保育園、学校現場で子どもの発達の現状や支援が必要な幼児・児童・生徒についての事例も紹介する。	2	

◆デジタルメディア学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	デジタルメディア学部	備考
						メディア学 デジタル 学 科	
学部等共通科目	中等教職教養講義Ⅰ	濱矢 全	2	2回生	①教員経験・教科指導(数学科、他)、学級担任(学級経営等)、学年主任(学年経営)、同和・人権教育主任、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、人事主事(教育委員会)公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	
学部等共通科目	中等教職教養講義Ⅱ	中村 祐之	2	2回生	①教員経験・教科指導(英語科、他)、学級担任(学級経営等)、生徒指導(補導主任等)、同和・人権主任、進路指導主事、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、人事主事(教育委員会)公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	
学部等共通科目	総合的な学習の時間の指導法	武田 章	1	2回生	中高一貫校において社会科教諭として長年勤務していたため、中高6年間の社会科関係の授業を担当してきたことに加えて、勤務校が教育研究開発と教育実習を社会的使命としていたことにより、総合的な学習をはじめとする新たな教育研究や教材の開発について取り組んできたとともに、毎年3~6人の教育実習生を担当指導してきた。それらの経験を生かしながら、具体的な授業づくりをしていく際の助所を押さえた指導をしていきたい。	1	
学部等共通科目	特別活動論	池田 修 柳澤 彰紀	2	2回生	(池田)中学校教員の経験を活かし、特別活動の具体的な指導法や評価法の在り方について講義する。 (柳澤)中学校及び高等学校での経験を生かし、特別活動の具体的な指導法や評価法の在り方について講義する。受講生が教員として求められる資質能力を高められるようにする。	2	
学部等共通科目	学校経営と学校図書館	縄野 未来	2	2回生	学校図書館、公共図書館、大学図書館、専門学校図書館など、多様な館種で10年以上にわたり実務経験を有する教員が担当する。特に学校図書館分野に強みを持ち、選書・読書指導・情報活用能力育成・学校司書との連携など、現場で培った知識と技能を授業に反映する。実践的な事例を取り入れながら、学校司書として学校図書館運営を行ってきた経験を活かし、現場の現状を踏まえ学校図書館全般について講義する。	2	
学部等共通科目	学校図書館メディアの構成	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際の事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	
学部等共通科目	学習指導と学校図書館	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際の事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	
学部等共通科目	読書と豊かな人間性	縄野 未来	2	2回生	学校図書館、公共図書館、大学図書館、専門学校図書館など、多様な館種で10年以上にわたり実務経験を有する教員が担当する。特に学校図書館分野に強みを持ち、選書・読書指導・情報活用能力育成・学校司書との連携など、現場で培った知識と技能を授業に反映する。実践的な事例を取り入れながら、学校司書として学校図書館運営を行ってきた経験を活かし、現場の現状を踏まえ学校図書館での読書活動全般について講義する。	2	
学部等共通科目	情報メディアの活用	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際の事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	
全学共通科目	健康に生きる	川村 晃右	2	1回生	保健師や助産師、看護師としての実務経験のある教員が担当する。	2	
合計単位数						72	

◆工学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	工学部			備考	
						情報工学科	ロボティクス学科	建築デザイン学科		
学部等共通科目	金融論	矢口 満	2	2回生	担当する教員は、最大手金融機関グループの銀行および証券会社などで31年間にわたる勤務経験を有する。この実務経験に基づき、金融システムの重要性や金融政策の役割について、理論的な知識と実践的な解釈を講義する。	2			ロボティクス学科、建築デザイン学科は履修不可	
専門科目	情報セキュリティⅠ	寺田 雅之	2	2回生	授業担当者は、日本電信電話(株)および(株)NTTドコモにおいて、情報セキュリティ技術やプライバシー保護技術の研究開発に取り組み、その成果を「モバイル空間統計」や「秘匿クロス統計」などのサービスの実用化に結びつけてきました。これらの成果は、「科学技術分野における文部科学大臣表彰(科学技術賞)」や「技術・経営イノベーション大賞(総務大臣賞)」をはじめとする各種表彰を受賞するなど、社会的に高く評価されています。それらの経験に基づき、本科目で説明する技術が社会にどのようなメリットをもたらすのかを説明し、技術の必要性を理解してもらいたいと思います。	2	2	2		
学部等共通科目	証券市場論	矢口 満	2	3回生	最大手金融機関グループで31年間(そのうちグループ内の主要証券会社で12年間)にわたり勤務した教員の指導の下、株式市場をはじめ様々な証券市場の機能を学ぶ。	2			ロボティクス学科、建築デザイン学科は履修不可	
学部等共通科目	アントレプレナーシップⅠ	丸山 一芳	2	2回生	学生が起業するための事業計画書を執筆したり、実際の事業を創造する大学院での勤務経験がある。	2	2		建築デザイン学科は履修不可	
学部等共通科目	マーケティング・コミュニケーション	増谷 博昭	2	3回生	担当教員は、広告会社でコピーライターやクリエイティブディレクターなどの立場で、TVCM制作やイベント実施、Web構築、CSR(環境)報告書の作成などの実務経験を有しています。また、経営コンサルタントとして、企業幹部の人材育成や企業の戦略策定支援なども行っています。それらの経験を通じ、実社会と学生の橋渡しができる授業プログラムを展開します。	2		2	ロボティクス学科は履修不可	
学部等共通科目	知的財産マネジメント	小田 哲明	2	3回生	弁理士として日米での実務経験及びベンチャー企業のメンター経験を有する教員が知的財産権及び知的財産戦略について説明する。	2	2		建築デザイン学科は履修不可	
専門科目	情報とビジネス	杉浦 昌	2	1回生	IT企業の情報システム部門や装置・システム設計開発部門、SI・コンサルティングビジネス部門での実務経験、政府系団体での実務経験のある教員が、テキストやスライド、配布資料、種々の公開資料、レポート、論文等を用いて授業をおこなう。授業は講義を中心に行うが、理解の深化と確認のため、振り返り学習やレポート提出、複数回の理解度テストを実施する場合がある。	2				
専門科目	コンピュータシステム概論	杉浦 昌	2	1回生	IT企業の情報システム部門や装置・システム設計開発部門、SI・コンサルティングビジネス部門での実務経験、政府系団体での実務経験のある教員が、テキストやスライド、配布資料、種々の公開資料、レポート、論文等を用いて授業をおこなう。授業は講義を中心に行うが、理解の深化と確認のため、振り返り学習やレポート提出、複数回の理解度テストを実施する場合がある。	2				
専門科目	プログラミング演習Ⅰ	加藤 諒	2	1回生	担当教員は、約5年間ITベンチャー企業で働き、システム設計や開発、営業を行ってきた。4年目からは、現場のトップとして全案件のマネージメントや社員研修などにも取り組んできた。これらの経験をもとに実学に沿った授業を実施する。	2				
学部等共通科目	先端科学技術	加藤 諒	2	1回生	担当教員は、約5年間ITベンチャー企業で働き、システム設計や開発、営業を行ってきた。4年目からは、現場のトップとして全案件のマネージメントや社員研修などにも取り組んできた。これらの経験をもとに実学に沿った授業を実施する。	2			ロボティクス学科、建築デザイン学科は履修不可	
専門科目	情報工学実践Ⅱ	加藤 諒	2	1回生	担当教員は、約5年間ITベンチャー企業で働き、システム設計や開発、営業を行ってきた。4年目からは、現場のトップとして全案件のマネージメントや社員研修などにも取り組んできた。これらの経験をもとに実学に沿った授業を実施する。	2				
専門科目	ソフトウェアエンジニアリング	平石 拓	2	2回生	プログラミング言語を専門家として、開発効率の良いプログラミング言語の提案に関して多数の研究業績を持つ。また、プログラミング分野に関する学会活動を通して、ソフトウェア工学に関する最新の研究にも触れてきている。また、これまでにいくつかのソフトウェアの研究開発プロジェクトも経験している。これらの知識を生かし、最新のトピックや実際の開発シーンも紹介しつつ授業を行う。	2				
専門科目	情報セキュリティⅡ	寺田 雅之	2	2回生	授業担当者は、日本電信電話(株)および(株)NTTドコモにおいて、情報セキュリティ技術やプライバシー保護技術の研究開発に取り組み、その成果を「モバイル空間統計」や「秘匿クロス統計」などのサービスの実用化に結びつけてきました。これらの成果は、「科学技術分野における文部科学大臣表彰(科学技術賞)」や「技術・経営イノベーション大賞(総務大臣賞)」をはじめとする各種表彰を受賞するなど、社会的に高く評価されています。それらの経験に基づき、本科目で説明する技術が社会にどのようなメリットをもたらすのかを説明し、技術の必要性を理解してもらいたいと思います。	2				
専門科目	情報理論	寺田 雅之	2	2回生	授業担当者は、日本電信電話(株)および(株)NTTドコモにおいて、情報理論を応用した統計技術やプライバシー保護技術の研究開発に取り組み、その成果を「モバイル空間統計」や「AI渋滞予測」などのサービスの実用化に結びつけてきました。これらの成果は、「科学技術分野における文部科学大臣表彰(科学技術賞)」や「技術・経営イノベーション大賞(総務大臣賞)」をはじめとする各種表彰を受賞するなど、社会的に高く評価されています。それらの経験に基づき、本科目で説明する技術が社会にどのようなメリットをもたらすのかを説明し、技術の必要性を理解してもらいたいと思います。	2				
専門科目	オペレーティングシステム	平石 拓	2	2回生	高性能計算やプログラミング言語実装の専門家として、OSの、特にプロセス管理やメモリ管理技術の動向を意識してきている。また、スーパーコンピュータ等の仕様策定にあたって、OSの機能に関する要件を検討や仕様記述を行った経験も有する。それらの経験をもとに、教科書的な知識に加え、実際に求められるOS技術の教授も行う。	2				
専門科目	Webデザイン	伊藤 京子 工藤 寛樹	2	2回生	担当教員は研究活動を通じて多数の利用者を持つ実務的なWebサービスの開発に取り組んできた。この経験をもとにWebサービスの基本となるデザインに関して必要な知識を伝え、受講者が自身でWebサービスをデザインできる能力と知識の習得を目指した授業を実施する。	2				
専門科目	情報工学実践Ⅲ	工藤 寛樹	2	2回生	担当教員は研究活動を通じて、多数の利用者を持つスマートフォンやPCで動作するアプリケーションの実務的な開発に取り組んできた。この経験をもとにアプリケーション開発に関する基礎的な知識を伝えることで、受講者自身が自力でもアプリケーションを開発可能な技術力と知識の習得を目指した授業を実施する。	2				
専門科目	センシング工学	大場 みち子	2	3回生	総合電機メーカーの研究開発部門においてAIの研究および製品ソフトウェアの開発の経験と、大学教員としてセンシングデバイスを利用した情報システムの研究指導経験を有する教員が、センシングシステムの基礎から応用までを指導する。	2				
専門科目	ロボティクス概論	松原 仁	2	1回生	一部の教員はロボット関係の会社の実務経験を有する。		2			

◆工学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	工学部			備考
						情報工学科	ロボティクス学科	建築デザイン学科	
専門科目	数学演習	近藤 亜希子	2	1回生	計測機器メーカーで設計・開発担当として勤務した経験を有する教員が、ロボティクス分野の学習に必要な数学の知識を解説し、計算力を習得できるよう指導する。		2		
専門科目	京都と建築	新海 俊一	2	1回生	建築設計、まちづくり、都市計画行政、インテリアデザイン、家具デザイン、照明デザインなどに関する実務経験を有する教員が指導する。	2		2	
専門科目	建築環境工学	朴 賛弼	2	3回生	・法政大学デザイン工学部建築学科元専任教員、漢陽大学校工科大学建築学部元兼任教授・工学博士、国費留学生(日本文部省)、日本民俗建築学会評議員、東京テクニカルカレッジ、東京工学院専門学校、東京建築カレッジ、武蔵野美術大学、法政大学工学部建築学科(非常勤講師)韓国桂園芸術大学招聘教授・主な設計・監理(韓国)；忠州文化福祉会館、テコン官公署、住宅 そのほか、日本民俗建築学会奨励賞、大韓建築学会著作賞、日本民俗学会竹内芳太郎優秀論文賞、武蔵野美術大学建築学科長尾重武作品賞、主な著書『図説やさしい建築設備』学芸出版社、技文堂、日韓同時出版、2017年『基礎講座建築環境工学』学芸出版社、技文堂、日韓同時出版、2019年『入門テキスト建築環境』技文堂、2022年『図説民俗建築大事典』分冊、編集委員、柏書房、2001年『よみがえる古民家』共著、柏書房、2003年『ソウル漢清溪川復元における都市構造の空間構成に関する研究』研究成果報告書、法政大学大学院、工科大学デザイン研究所、2007年『清溪川再生ソウルの挑戦-歴史と環境への復活-』鹿島出版会、2011年『よみがえる清溪川-歴史と環境都市への復活ソウルの挑戦-』韓国版、2012年『SEOUL CHEONG GYE CHEON STREAM RESTORATION』英語版、2017年『韓屋と伝統集落』法政大学出版社、2022年『日本の風土と景観、東地方、西地方』韓国版、技文堂、2020年、2021年『日本の風土と景観』シリーズ日本全国総10巻(韓国版、民建社、2025年・主な研究建築環境設備研究；床の温熱研究、屋根の温熱研究、都市環境、伝統集落や古民家などホームページ参考； https://www.k.hosei.ac.jp/park/			2	
専門科目	建築キャリアデザイン	新海 俊一	2	2回生	建築設計、まちづくり、都市計画行政、インテリアデザイン、家具デザイン、照明デザインなどに関する実務経験を有する教員が指導する。			2	
専門科目	建築法規	伊東 達三	2	3回生	一級建築士として建築設計および施工監理の実務に携わっている。これらの実務経験を踏まえ、建築基準法の運用事例を通して、法の目的や背景、ならびにその具体的な手法について理解を深める授業を行う。			2	
専門科目	建築施工	関村 啓太	2	3回生	教員の技能と実務経験：施工会社に在職した経験があり、現在は本務校で「建築施工」、「建築測量」などを講義しています。一級建築士、職業訓練指導員免許(建築科)などの資格を保有しています。『測量』(日本測量協会発行)に測量と建築について連載をしました。授業内容：遠隔講義であるので、出来るだけ各種のメディアを通じて立体的に学習できるようにします。また、授業のポイントを要約した配布資料および関係資料を提供します。双方向的な講義を目指します。			2	
専門科目	ランドスケープデザイン論	鈴木 あるの	2	2回生	日本とアメリカのランドスケープ設計事務所における実務経験、世界38カ国の訪問歴にもとづき、できる限り実際に自分が見たことのあるデザインを取り上げ、自分で撮影した写真を用いて講義を行う。担当教員は米国カリフォルニア州公認ランドスケープアーキテクトおよび日本の一級造園施工管理士(監理技術者)の登録免許保持者である。			2	
専門科目	現代建築設計論	長坂 大	2	3回生	建築設計やリノベーションという創造的な業務経験がある教員が、現代の建築設計に必要なとされる素養や知識を伝授する。			2	
専門科目	西洋建築文化史	鈴木 あるの	2	2回生	異文化理解を主とした30年以上にわたる研究活動、アメリカとイタリアの設計事務所における実務経験、世界38カ国訪問歴にもとづき、できる限り実際に自分が行ったことのある空間を取り上げ、自分で撮影した写真を用いて講義を行う。			2	
専門科目	プレゼンテーション演習	松本 崇	2	3回生	建築設計事務所を主催している立場からすぐ『使える』役に立つスキルを伝える。同時に5年後の社会で役立つ建築業界のあれこれも解説する。			2	
学部等共通科目	医工連携と臨床工学	中村 亮一	2	1回生	工学の研究者として研究教育とともに企業との医工連携による製品開発や新規スタートアップの立ち上げ支援、医療機器開発に関わるガイドライン策定等に関わってきた教員が、研究と開発の実例を元に臨床と研究とビジネスの面から医療機器開発の解説を		2		情報工学科、建築デザイン学科は履修不可
全学共通科目	芸術と文化	山本 善則	2	1回生	現役ピアニストであり、数々のコンクールに携わってきた経験を生かし、現代芸術教育における問題点や、新たな視点を実際にピアノ演奏をいくつか説明します。	2	2	2	
全学共通科目	ジェンダーとダイバーシティ	水島 新太郎	2	1回生	奈良女性センター 市民講座講師千葉市男女共同参画センター さんかくカレッジ講師ジェンダーに関するデジタル新聞記事の執筆(産経デジタル、iRONNA)	2	2	2	
全学共通科目	異文化コミュニケーション論	樋谷 恒孝	2	1回生	担当者は国連に約10年勤務、アフリカや中東の紛争国に滞在し主に紛争解決や平和構築、開発に携わりました。また、国際協力機構(JICA)にて青年海外協力隊や企画調査員としてアフリカに滞在した経験があり、雇託職員としてJICA本部、緒方貞子平和開発研究所に勤務していました。さらに民間企業(商社)に勤務・海外駐在し、アフリカや中東諸国との貿易・マーケティングに携わった経験も持っています。1年以上長期滞在した国はタイ、イギリス、アフリカ4か国(ブルキナファソ、アルジェリア、コンゴ民主共和国、中央アフリカ共和国)、イエメンの7か国、訪れた国は50か国を超え、そのうち30か国はアフリカの国々です。これらの経験を基に現場の事例などを交えながら授業を進めます。	2	2	2	
学部等共通科目	人間を考える	杉山 隆一	2	2回生	授業前半部(第1回~7回)を担当する杉山は外務省での勤務経験を有する。後半部(第8回~14回)を担当する樋谷はJICA、国連での平和構築に関する勤務経験を有する。	2	2	2	
学部等共通科目	情報技術の歴史と展開	工藤 寛樹	2	1回生	担当教員の専門分野はモバイル・コネクティビティコンピューティング、人工知能であり、センシングや人の活動に紐づいて発生するデータを分析することにより人の暮らしをより豊かにする技術開発、研究を行っています。本講義では、情報技術の歴史的な発達経緯に加えて、専門分野の研究活動によって得られた知見を交えながら将来の展開についても考察します。	2	2	2	
全学共通科目	私たちのくらしと行政	竹内 直人	2	1回生	福井県庁で30年間、主に政策づくりに携わり、多様な政策を立案しました。大学に移ってからは経験を活かして、多くの市町や国、国際機関などの委員を務めています。国、県、市や町など複眼的な観点から人びとの生活と行政の関係を一緒に考えていきます。自治体職員による講義を行います。	2	2	2	
学部等共通科目	時事問題にふれる	平尾 毅	2	1回生	日本経済新聞社で30年以上、国内外の支局長はじめ記者、デスクとして企業経営、国際情勢、地域経済に関するニュースを取材、執筆、編集してきた実績とアカデミックな実績、背景を踏まえ、新聞記事の信頼性や記事執筆に至る取材やデータ分析のノウハウなどをわかりやすく伝える。	2	2	2	

◆工学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	工学部			備考
						情報工学科	ロボティクス学科	建築デザイン学科	
学部等共通科目	日本と国際社会	佐久間 浩司	2	1回生	金融機関の国際分野での経験あり。イギリス、ドイツ駐在経験あり。短期出張ではアジア、中近東滞在経験あり。経験を適宜授業に織り込む。	2	2	2	
学部等共通科目	食と農から社会を考える	平賀 緑	2	1回生	香港と日本において、新聞社、金融機関、有機農業関連企業などに勤めながら、食・農・環境問題に取り組む市民活動を企画運営した経験を持つ。ロンドン市立大学修士(食料栄養政策)、京都大学博士(経済学)。著書に『食べものから学ぶ現代社会—私たちが動かす資本主義のカラクリ』(岩波ジュニア新書、2024年)、『食べものから学ぶ世界史—人も自然も壊さない経済とは?』(岩波ジュニア新書、2021年)、『植物油の政治経済学—大豆と油から考える資本主義的食料システム』(昭和堂、2019年)など。	2	2	2	
全学共通科目	情報社会論	杉浦 昌	2	1回生	IT企業の情報システム部門や装置・システム設計開発部門、SI・コンサルティングビジネス部門での実務経験、政府系団体での実務経験のある教員が、テキストやスライド、配布資料、種々の公開資料、レポート、論文等を用いて授業をおこなう。授業は講義を中心に行うが、理解の深化と確認のため、振り返り学習やレポート提出を実施する場合がある。	2	2	2	
学部等共通科目	心理学入門	浦田 洋	2	1回生	臨床心理士、及び公認心理師として長年実務に携わってきた担当者が、教科書を参考にしながらあらゆる生活場面を心理学的に理解する視点について解説する。	2	2	2	
学部等共通科目	日本の伝統的建築と庭園	鈴木 あるの	2	1回生	資格・免許:一級建築士、二級建築士、一級造園施工管理士、全国通訳案内士、米国カリフォルニア州登録ランドスケープアーキテクト実務経験:国内外(日本、米国、イタリア)の建築設計事務所および造園設計事務所にて調査・計画・設計の実務・国カリフォルニア大学デービス校環境デザイン学科の専門科目(2000-2005年)および京都大学の国際交流教養科目(2008年~2012年)にて「日本の伝統的建築と庭園」を英語で講義・全国通訳案内士(英語)として京都と奈良の建築と庭園をガイド	2	2	2	
学部等共通科目	くすりのサイエンス	村木 優一	1	1回生	1)1回目 生命科学(京都薬科大学 細胞生物学分野 関根 勇一:日本・米国の大学でさまざまな研究を行ってきた教員が、病態解明や創薬につながる生命科学研究について解説する。)2)2回目 創薬・有機化学(京都薬科大学 薬品化学分野 大石 真也:新しい薬の探索・創製(創薬研究)に従事している教員が、薬づくりの現状・現実を講述する。)3)3回目 生薬・薬用植物(京都薬科大学 薬用植物園 月岡 淳子:薬用植物園で20年以上、植物の栽培研究に携わってきた教員が、漢方処方に配合される生薬や薬用植物について解説する。)4)4回目 薬剤・製剤(京都薬科大学 薬物動態学分野 伊藤 由佳子:薬剤学・製剤学研究に25年以上従事してきた教員が、製薬企業および国立大学病院との共同研究を通して得た医薬品適正使用に必要なくすりの考え方について解説する。)5)5回目 分析・薬物代謝(京都薬科大学 代謝分析学分野 内藤 行喜:大学で10年以上、錯体化学をベースに新規作用メカニズムをもつ創薬研究を行ってきた教員が、体内での薬の動き、薬の作用メカニズムの分析方法、ならびに市販薬の品質管理に関する内容について解説する。)6)6回目 薬理・薬物治療(京都薬科大学 病態生化学分野 石原 慶一:国内外の大学や研究所において20年以上勤務、疾患の治療戦略研究に従事した経験をもつ教員が、「くすり」の作用と疾患治療について解説する。)7)7回目 臨床・実務(京都薬科大学 臨床薬理学分野 村木 優一:国立大学病院で16年勤務、様々な部署や病棟を経験し、感染症や医療薬学の専門資格を取得している教員が、医療現場における薬剤師の役割について解説する。)	1	1	1	
学部等共通科目	くらしの中の看護	征矢野 あや子	1	1回生	各授業回の内容に関連する臨床経験を有する教員が担当する。	1	1	1	
学部等共通科目	こどもの発達支援とこころの健康	真下 いずみ	1	1回生	精神科、発達領域での支援経験を有する教員が担当する。	1	1	1	
学部等共通科目	住居学概論	鈴木 あるの	2	1回生	免許・資格・役職:一級建築士、二級建築士、宅地建物取引士、一級造園施工管理士、米国カリフォルニア州登録ランドスケープアーキテクト、(マンション)管理業務主任者、日本民俗建築学会理事、元・日本マンション学会関西支部長。実務経験:国内外の設計事務所および建設コンサルタントにて調査・計画・設計の業務経験あり。	2	2	2	
学部等共通科目	自然科学で考える	酒井 徳昭	2	2回生	本授業は3名の教員によるオムニバス形式で実施する。担当教員は、臨床工学技士として病院等での実務経験を有する教員ならびに、工学分野において養成校での指導経験を有する教員で構成されている。医療機器に関わる血液の流れ・呼吸・電気・溶液管理など、臨床現場で実際にみられる身近な自然科学の現象を題材に、数値や現象の意味を多角的に捉え、主体的に考えながら理解を深める姿勢を養う授業として実施する。	2	2	2	
学部等共通科目	日本語 I	河村 静江 中川 裕子 乾 乃瑠子	2	1回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	2	2	

◆工学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	工学部			備考
						情報工学科	ロボティクス学科	建築デザイン学科	
学部等共通科目	日本語Ⅱ	河村 静江 中川 裕子 乾 乃瑠子	2	1回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	2	2	
学部等共通科目	日本語Ⅲ	中川 裕子 河村 静江	2	2回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	2	2	
学部等共通科目	日本語Ⅳ	中川 裕子 河村 静江	2	2回生	国内外で日本語教育に従事し、留学生をはじめ、就労者、生活者、難民等への日本語教育にも携わっている。	2	2	2	
学部等共通科目	キャリア開発演習Ⅱ	乾 明紀	2	1回生	コンサルティング業界での、組織人事コンサルティングの実務に従事。その経験を活かし、学生・企業・講師に向けた研修等を多数実施。大学においても多くの大学でキャリア科目の指導経験有。	2	2	2	
学部等共通科目	就業体験準備実習	小山 大介 福原 崇之	2	1回生	担当教員は、民間企業での実務経験、産官学連携・企業・自治体調査・分析などの経験を有しており、その経験や現在も続けている現状分析などの情報を受講生へ積極的に伝える。	2	2	2	
学部等共通科目	教職入門	塩谷 道次	2	1回生	①教員経験・教科指導(国語科、他)、学級担任(学級経営等)、学年主任(学年経営等)、同和・人権主任、生徒指導(生徒会担当) 他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、③教育委員会経験・連合教職大学院みなし実務家教員、教職院人事課参与、研究課・カリキュラム開発支援センター教員養成支援室首席指導主事、教育計画課、人権教育企画課指導主事 他公立学校(中学校)教員並びに管理職、教育委員会事務局勤務の経験を活かし、教育に関わる内容等についての学修と、様々な角度からの具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	2		建築デザイン学科は履修不可
学部等共通科目	教育心理学	大久保 千恵 湯澤 正通	2	1回生	(大久保)教育領域における公認心理師・臨床心理士としての臨床の実務経験を活かし、教育心理学を理解することに役立つ臨床のお話もさせていただきます。 (湯澤)特別支援教育士の資格をもち、全国の学校での研究授業や教育委員会等主催の研修会の講師を務め、特に、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に関する研究成果を現場の保育士・教師に伝えてきた。小学校教員・幼稚園教員に必要な教育心理学・発達心理学・学習心理学の基礎的知識の習得を目指し、幼稚園・保育園、学校現場で子どもの発達の現状や支援が必要な幼児・児童・生徒についての事例も紹介する。	2	2		建築デザイン学科は履修不可
学部等共通科目	中等教職教養講義Ⅰ	濱矢 全	2	2回生	①教員経験・教科指導(数学科、他)、学級担任(学級経営等)、学年主任(学年経営)、同和・人権教育主任、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	2		建築デザイン学科は履修不可
学部等共通科目	中等教職教養講義Ⅱ	中村 祐之	2	2回生	①教員経験・教科指導(英語科、他)、学級担任(学級経営等)、生徒指導(補導主任等)、同和・人権主任、進路指導主事、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	2		建築デザイン学科は履修不可
学部等共通科目	総合的な学習の時間の指導法	武田 章	1	2回生	中高一貫校において社会科教諭として長年勤務していたため、中高6年間の社会科関係の授業を担当してきたことに加えて、勤務校が教育研究開発と教育実習を社会的使命としていたことにより、総合的な学習をはじめとする新たな教育研究や教材の開発について取り組んできたとともに、毎年3~6人の教育実習生を担当指導してきた。それらの経験を生かしながら、具体的な授業づくりをしていく際の勘所を押さえた指導をしていきたい。	1	1		建築デザイン学科は履修不可
学部等共通科目	特別活動論	池田 修 柳澤 彰紀	2	2回生	(池田)中学校教員の経験を活かし、特別活動の具体的な指導法や評価法の在り方について講義する。 (柳澤)中学校及び高等学校での経験を生かし、特別活動の具体的な指導法や評価法の在り方について講義する。受講生が教員として求められる資質能力を高められるようにする。	2	2		建築デザイン学科は履修不可
学部等共通科目	教育相談	宮井 研治 別府 悦子	2	2回生	(宮井)臨床心理士、公認心理師。長らく臨床心理職員として、児童福祉現場(児童相談所、児童心理治療施設など)に従事する中で、幼稚園や小中高校などの教育現場との連携を経験してきた。現在はスクールカウンセラーとして教育機関に関わっている。また、認定こども園等へのコンサルテーションも行う。学校現場は、子どもの教育のみならず、育ちの現場であり、「不登校」「いじめ」「児童虐待」といった問題も同時にある現場である。そうした中で「教育相談」という科目は、将来教育を支えていくことを志向する学生にとって必然の学びの場であろう。臨床心理学視点から教育相談を学ぶ現場をサポートできたらと考えている。 (別府)臨床心理士、公認心理師、特別支援学校教諭専修免許、小学校教諭1種免許、幼稚園教諭2種免許 大学病院など医療機関等において、学校不適応児童および発達障害・精神疾患を抱え、相談援助の必要な子どもの心理アセスメントや発達相談、教師・保育者へのコンサルテーションを行ってきました。また、臨床心理士として、スクールカウンセラーが制度化される以前の活用調査事業の時代から従事したり、中学校、高等学校等のいじめ対策委員会に参画してきました。また、児童福祉審議会や子ども貧困対策委員会等の委員会に学識経験者の立場から参加し行政への提言も行ってきました。そうした現場での経験をふまえて、具体的にに基づいた教育相談の役割、学校現場での不登校・いじめの実態や対策、課題について講義することができればと考えています。	2	2		建築デザイン学科は履修不可
学部等共通科目	学校経営と学校図書館	網野 未来	2	2回生	学校図書館、公共図書館、大学図書館、専門学校図書館など、多様な館種で10年以上にわたり実務経験を有する教員が担当する。特に学校図書館分野に強みを持ち、選書・読書指導・情報活用能力育成・学校司書との連携など、現場で培った知識と技能を授業に反映する。実践的な事例を取り入れながら、学校司書として学校図書館運営を行ってきた経験を活かし、現場の現状を踏まえ学校図書館全般について講義する。	2	2		建築デザイン学科は履修不可
学部等共通科目	学校図書館メディアの構成	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際的な事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	2		建築デザイン学科は履修不可
学部等共通科目	学習指導と学校図書館	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際的な事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	2		建築デザイン学科は履修不可

◆工学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	工学部			備考
						情報工学科	ロボティクス学科	建築デザイン学科	
学部等共通科目	読書と豊かな人間性	綿野 未来	2	2回生	学校図書館、公共図書館、大学図書館、専門学校図書館など、多様な館種で10年以上にわたり実務経験を有する教員が担当する。特に学校図書館分野に強みを持ち、選書・読書指導・情報活用能力育成・学校司書との連携など、現場で培った知識と技能を授業に反映する。実践的な事例を取り入れながら、学校司書として学校図書館運営を行ってきた経験を活かし、現場の現状を踏まえ学校図書館での読書活動全般について講義する。	2	2		建築デザイン学科は履修不可
学部等共通科目	情報メディアの活用	西浦 富美子	2	2回生	担当者は、教員・司書教諭としての実務経験と公共図書館や多数の学校図書館との連携の経験を有し、課題に応じて実際の事例や最新の資料等を適宜紹介する。	2	2		建築デザイン学科は履修不可
全学共通科目	健康に生きる	川村 晃右	2	1回生	保健師や助産師、看護師としての実務経験のある教員が担当する。	2	2	2	
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅰ	伊藤 孝子	2	3回生	小学校での教員ならびに管理職の経験や教育委員会・総合教育センターでの勤務経験のある者が、その経験を生かして今日的課題や具体的な対応等について指導していく	2			ロボティクス学科、建築デザイン学科は履修不可
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅱ	伊藤 孝子	2	3回生	小学校での教員ならびに管理職の経験や教育委員会・総合教育センターでの勤務経験のある者が、その経験を生かして今日的な課題や具体的な対応等について指導していく	2			ロボティクス学科、建築デザイン学科は履修不可
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅲ	佐敷 恵威子 中村 祐之	2	4回生	(佐敷)小学校における教員ならびに管理職の経験、および教育委員会、総合教育センターでの勤務を経験した者が、その経験を活かして今日的な課題や実際の学校現場での対応等について理論とつなげながら具体的に指導していく。 (中村)①教員経験・教科指導(英語科、他)、学級担任(学級経営等)、生徒指導(補導主任等)、同和・人権主任、進路指導主事、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、人事主事(教育委員会)公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2			ロボティクス学科、建築デザイン学科は履修不可
学部等共通科目	教職・保育職教養講義Ⅳ	佐敷 恵威子 中村 祐之	2	4回生	(佐敷)小学校での教員ならびに管理職の経験や教育委員会、総合教育センターでの勤務経験のある者が、その経験を生かして今日的課題や具体的な対応等について指導していく。 (中村)①教員経験・教科指導(英語科、他)、学級担任(学級経営等)、生徒指導(補導主任等)、同和・人権主任、進路指導主事、教務主任、他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、人事主事(教育委員会)公立学校(中学校)教員の経験を活かし、教育に関わる内容等について理解させるとともに、様々な角度から具体的な教育実践方法の指導を行う。	2			ロボティクス学科、建築デザイン学科は履修不可
学部等共通科目	ワークエクスプレィエンス	南 了太	2	3回生	担当教員は、実務面では産学連携コーディネーターとして企業と豊富な連携実績をもっています。また、様々な実践プロジェクトを通じて受講生の就業意識の向上を図ってきました。さらに、大学事務職員としてキャリア支援(就職相談・面指導・履歴書作成指導・キャリアデザイン講座等)を担当したことがあります。理論面では経営学の博士号を有し、企業の様々な現象を研究しています。	2		2	ロボティクス学科は履修不可
学部等共通科目	キャリア開発演習Ⅳ	乾 明紀	2	3回生	サービス業界での実務経験を経て、その経験を活かした、ビジネスマナーやキャリア形成の講座を実施。大学内キャリアセンターに従事し、学生を対象とした指導経験も多数。本科目以外にも様々な大学にてキャリア科目を指導。	2		2	ロボティクス学科は履修不可
合計単位数						118	80	71	

◆看護学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	看護学部	
						看護学科	備考
専門科目	家族看護学	河原 宣子	1	1回生	担当教員はいずれも家族看護実践に関する知識と臨床経験を有する。	1	
専門科目	フィジカルアセスメントⅠ	佐藤 聖一	4	1回生	薬理学、生理学を専門とする教員、看護師・保健師・助産師として多様な場での実務経験をもつ教員がオムニバス形式で担当し、身体の健康状態や健康状態のアセスメントに関する基本的知識を教授する。	4	
専門科目	フィジカルアセスメントⅡ	岡田 純子	4	1回生	薬理学、生理学を専門とする教員、看護師・助産師として多様な場での実務経験をもつ教員がオムニバス形式で担当し、身体の健康状態や健康状態のアセスメントに関する基本的知識を教授する。	4	
専門科目	フィジカルアセスメント演習Ⅰ	岡田 純子	1	1回生	看護職者としての豊富な実践経験と教育経験を有した、専門領域の異なる教員がオムニバス形式で指導を行う。	1	
専門科目	フィジカルアセスメント演習Ⅱ	岡田 純子	1	1回生	看護師として多様な場での実務経験を有する教員がオムニバス形式で担当し、対象者の健康状態を系統的にアセスメントするための知識と技術について演習を行う。	1	
専門科目	プライマリヘルスケアⅡ	瀬川 裕美	2	1回生	地域での看護活動や各発達段階における人々の健康維持・増進に関する看護活動を実施した教員が、それぞれの専門分野に応じた内容の授業を行う。	2	
専門科目	災害看護学Ⅰ	野島 敬祐	1	1回生	災害看護や救命救急活動の実務経験がある教員が実施する。	1	
専門科目	対人ネットワーク論	川村 晃右	2	1回生	看護師として実務経験をもつ教員が、看護における対人関係の進展に向けたコミュニケーションのあり方について教育する。	2	
専門科目	生涯健やか看護学実習Ⅰ	深山 つかさ	1	1回生	成人看護・高齢者看護・小児看護の臨床経験をもつ教員とともに地域に出て体験的に学習する。	1	
専門科目	看護学原論Ⅰ	梶谷 佳子	1	1回生	・急性期、慢性期の病棟での実務経験を有する教員が行う。・看護の実務経験を活かして、看護学の知識と実践の統合を図る。	1	
専門科目	ライフサイクル論	川村 晃右	1	1回生	看護師として実務経験をもつ教員が、看護の対象となる人のライフサイクルと発達について、精神的、身体的、心理・社会的側面から教育する。	1	
専門科目	生涯健やか看護学実習Ⅱ-1(通所)	深山 つかさ	1	2回生	デイサービスまたはデイケア施設においてケアに参加し、その中でひとりの高齢者を受け持つ。高齢者看護に携わってきた教員と臨床看護経験をもつ教員が、ケア対象者とのコミュニケーションや対象理解の指導を行う。	1	
専門科目	生涯健やか看護学実習Ⅱ-2(施設)	征矢野 あや子	2	2回生	介護老人保健施設などで2週間実習を行う。ひとりの高齢者を受け持ち、関係性の構築に向けたかかわりを行う。看護過程を展開し、導きだされた看護計画に基づき日常生活援助を指導のもと実施し評価する。数名のグループに2名の教員(高齢者などを対象とする臨床看護の経験を有する)が指導にあたる。	2	
専門科目	プライマリヘルスケアⅢ	瀬川 裕美	2	2回生	地域における看護活動(保健師等)の経験のある教員とゲストスピーカー(予定)が担当する。実務経験に基づく実践的な内容を組み入れた授業を予定している。	2	
専門科目	国際看護学Ⅰ	河原 宣子	2	2回生	河原宣子:2005年10月~2006年5月に独立行政法人国際協力機構(JICA)のウズベキスタン看護教育改善プロジェクトにおける技術協力専門家として派遣。現地の看護教員を対象とした教育・指導、再教育プログラムの作成、改善カリキュラム作成等を実施。現在もウズ国と交流を持つ。(一社)日本国際看護学会代議員。瀬川裕美:2011年1月より2013年1月まで独立行政法人国際協力機構(JICA)の青年海外協力隊としてブータン王国に赴任。現地スタッフとともに村の巡回や診療を行いながら、母子保健についての地区調査を実施。両親学級のモデル事業の立ち上げや感染管理チームの立ち上げを行ない、母子手帳の改定にも携わる。帰国後、国際保健学、グローバル生存学を修め、ポストドクで文化心理学を学ぶ。ブータン医科大学と生活習慣病や精神保健についての国際共同研究活動を継続している。工藤里香:ウイメンズヘルスを専門とし、女性と子どもの人権と健康を基盤としたセクシュアリティについて研究。包括的性教育先進国であるデンマークやフィンランドでの研修、視察の経験を活かした活動を行っている。また在日外国人の医療の困難や妊娠出産育児に関するインタビューを実施し、その改善に取り組んでいる。非常勤講師:金澤豊(現・民間救急 かずたねと 顧問、前・京都橋大学)前・京都橋大学健康科学部 救命救急学科教員、30年以上の看護師としての臨床経験に加え、自衛隊員としての勤務経験も持つ。国際緊急援助隊を含め、国内外で20回近くの支援を経験した災害支援のエキスパート。近年では、2023年2月6日に発生したトルコ・シリア地震に国際緊急援助隊として参加。非常勤講師:マルティネス真喜子(現・MARTI.STUDIO 代表)前・京都橋大学看護学部、国立国際医療センター集中治療室にて6年勤務。JICA海外協力隊看護師隊員としてエルサルバドルで2年間活動。在日外国人に関する調査・研究にて看護学修士号、看護学博士号取得。ゲストスピーカー:藤井ゆき子 一般社団法人通訳品質評議会 理事	2	
専門科目	健康回復看護学演習Ⅰ	中橋 苗代	2	2回生	看護師や保健師の資格と豊富な実践経験を有する教員がオムニバス形式で担当し、理論的な知識と実践的な知識にもとづいて指導を行う。	2	
専門科目	健康回復看護学演習Ⅱ	中橋 苗代	2	2回生	看護職としての豊富な実践経験と教育経験を有した、専門性の異なる教員がオムニバス形式で指導を行う。	2	
専門科目	健康回復看護学Ⅰ	那須タグバ 潤子	4	2回生	看護職として実践経験を有する教員がオムニバス形式で担当し、理論的な知識と実践的な知識にもとづいて指導を行う。	4	
専門科目	健康回復看護学実習Ⅰ(病院)	中橋 苗代	2	2回生	病院において看護職の臨床経験を有する実務者教員が実習指導を行う。	2	

◆看護学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	看護学部	備考
						看護学科	
専門科目	看護学原論Ⅱ	梶谷 佳子	1	2回生	看護の実務経験を活かして、看護学の知識と実践の統合を図る。	1	
専門科目	学校保健	川村 晃右	2	2回生	養護教諭1種免許および公認心理師をもつ教員が、学校現場における今日的課題と、ライフサイクルをふまえた保健教育のあり方について教育する。	2	
専門科目	養護概説	坂 光子	2	2回生	小学校・中学校・高校(定)の養護教諭の実務経験に基づき、専門職としての養護教諭の知識と技能を指導する。	2	
専門科目	精神保健	加藤 直人	2	2回生	京都府教育庁 スクールソーシャルワーカー(まなび・生活アドバイザー)、NPO法人フォロ(フリースクール)、EAPコミュニケーションセンター有限責任事業組合(企業のメンタルヘルスコンサルティング)、精神保健福祉士、社会福祉士としての経験や実績を活かして、養護教諭に必要な知識・基礎を身につけるよう指導する。	2	
専門科目	災害看護学Ⅱ	野島 敬祐	1	2回生	災害看護実践の経験がある教員が担当する	1	
専門科目	キャリア開発演習Ⅴ	松本 賢哉	1	3回生	看護の実務経験を活かして、看護学の知識と実践の統合を図る。	1	
専門科目	看護管理学Ⅰ	餅田 敬司	2	3回生	病院の看護管理者や経験者が科目を担当し、管理職・看護管理者のあり方について教授する。また、実践者より事例紹介を得て学びを深める。	2	
専門科目	生涯健やか看護学演習	十倉 絵美	1	3回生	担当教員はいずれも、当該科目に必要な知識とスキルに関する豊富な臨床経験を有する。	1	
専門科目	生涯健やか看護学実習Ⅲ-1(訪看)	深山 つかさ	4	3回生	看護師経験に基づき、患者や家族に対する看護について実習指導を行う	4	
専門科目	生涯健やか看護学実習Ⅲ-2(訪看)	川村 晃右	2	3回生	精神看護や地域看護の経験がある教員等を中心に指導を行う。	2	
専門科目	生涯健やか看護学実習Ⅲ-3(母性)	工藤 里香	2	3回生	助産師経験を有する教員が担当する。	2	
専門科目	健康回復看護学Ⅲ	伊藤 弘子	2	3回生	担当教員は、当該科目に必要な知識と臨床経験を有している	2	
専門科目	健康回復看護学実習Ⅱ-2(子ども)	堀 妙子	2	3回生	担当する教員は全て、小児看護の領域での臨床経験を持っている。その経験を活かし、小児と家族に対するケアを学生とともに実施し、役割モデルを果たすとともに、小児およびその家族の捉え方、そして看護援助の方法に関する学生の学びを支援する。	2	
専門科目	健康回復看護学実習Ⅱ-3(こころ)	松本 賢哉	1	3回生	精神科勤務の経験を有する実務家教員を中心に実習指導を実施する。	1	
専門科目	健康回復看護学演習Ⅲ	伊藤 弘子	2	3回生	臨床経験を有する看護教員が担当する	2	
専門科目	ヘルスクライシス疾病論	堀 妙子	4	3回生	医療現場での看護経験を有する教員が、看護実践に必要な知識に関する授業を行う。	4	
専門科目	看護教育学Ⅰ	奥野 信行	2	3回生	急性期、慢性期、終末期の臨床経験を有する、またリカレント教育、看護基礎教育、看護継続教育経験を有する教員が担当する。	2	
専門科目	看護倫理Ⅰ	梶谷 佳子	2	3回生	急性期、慢性期、終末期の臨床経験を有する教員が担当する。	2	
専門科目	生涯健やか看護学	工藤 里香	2	3回生	医療現場における看護経験を有する教員が、看護実践に関する授業を行う。	2	
専門科目	生徒指導論	網谷 綾香	2	3回生	小中学校や教育支援センター(旧・適応指導教室)、小児科・精神科クリニック等でカウンセラーとして勤務した経験を生かし、生徒指導の基本を踏まえつつ全体像を示し実践的な事例を取り上げ、養護教諭としての責務と実務、今日的な課題(いじめ問題・不登校等)への対応・支援法を検討する。	2	
専門科目	助産診断学	竹 明美	4	3回生	助産師経験を有する教員が担当する。	4	
専門科目	エンドオブライフケア論	中橋 苗代	1	4回生	看護職の臨床経験を有する実務者教員が担当する。	1	
専門科目	看護学原論Ⅲ	梶谷 佳子	1	4回生	看護の実践経験を活かして、看護学の知識と実践の統合を図る。	1	
専門科目	看護管理学ⅡA	半場 江利子	2	4回生	総合病院で看護管理、看護管理者教育、学部、大学院での看護管理学教育経験のある教員がその経験を活かし、現在の医療における看護管理の課題探求について解説する。	2	

◆看護学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	看護学部	備考
						看護学科	
専門科目	看護管理学ⅡB	長坂 桂子	2	4回生	助産師免許を持ち、助産師としての実務経験がある教員が担当する。	2	
専門科目	国際看護学Ⅱ	河原 宣子	2	4回生	国際看護に関する経験を有する教員が学習サポートを行う。	2	
専門科目	看護教育学Ⅱ	奥野 信行	2	4回生	急性期、慢性期、終末期の臨床経験を有し、またリカレント教育、看護基礎教育、看護継続教育経験を有する教員が担当し、その経験を各回の授業内容に反映し適切な指導を行う	2	
専門科目	看護倫理Ⅱ	梶谷 佳子	1	4回生	急性期、慢性期、終末期の臨床経験を有し、看護基礎教育、看護継続教育、看護リカレント教育における教育経験を有する教員による現実的な倫理的課題を扱う授業内容となる。	1	
専門科目	生涯健やか事業構想論	下田 優子	2	4回生	地域での看護活動(保健師等)の経験のある教員が担当し、演習等による実践的な授業内容を実施する。	2	
専門科目	助産技術学	竹 明美	4	4回生	教員の実務経験:助産師実務の経験を有する。授業内容:助産師実務経験に基づき、助産診断に必要な技術、分娩期の助産技術(産婦の経過診断と分娩促進及び分娩介助技術、出生直後の新生児ケア技術)、集団および個別の健康教育技法について指導する。	4	
専門科目	生涯健やか事業展開実習	瀬川 裕美	3	4回生	地域における看護活動(保健師等)の経験のある教員が担当する。実習指導者や実習担当教員の助言や指導を得て、公衆衛生看護活動に求められる実践能力の基盤や公共政策に求められる視座を養う。	3	
専門科目	助産学実習	工藤 里香	8	4回生	教員の実務経験:助産師実務の経験を有する授業内容:臨床指導者と共に、助産過程の展開に関する指導を行う。事例ごとの振り返りや中長期的な実践能力の習得に関する指導を行う。	8	
全学共通科目	芸術と文化	山本 善則	2	1回生	現役ピアニストであり、数々のコンクールに携わってきた経験等を生かし、現代芸術教育における問題点や、新たな視点を実際にピアノ演奏を行いつつ説明します。	2	
全学共通科目	ジェンダーとダイバーシティ	水島 新太郎	2	1回生	奈良女性センター 市民講座講師千葉市男女共同参画センター さんかくカレッジ講師ジェンダーに関するデジタル新聞記事の執筆(産経デジタル、IRONNA)	2	
全学共通科目	異文化コミュニケーション論	榎谷 恒孝	2	1回生	担当者は国連に約10年勤務、アフリカや中東の紛争国に滞在し主に紛争解決や平和構築、開発に携わりました。また、国際協力機構(JICA)にて青年海外協力隊や企画調査員としてアフリカに滞在した経験があり、嘱託職員としてJICA本部、緒方貞子平和開発研究所に勤務していました。さらに民間企業(商社)に勤務・海外駐在し、アフリカや中東諸国との貿易・マーケティングに携わった経験も持っています。1年以上長期滞在した国はタイ、イギリス、アフリカ4か国(ブルキナファソ、アルジェリア、コンゴ民主共和国、中央アフリカ共和国)、イエメンの7か国、訪れた国は50か国を超え、そのうち30か国はアフリカの国々です。これらの経験を基に現場の事例などを交えながら授業を進めます。	2	
学部等共通科目	人間を考える	杉山 隆一	2	2回生	授業前半部(第1回～7回)を担当する杉山は外務省での勤務経験を有する。後半部(第8回～14回)を担当する榎谷はJICA、国連での平和構築に関する勤務経験を有する。	2	
学部等共通科目	情報技術の歴史と展開	工藤 寛樹	2	1回生	担当教員の専門分野はモバイル・コネクティビティコンピューティング、人工知能であり、センシングや人の活動に紐づいて発生するデータを分析することにより人の暮らしをより豊かにする技術開発、研究を行っています。本講義では、情報技術の歴史的な発展の経緯に加えて、専門分野の研究活動によって得られた知見を交えながら将来の展開についても考察します。	2	
全学共通科目	私たちのくらしと行政	竹内 直人	2	1回生	福井県庁で30年間、主に政策づくりに携わり、多様な政策を立案しました。大学に移ってからは経験を活かして、多くの市町や国、国際機関などの委員を務めています。国、県、市や町など複眼的な観点から人びとの生活と行政の関係を一緒に考えていきます。自治体職員による講義を行います。	2	
学部等共通科目	時事問題にふれる	平尾 毅	2	1回生	日本経済新聞社で30年以上、国内外の支局長はじめ記者、デスクとして企業経営、国際情勢、地域経済に関するニュースを取材、執筆、編集してきた実績とアカデミックな実績、背景を踏まえ、新聞記事の信頼性や記事執筆に至る取材やデータ分析のノウハウなどをわかりやすく伝える。	2	
学部等共通科目	日本と国際社会	佐久間 浩司	2	1回生	金融機関の国際分野での経験あり。イギリス、ドイツ駐在経験あり。短期出張ではアジア、中近東滞在経験あり。経験を適宜授業に織り込む。	2	
学部等共通科目	食と農から社会を考える	平賀 緑	2	1回生	香港と日本において、新聞社、金融機関、有機農業関連企業などに勤めながら、食・農・環境問題に取り組む市民活動を企画運営した経験を持つ。ロンドン市立大学修士(食料栄養政策)、京都大学博士(経済学)。著書に『食べものから学ぶ現代社会—私たちが動かす資本主義のカラクリ』(岩波ジュニア新書、2024年)、『食べものから学ぶ世界史—人も自然も壊さない経済とは?』(岩波ジュニア新書、2021年)、『植物油の政治経済学—大豆と油から考える資本主義的食料システム』(昭和堂、2019年)など。	2	
全学共通科目	情報社会論	杉浦 昌	2	1回生	IT企業の情報システム部門や装置・システム設計開発部門、SI・コンサルティングビジネス部門での実務経験、政府系団体での実務経験のある教員が、テキストやスライド、配布資料、種々の公開資料、レポート、論文等を用いて授業をおこなう。授業は講義を中心に行うが、理解の深化と確認のため、振り返り学習やレポート提出を実施する場合がある。	2	
学部等共通科目	心理学入門	浦田 洋	2	1回生	臨床心理士、及び公認心理師として長年実務に携わってきた担当者が、教科書を参考にしてあらゆる生活場面を心理学的に理解する視点について解説する。	2	

◆看護学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	看護学部	備考
						看護学科	
学部等共通科目	日本の伝統的建築と庭園	鈴木 あるの	2	1回生	資格・免許:一級建築士、二級建築士、一級造園施工管理士、全国通訳案内士、米国カリフォルニア州登録ランドスケープアーキテクト実務経験:国内外(日本、米国、イタリア)の建築設計事務所および造園設計事務所にて調査・計画・設計の実務・国カリフォルニア大学デービス校環境デザイン学科の専門科目(2000-2005年)および京都大学の国際交流教養科目(2008年~2012年)にて「日本の伝統的建築と庭園」を英語で講義・全国通訳案内士(英語)として京都と奈良の建築と庭園をガイド	2	
学部等共通科目	くすりのサイエンス	村木 優一	1	1回生	1回目 生命科学(京都薬科大学 細胞生物学分野 関根 勇一:日本・米国の大学でさまざまな研究を行ってきた教員が、病態解明や創薬につながる生命科学研究について解説する。)2回目 創薬・有機化学(京都薬科大学 薬品化学分野 大石 真也:新しい薬の探索・創製(創薬研究)に従事している教員が、薬づくりの現状・現実を講述する。)3回目 生薬・薬用植物(京都薬科大学 薬用植物園 月岡 淳子:薬用植物園で20年以上、植物の栽培研究に携わってきた教員が、漢方処方配合される生薬や薬用植物について解説する。)4回目 薬剤・製剤(京都薬科大学 薬物動態学分野 伊藤 由佳子:薬剤学・製剤学において25年以上従事してきた教員が、製薬企業および国立大学病院との共同研究を通じて得た医薬品適正使用に必要なくすりの考え方について解説する。)5回目 分析・薬物代謝(京都薬科大学 代謝分析学分野 内藤 行嘉:大学で10年以上、錯体化学をベースに新規作用メカニズムをもつ創薬研究を行ってきた教員が、体内での薬の動き、薬の作用メカニズムの分析方法、ならびに市販薬の品質管理に関する内容について解説する。)6回目 薬理・薬物治療(京都薬科大学 病態生化学分野 石原 慶一:国内外の大学や研究所において20年以上勤務、疾患の治療戦略研究に従事した経験を持つ教員が、「くすり」の作用と疾患治療について解説する。)7回目 臨床・実務(京都薬科大学 臨床薬剤疫学分野 村木 優一:国立大学病院で16年勤務、様々な部署や病棟を経験し、感染症や医療薬学の専門資格を取得している教員が、医療現場における薬剤師の役割について解説する。)	1	
学部等共通科目	くらしの中の看護	征矢野 あや子	1	1回生	各授業回の内容に関連する臨床経験を有する教員が担当する。	1	
学部等共通科目	こどもの発達支援とこころの健康	真下 いずみ	1	1回生	精神科、発達領域での支援経験を有する教員が担当する。	1	
学部等共通科目	住居学概論	鈴木 あるの	2	1回生	免許・資格・役職:一級建築士、二級建築士、宅地建物取引士、一級造園施工管理士、米国カリフォルニア州登録ランドスケープアーキテクト、(マンション)管理業務主任者、日本民俗建築学会理事、元・日本マンション学会関西支部長。実務経験:国内外の設計事務所および建設コンサルタントにて調査・計画・設計の業務経験あり。	2	
学部等共通科目	自然科学で考える	酒井 徳昭	2	2回生	本授業は3名の教員によるオムニバス形式で実施する。担当教員は、臨床工学技士として病院等での実務経験を有する教員ならびに、工学分野において養成校での指導経験を有する教員で構成されている。医療機器に関わる血液の流れ・呼吸・電気・溶液管理など、臨床現場で実際にみられる身近な自然科学の現象を題材に、数値や現象の意味を多角的に捉え、主体的に考えながら理解を深める姿勢を養う授業として実施する。	2	
学部等共通科目	就業体験準備実習	小山 大介 福原 崇之	2	1回生	担当教員は、民間企業での実務経験、産官学連携、企業・自治体調査・分析などの経験を有しており、その経験や現在も続けている現状分析などの情報を受講生へ積極的に伝える。	2	
学部等共通科目	教職入門	塩谷 道次	2	1回生	①教員経験・教科指導(国語科、他)、学級担任(学級経営等)、学年主任(学年経営等)、同和・人権主任、生徒指導(生徒会担当)他②管理職経験・学校経営、学校評価、小中一貫教育、教頭、校長、③教育委員会経験・連合教職大学院みなし実務家教員、教職院人事課参与、研究課・カリキュラム開発支援センター・教員養成支援室首席指導主事、教育計画課・人権教育企画課指導主事 他公立学校(中学校)教員並びに管理職、教育委員会事務局勤務の経験を活かし、教育に関わる内容等についての学修と、様々な角度からの具体的な教育実践方法の指導を行う。	2	
学部等共通科目	教育心理学	大久保 千恵 湯澤 正通	2	1回生	(大久保)教育領域における公認心理師・臨床心理士としての心理臨床の実務経験を活かし、教育心理学を理解することに役立つ臨床的なお話もさせていただきます。 (湯澤)特別支援教育士の資格をもち、全国の学校での研究授業や教育委員会等主催の研修会の講師を務め、特に、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に関する研究成果を現場の保育士・教師に伝えてきた。小学校教員・幼稚園教員に必要な教育心理学・発達心理学・学習心理学の基礎的知識の習得を目指し、幼稚園・保育園、学校現場で子どもの発達の現状や支援が必要な幼児・児童・生徒についての事例も紹介する。	2	
学部等共通科目	総合的な学習の時間の指導法	武田 章	1	2回生	中高一貫校において社会科教諭として長年勤務していたため、中高6年間の社会科関係の授業を担当をしてきたことに加えて、勤務校が教育研究開発と教育実習を社会的使命としていたことにより、総合的な学習をはじめとする新たな教育研究や教材の開発について取り組んできたことと、毎年3・6人の教育実習生を担当指導してきた。それらの経験を生かしながら、具体的な授業づくりをしていく際の勘所を押さえた指導をしていきたい。	1	
学部等共通科目	特別活動論	池田 修 柳澤 彰紀	2	2回生	(池田)中学校教員の経験を活かし、特別活動の具体的な指導法や評価法の在り方について講義する。 (柳澤)中学校及び高等学校での経験を生かし、特別活動の具体的な指導法や評価法の在り方について講義する。受講生が教員として求められる資質能力を高められるようにする。	2	

◆看護学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	看護学部	
						看護学科	備考
学部等共通科目	教育相談	富井 研治 別府 悦子	2	2回生	(宮井)臨床心理士、公認心理師。長らく臨床心理職員として、児童福祉現場(児童相談所、児童心理治療施設など)に従事する中で、幼稚園や小中高校などの教育現場との連携を経験してきた。現在はスクールカウンセラーとして教育機関に関わっている。また、認定こども園等へのコンサルテーションも行う。学校現場は、子どもの教育のみならず、育ちの現場であり、「不登校」「いじめ」「児童虐待」といった問題も同時にある現場である。そうした中で「教育相談」という科目は、将来教育を支えていくことを志向する学生にとって必然の学びの場であろう。臨床心理学視点から教育相談を学ぶ現場をサポートできたらと考える。 (別府)臨床心理士、公認心理師、特別支援学校教諭専修免許、小学校教諭1種免許、幼稚園教諭2種免許、大学病院など医療機関等において、学校不応児および発達障害・精神疾患を抱え、相談援助の必要な子どもの心理アセスメントや発達相談、教師・保育者へのコンサルテーションを行ってきました。また、臨床心理士として、スクールカウンセラーが制度化される以前の活用調査事業の時代から従事したり、中学校、高等学校等のいじめ対策委員会に参画してきました。また、児童福祉審議会や子ども貧困対策委員会等の委員会に学識経験者の立場から参加し行政への提言も行ってきました。そうした現場での経験をふまえて、具体例に基づいた教育相談の役割、学校現場での不登校・いじめの実態や対策、課題について講じることができればと考えています。	2	
学部等共通科目	人権と教育	井川 勝	2	2回生	佛教大学教職支援センター非常勤講師(実習指導講師)2020年4月～現在担当科目 教育実習指導/研究(集中講義)4月6時間12月2時間人権同和教育 春学期 14時間 ※2023年度より 春・秋学期 各14時間の予定1981年4月～2019年3月 京都市立小学校教員1981年4月～1988年3月 京都市立雲ヶ畑小学校教諭1988年4月～2000年3月 京都市立薬只小学校教諭2000年4月～2005年3月 京都市教育委員会指導部指導主事2005年4月～2010年3月 京都市立梅津北小学校教頭2010年4月～2014年3月 京都市立常盤野小学校校長2014年4月～2016年3月 京都市立紫竹小学校校長2016年4月～2018年3月 京都市立向島南小学校校長2018年4月～2019年3月 京都市立薬只小学校校長2019年4月～2024年3月 京都市教育委員会専門主事2023年4月～現在 京都橘大学非常勤講師	2	
全学共通科目	健康に生きる	川村 晃右	2	1回生	保健師や助産師、看護師としての実務経験のある教員が担当する。	2	
学部等共通科目	教職実践演習(養護)	坂 光子	2	4回生	小学校・中学校・高校(定時制)における養護教諭の実務経験を生かし、4年間の学びの集大成とこれからの養護教諭像を幅広く考える授業とする。	2	
学部等共通科目	医療と生命の倫理	梶谷 佳子 野口 佐弥香 大関 誠也 平本 憲二 須賀 淳子 小田桐 匡	1	1回生	臨床現場での医療活動を通して、医療倫理・生命倫理と向き合ってきた経験を有する	1	
学部等共通科目	公衆衛生学	岩瀬 弘明	1	1回生	公衆衛生学を扱った研究業績を有する教員が、適宜ディスカッションを交えながら実践的な教育を行う。	1	
学部等共通科目	医療リスクマネジメント	齋藤 汐海	1	1回生	看護管理、訪問看護を専門とし、様々な医療現場のリスクマネジメントを実践している看護師教員、3次医療機関にて救急対応、患者搬送等の実務経験を有する救急救命士教員が担当する。	1	
学部等共通科目	医学概論	大槻 俊輔	2	1回生	授業の主催者は、診療の基本となる医療面接や医療コミュニケーションについて、教育経験が長い。また、臨床の実践では、長年、救急医療や総合診療の中で、病で悩み傷ついた方々と接し、高齢化社会の実態や課題に具体的に直面してきたことから、授業テーマの必要性や重要性を強く認識している。医療人基礎力につながる授業である。	2	
合計単位数						160	

◆健康科学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	健康科学部					備考
						理学療法学科	作業療法学科	救急救命学科	臨床検査学科	臨床工学科	
専門科目	医療と生命の倫理	梶谷 佳子	2	3回生	病院での臨床経験を活用しながら、様々な倫理的課題を考察する。						
専門科目	運動学	甲斐 義浩	2	1回生	理学療法士の実務経験をもつ教員が、その経験を生かして、臨床現場で必要となる身体運動学の基礎について解説する。	2					
専門科目	病理学	藤原 麻有	2	1回生	医療従事者としての実務経験を有する教員が、本科目の重要性について説明する。	2	2				
専門科目	キャリア開発演習Ⅰ	村田 伸 堀江 淳 白岩 加代子 宮崎 純弥 横山 茂樹 甲斐 義浩 安彦 鉄平 木村 智子 兒玉 隆之 中野 英樹 嶋田 正博 小田桐 匡 松尾 奈々	1	1回生	実務経験(臨床経験)を生かし、理学療法士としての在り方、社会人としての理学療法士とあり方について教授する。	1					
専門科目	キャリア開発演習Ⅱ	村田 伸 堀江 淳 白岩 加代子 宮崎 純弥 横山 茂樹 甲斐 義浩 安彦 鉄平 木村 智子 兒玉 隆之 中野 英樹 嶋田 正博 小田桐 匡 松尾 奈々	1	1回生	実務経験(臨床経験)を生かし、理学療法士としての在り方、社会人としての理学療法士とあり方について教授する。	1					
専門科目	人体の構造と機能演習Ⅰ	木村 智子	2	1回生	科目担当者は、医療分野において理学療法士としての十分な実務経験を有している。また、医学部において、人体解剖実習指導者としての実務経験も有している。これら経験を通して培ってきた知識と技術について、デモンストレーションや供覧を交えながら	2					
専門科目	人体の構造と機能演習Ⅱ	木村 智子	1	1回生	科目担当者は、医療分野において理学療法士としての十分な実務経験を有している。また、医学部において、人体解剖実習指導者としての実務経験も有している。これら経験を通して培ってきた知識と技術について、デモンストレーションや供覧を交えながら	1					
専門科目	運動学演習	甲斐 義浩	1	2回生	理学療法士の実務経験をもつ教員が、その経験を生かして、臨床現場で必要となる身体運動学の基礎について解説する。	1					
専門科目	人間発達学	嶋田 正博	2	1回生	本科目の教員は、発達障害領域での実践経験を多く研鑽しており、教科書に記載されていない重要事項も教授する。	2					
専門科目	内部障害基礎論	堀江 淳	2	2回生	実務経験(臨床経験)を通して得られた知識を、受講生が最低限身に付けておくべき知識に加え教授する。	2					
専門科目	発達障害基礎論	嶋田 正博	2	2回生	本科目の教員は、発達障害領域での実践経験を多く研鑽しており、教科書に記載されていない重要事項も教授する。	2					
専門科目	運動器障害基礎論	宮崎 純弥	2	2回生	科目担当者は、医療保健福祉分野で医師・理学療法士としての十分な実務経験を有している。	2					
専門科目	精神障害基礎論	川岸 久也	2	2回生	授業はすべて実際に病院で勤務している講師が担当する。1回目から7回目は精神科医が、8回目から14回目は理学療法士、作業療法士が講義を行う。	2					
専門科目	神経障害基礎論	兒玉 隆之	2	2回生	実務経験豊かなリハビリテーション専門医と理学療法士が講師を務める。経験を踏まえ具体例を挙げながら講義する。	2					
専門科目	義肢装具学演習	安彦 鉄平	2	3回生	義肢・装具に精通した理学療法士および義肢装具士が担当する。義肢装具士の講師を招いて、義肢・装具の製作過程の実習および義肢製作工程について見学を行う。義肢装具士は、義肢装具製作所に勤務しており、見学実習および装具製作実習を担当する。	2					
専門科目	理学療法総合演習Ⅰ	村田 伸	2	3回生	科目担当者は、医療・保健・福祉領域で理学療法士としての十分な実務経験を有している。これら経験の中で培ってきた実践的な知識・技術を教授する。	2					
専門科目	理学療法総合演習Ⅱ	松尾 奈々	2	3回生	科目担当者は、医療・保健・福祉領域で理学療法士としての十分な実務経験を有している。これら経験の中で培ってきた実践的な知識・技術を教授する。	2					
専門科目	人体の構造と機能演習Ⅰ	木村 智子	2	1回生	科目担当者は、医療分野において理学療法士としての十分な実務経験を有している。また、医学部において、人体解剖実習指導者としての実務経験も有している。これら経験を通して培ってきた知識と技術について、デモンストレーションや供覧を交えながら教授していく。	2					
専門科目	人体の構造と機能演習Ⅱ	木村 智子	1	1回生	科目担当者は、医療分野において理学療法士としての十分な実務経験を有している。また、医学部において、人体解剖実習指導者としての実務経験も有している。これら経験を通して培ってきた知識と技術について、デモンストレーションや供覧を交えながら教授していく。	1					
専門科目	運動学	齋藤 慶一郎	2	1回生	身体障害領域で実務していたproper教員が、下記項目についての講義を行う。		2				
専門科目	人間発達学	原田 瞬	2	1回生	発達障害がある子どもに対し作業療法士として実務経験がある。定型発達を踏まえた加齢に伴う人の心身の変化を説明する。		2				
専門科目	運動学演習	齋藤 慶一郎	1	2回生	作業療法士(身体障害領域)の実務経験を有する担当教員が、臨床実践において必須である評価・治療技術である身体触診について、講義・演習を行う		1				
専門科目	内部障害基礎論	田丸 佳希	2	2回生	該当領域で経験のある医師、proper教員が講義を行う。		2				

◆健康科学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	健康科学部					備考	
						理学療法学科	作業療法学科	救急救命学科	臨床検査学科	臨床工学科		
専門科目	運動器障害基礎論	菅沼 一平	2	2回生	本講義の1～7回目については豊富な臨床経験をもつ医師、8～14回目については豊富な臨床経験のある作業療法士が担当する。		2					
専門科目	精神障害基礎論	平本 憲二	2	2回生	実務経験のある教員が授業担当する。精神医学は身近ではない分野であるため、具体的な症例を交えて話題を提供することで、イメージをしやすくするよう努める。作業療法では専門的見地から臨床現場の様子を話し理解しやすくしていく。		2					
専門科目	神経障害基礎論	高畑 進一	2	2回生	各種神経疾患・障害の臨床経験豊かな医師・教員が代表的な神経疾患・損傷の病態、診断、治療について概説する。急性期病院・回復期病院での臨床経験を有する作業療法士・教員が、中枢神経系疾患及び神経・筋疾患の特性と障害像、代表的評価方法について概説する。講義は、資料提示、講義撮影動画配信、講義スライド動画配信、講義ライブ配信などの方法を適宜組み合わせで行う。		2					
専門科目	発達障害基礎論	岡本 茂	2	2回生	発達障害児に対し作業療法士として実務経験がある教員と、小児科医としての実務経験がある教員が担当する。それぞれの実務経験をともに対象となる疾患の説明を行う。		2					
専門科目	義肢装具学演習	田丸 佳希	1	3回生	作業療法士(身体障害領域)の実務経験を有する担当教員が、下記項目(授業計画)について講義・演習を行う		1					
専門科目	病理学	大槻 俊輔	2	1回生	循環器・脳卒中救急を軸に、ERでの総合的な内科救急の診療実務と初期研修医への指導を医務機関で行ってきました。医療系学生にとって、必要性の高い臨床情報をより簡潔明瞭にまとめ、健康なヒトへの解剖・生化学を復習しながら、なぜ病気になるのか、どのような状態や状態で発症するのか、またどのような変化が病理学的、生理学的、生化学的に起きているのかをまとめます。また、症例から学ぶケースメソッド方式、その後グループディスカッション、ドラマエデュケーション方式を行い、知識の習得を深め、ものにして、次の症候学や治療学に進めていけるようにお手伝いします。I have provided comprehensive internal medicine and emergency care practice in the medical school /national center, and I teach to initial medical residents for surgeons and physicians at the ER of medical education institutions, with a focus on cardiovascular and stroke emergencies. For you of Kyoto Tachibana University, I summarize the highly necessary clinical information more concisely and clearly, reviewing the anatomy and physiochemistry of healthy humans you had learned, and summarizing why we become ill and aged, under what circumstances and conditions diseases can develop, and what changes occur in their pathology, physiology, and biochemistry in our body, tissue and cell. We will also use the case-method method of learning from clinical cases, followed by group discussion and drama education methods to help you deepen your knowledge and move on to the next step of symptomatology and therapeutics in the near future. I hope you will enjoy the experienced lectures.			2				
専門科目	救急救命実習Ⅱ	(閉講:開→閉)	5	2回生	救急救命士の教員が、その経験を活かし、救急救命士として適切な活動について指導する。			5				
専門科目	救急救命実習Ⅱ	西 大樹	4	2回生	救急救命士の教員が、その経験を活かし、救急救命士として適切な活動について指導する。			4				
専門科目	キャリア開発演習Ⅰ	須賀 淳子	1	1回生	担当する教員は、病院での臨床検査全般の実務およびチーム医療の一員としての経験を持つ。大学での学びに最近の保健医療や医療現場に関連するテーマを結びつけ、より実践に即した講義・演習をおこなう。				1	1		
専門科目	公衆衛生学	中村 竜也	2	3回生	担当教員は感染症を中心に25年の実臨床での経験を持つ。実務経験に基づき、臨床現場における公衆衛生の重要性を用いて講義を行う。				2			
専門科目	キャリア開発演習Ⅱ	藤原 麻有	1	2回生	臨床検査技師として病院の検査室で勤務した経験を有する教員がチーム医療に関する演習を指導する。この授業では、感染制御チーム、栄養サポートチーム、糖尿病診療、治療コーディネーター、臨床研究支援などのチーム医療について理解を深める。その過程を通して、臨床検査技師の医療組織の一員としての役割や意味を理解し、あわせてコミュニケーション能力や使命感についても考える。				1	1		
学部等共通科目	医療と生命の倫理	梶谷 佳子 野口 佐弥香 大関 誠也 平本 憲二 須賀 淳子 小田桐 匡	1	1回生	臨床現場での医療活動を通して、医療倫理・生命倫理と向き合ってきた経験を有する	1	1	1	1	1		
学部等共通科目	公衆衛生学	若瀬 弘明	1	1回生	公衆衛生学を扱った研究業績を有する教員が、適宜ディスカッションを交えながら実践的な教育を行う。	1	1				救急救命学科、臨床検査学科、臨床工学科は履修不可	
専門科目	心理学統計法Ⅰ	前田 洋光	2	1回生	調査会社(シンクタンク)で研究員を務めた教員が統計の実践例を交えて解説する。							
専門科目	自己表現研究Ⅰ	岸 太一 ジェームス 朋子 松下 幸治 石山 裕菜 大久保 千恵 濱田 智崇	2	1回生	心理臨床実践経験を有する教員が担当する。教員のファシリテーションのもと、安全に自己開示ができる空間を構築したうえで授業を進めていく。							
専門科目	臨床心理学概論	岸 太一	2	1回生	臨床心理士・公認心理師の資格を有する教員が講義を通じて臨床心理学を概説する。							
専門科目	パーソナリティ心理学	南波 英和	2	1回生	学校心理臨床の実務を基に、パーソナリティ心理学をどのように理解するか、解説を行う。							
専門科目	公認心理師の職責	石山 裕菜	2	1回生	相談員及び研究員として実務経験のある教員が、現場での体験を踏まえ、先行研究や事例を交えながら講義する。							
専門科目	人体の構造と機能及び疾病	大武 陽一	2	1回生	臨床医・産業医・公認心理師としての知見に基づき、臨床現場で遭遇する具体的な症例や、多職種連携(チーム医療)における実情を交えた講義を行う。							
専門科目	心理的アセスメントⅠ	田中 芳幸	2	2回生	臨床心理士・公認心理師である教員の下、心理的アセスメントに必要な諸理論を学ぶ。							
専門科目	健康・医療心理学	田中 芳幸	2	2回生	臨床心理士・公認心理師である教員の下、健康と医療に関わる心理学に関する知識と技能を学ぶ。							

◆健康科学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	健康科学部					備考	
						理学療法学科	作業療法学科	救急救命学科	臨床検査学科	臨床工学科		
専門科目	対人援助論	松下 幸治	2	2回生	臨床心理士及び公認心理師の資格を有する教員の下、対人援助の本質に関する講義を行う。							
専門科目	心理実践講義	前田 洋光	2	2回生	授業を担当する各講師はそれぞれが実務経験を有する。							
専門科目	カウンセリング	大久保 千恵	2	2回生	公認心理師・臨床心理士として、医療・教育・産業・発達領域での心理臨床の実務家としての臨床経験を活かして、事例などを織り交ぜて、わかりやすく説明することを心がけます。							
専門科目	コミュニティ心理学	宮井 研治	2	2回生	長らく児童福祉臨床の現場(児童相談所等)に従事してきた経験と、現在、スクールカウンセラー、保育所・認定こども園での保育士とのコンサルテーション等の経験を踏まえながらコミュニティを心理学的視点で講義する。							
専門科目	関係行政論	宮井 研治	2	2回生	臨床心理士・公認心理師としての実務経験を有する教員が、心の臨床実践における様々な領域での基盤となる「関係法令」「行政」「公認心理師としての職責・倫理」について教授する。							
専門科目	感情・人格心理学	坂本 久美	2	2回生	公認心理師および臨床心理士の資格を持ち、発達臨床やカウンセリングの業務にも従事している教員が、人の感情やパーソナリティについて概説しながら、臨床現場での具体的な症例の話もまじえて解説する。							
専門科目	福祉心理学	宮井 研治	2	2回生	公認心理師・臨床心理士として児童相談所等における実務経験を有する教員が、福祉心理学の展開と、心理における対人支援の実践について教授する。							
専門科目	心理的アセスメントⅡ	雲財 啓	2	3回生	実務を基に、心理検査の使用目的や用途などの解説を具体的にを行う。							
専門科目	心理学的支援法	濱田 智崇	2	3回生	臨床心理士として20年以上の実績があり、現在は公認心理師として様々な心理学的支援の実践に携わっている担当者が、実際に自分の担当した事例を紹介しながら、受講者にはそれらについてさらに考えてもらう。そのことにより、単に知識を得るだけでなく、実践で「使える」思考回路を養うことができると考えている。							
専門科目	障害者・障害児心理学	宮井 研治	2	3回生	「知的障害児通園施設」や「児童相談所」の心理職の実務経験を基にした授業を行う。							
専門科目	司法・犯罪心理学	ジェイムス 朋子	2	3回生	担当者は司法・犯罪領域における、心理臨床実践、処方開発とその研究、実践者の育成に関わる実務者であり、その実践的経験に基づき実証的に犯罪行為やそれを犯した人々への理解を深められるような具体的な題材を使用する。							
専門科目	心理演習	ジェイムス 朋子 大久保 千恵	2	3回生	公認心理師及び臨床心理士の資格を有する教員の指導の下、心理検査や心理面接に関する技能を修得する							
専門科目	環境心理学	石山 裕菜	2	3回生	相談員及び研究員として実務経験のある教員が、現場での体験を踏まえ、先行研究や事例を交えながら講義する。							
専門科目	コーチング心理学	中村 泰介	2	3回生	スポーツ競技の実践において、実践者、監督、コーチとして従事した経験がある。スポーツコーチングや小学校教諭免許状に必須の運動・体育関連科目、中学校、高等学校の保健体育免許状に必須の関連科目の担当経験もある。上記の経験を生かし、集団組織の中で必要とされる様々なスキル獲得を目指した授業を展開する。							
専門科目	メンタルヘルス・マネジメント	石山 裕菜	2	3回生	相談員及び研究員として実務経験のある教員が、現場での体験を踏まえ、先行研究や事例を交えながら講義する。							
専門科目	精神疾患とその治療	川岸 久也	2	3回生	臨床医たる精神科医が、自信の経験を交えながら疾患理解につながるような話題を提供します。							
専門科目	心理実習	竹田 駿介	2	4回生	保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働のいずれかの領域または複数の領域において豊富な臨床経験をもち教員が担当する							
学部等共通科目	保健医療情報学	橋本 昌浩	2	2回生	急性期病院に約30年間勤務し、そのうち診療情報管理士として約20年間の勤務経験があります。担当業務は以下のとおりです。診療情報管理室の開設、電子カルテの導入・更新への参画、病院職員への個人情報保護教育の担当、診療録開示業務、プライバシーマーク導入の担当、民間病院において、DPC制度開始当初よりDPC課を導入した経験を有し、DPCデータを活用した分析を通じて医療の質向上に努めた。QI事業への参画。日本診療情報管理学会認定「診療情報管理士指導者」資格を取得。日本診療情報管理学会の国際診療情報管理士教育課程を修了。日本診療情報管理学会、日本診療情報管理士会等で役員を歴任。以上の豊富な実務経験を有する教員が、教科書の内容に加え、現場で培った知識や事例を紹介しながら、診療情報管理について講義します。					2	理学療法学科、作業療法学科、救急救命学科、臨床検査学科は履修不可	
学部等共通科目	ビジネス環境とマーケティング	増谷 博昭	2	2回生	担当教員は、広告会社でコピーライターやクリエイティブディレクターなどの立場で、TVCM制作やイベント実施、Web構築などの実務経験を有しています。また、経営コンサルタントとして、企業幹部の人材育成や産業財企業の戦略策定支援なども行っていきます。それらの経験を渡し、実社会と学生の橋渡しができる授業プログラムを展開します。						2	理学療法学科、作業療法学科、救急救命学科、臨床検査学科は履修不可
学部等共通科目	知的財産マネジメント	小田 哲明	2	3回生	弁理士として日米での実務経験及びベンチャー企業のメンター経験を有する教員が知的財産権及び知的財産戦略について説明する。						2	理学療法学科、作業療法学科、救急救命学科、臨床検査学科は履修不可
専門科目	リハビリテーション概論	兒玉 隆之	2	1回生	専任教員が基本的知識を整理し、臨床現場で長い実務経験を積んでいる医師、理学療法士、作業療法士および言語聴覚士が、リハビリテーションの現状について具体例を踏まえて教授する。	2	2					
専門科目	理学療法技術学入門演習	宮崎 純弥	1	1回生	科目担当者は、医療保健福祉分野で理学療法士としての十分な実務経験を有している。	1						
専門科目	理学療法評価学	兒玉 隆之	1	1回生	臨床での実務経験に基づき、教科書に記載されている基本的事項を整理するとともに実践的な方法についても幅広く教授する。	1						
専門科目	運動生理学演習	堀江 淳	1	1回生	実務経験(臨床経験)を通して、学生として身につけておく知識に加え、臨床上大切な視点について教授する。	1						
専門科目	臨床運動学演習	甲斐 義浩	1	2回生	理学療法士の実務経験をもつ教員が、その経験を生かして、臨床現場で必要となる動作分析学の基礎について解説する。	1						
専門科目	理学療法評価学総論実習	松尾 奈々	1	2回生	臨床経験を有する教員によって、検査の実際について指導する。検査方法の確立に至る医学的背景、今日的な検査方法の意義についても講義する。	1						

◆健康科学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	健康科学部					備考	
						理学療法学科	作業療法学科	救急救命学科	臨床検査学科	臨床工学科		
専門科目	運動療法学	甲斐 義浩	2	2回生	理学療法士の実務経験をもつ教員が、その経験を生かして、臨床現場で必要となる運動療法の基礎について解説する。	2						
専門科目	物理療法学	中野 英樹	2	2回生	理学療法士としての十分な実務経験を有する教員が物理療法の知識と技術を教授する。	2						
専門科目	運動器障害系理学療法基礎演習	宮崎 純弥	2	2回生	科目担当者は、医療保健福祉分野で理学療法士としての十分な実務経験を有している。	2						
専門科目	中枢神経障害系理学療法基礎演習	兒玉 隆之	2	2回生	本科目は、実務経験を有する理学療法士が講義を行う。臨床現場で構築された実践例を交えて、中枢神経障害の理学療法について教授する。	2						
専門科目	老年期障害基礎論	白岩 加代子	2	2回生	科目担当者は、医療保健福祉分野で理学療法士としての十分な実務経験を有しており、臨床現場で必要となる実践的な対策について教授する。	2						
専門科目	人体の構造と機能実習Ⅰ	木村 智子	1	2回生	科目担当者は、医療分野において理学療法士としての十分な実務経験を有している。また、医学部において、人体解剖実習指導者としての実務経験も有している。これら経験を通して培ってきた知識と技術について、デモンストレーションや供覧を交えながら教授していく。	1						
専門科目	人体の構造と機能実習Ⅱ	木村 智子	1	2回生	科目担当者は、医療分野において理学療法士としての十分な実務経験を有している。また、医学部において、人体解剖実習指導者としての実務経験も有している。これら経験を通して培ってきた知識と技術について、デモンストレーションや供覧を交えながら教授していく。	1						
専門科目	スポーツ障害論	横山 茂樹	2	2回生	担当(北條)はスポーツドクターとして様々なスポーツ選手のサポートを医療面から行っている。またドーピングへの対応などスポーツ現場の経験も数多く有している。担当(横山)は日本スポーツ協会アスレチックトレーナーとして、ラグビー・サッカー・バスケットボール・野球・バレーボールのチーム帯同トレーナーとして30年程度の経験を有している。	2						
専門科目	画像評価学	甲斐 義浩	1	2回生	医師および理学療法士の教員が、その経験に基づいて、臨床に必要な画像読影の基礎を解説する。	1						
専門科目	物理療法学演習	中野 英樹	1	2回生	理学療法士としての十分な実務経験を有する教員が物理療法機器の知識と技術を教授する。	1						
専門科目	発達障害系理学療法学演習	嶋田 正博	1	2回生	科目担当者は、発達障害領域で理学療法士としての十分な実務経験を有している。これらの経験の中で培ってきた発達障害児・者への実践的な評価・治療について教授する。	1						
専門科目	生活技術学演習	安彦 鉄平	1	2回生	病院での勤務経験を有する理学療法士の資格をもつ教員が、病院で実践していた知識および経験をもとに具体的な患者を提示しながら授業を行う。	1						
専門科目	理学療法研究法Ⅰ	村田 伸 堀江 淳 白岩 加代子 宮崎 純弥 横山 茂樹	1	3回生	実務経験(臨床経験)を生かした研究指導を行う。特に、理学療法研究における臨床視点の重要性について教授する。	1						
専門科目	理学療法研究法Ⅱ	村田 伸 堀江 淳	1	3回生	科目担当者は、医療保健福祉分野で理学療法士としての十分な実務経験を有している。	1						
専門科目	運動療法学演習	小田桐 匡	1	2回生	整形疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、中枢神経疾患を呈した患者に対する臨床経験を有する実務教員によって、臨床重要となる運動療法の考え方、分析視点、留意事項を教授すると同時に、基本的な運動療法の方法について指導する。授業には実技や班の演習課題も取り入れ、主体的な学びを進める。	1						
専門科目	スポーツ障害系理学療法基礎演習	横山 茂樹	1	3回生	担当(横山)は、大学病院において15年間の臨床経験を有しており、膝前十字靭帯損傷術後のリハビリテーションを中心とした理学療法を経験している。さらに日本スポーツ協会アスレチックトレーナーとして、ラグビー・サッカー・バスケットボール・野球・バレーボールのチーム帯同トレーナーとして35年以上の経験を有している。	1						
専門科目	ヘルスプロモーション理学療法学基礎演習	白岩 加代子	1	3回生	担当教員は、地域住民に対する健康支援を継続して行っており、調査結果や事例に基づきながら授業を行う。	1						
専門科目	神経・筋疾患理学療法学基礎演習	嶋田 正博	1	3回生	理学療法士としての十分な実務経験を有する教員が教授する。	1						
専門科目	地域理学療法学	白岩 加代子	2	3回生	理学療法士としての十分な実務経験を有している。	2						
専門科目	運動器障害系理学療法学応用演習	宮崎 純弥	1	3回生	科目担当者は、医療保健福祉分野で理学療法士としての十分な実務経験を有している。	1						
専門科目	内部障害系理学療法学応用演習	堀江 淳	1	3回生	科目担当者は、医療保健福祉分野で理学療法士としての十分な実務経験を有している。これらの経験の中で培ってきた内部障害患者への実践的な治療技術についても教授する。実務経験(臨床経験)を通して、学生として身につけておく知識に加え、臨床大切な視点について教授する。	1						
専門科目	スポーツ障害系理学療法学応用演習	横山 茂樹	1	3回生	担当(横山)は、大学病院において15年間の臨床経験を有しており、膝前十字靭帯損傷術後のリハビリテーションを中心とした理学療法を経験している。さらに日本スポーツ協会アスレチックトレーナーとして、ラグビー・サッカー・バスケットボール・野球・バレーボールのチーム帯同トレーナーとして35年以上の経験を有している。	1						
専門科目	老年期障害理学療法学演習	白岩 加代子	1	3回生	科目担当者は、医療保健福祉分野で理学療法士としての十分な実務経験を有しており、臨床現場で必要となる実践的な対策について教授する。	1						
専門科目	メンタルヘルス理学療法学応用演習	堀江 淳	1	3回生	本科目は5名の教員で担当するが、すべての教員が5年以上の理学療法士としての現場経験を有しており、その経験を活かして教授する。	1						
専門科目	理学療法技術学Ⅰ(運動器障害)	宮崎 純弥	1	3回生	科目担当者は、医療保健福祉分野で理学療法士としての十分な実務経験を有している。	1						
専門科目	理学療法技術学Ⅱ(神経障害)	兒玉 隆之	1	3回生	科目担当者は、医療保健福祉分野で理学療法士としての十分な実務経験を有している。これらの経験の中で培ってきた神経障害患者への実践的な治療技術についても教授する。	1						
専門科目	地域理学療法学演習	白岩 加代子	1	3回生	科目担当者は、医療保健福祉分野で理学療法士としての十分な実務経験を有しており、経験で培ってきた対応策についても教授する。	1						

◆健康科学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	健康科学部					備考
						理学療法学科	作業療法学科	救急救命学科	臨床検査学科	臨床工学科	
専門科目	中枢神経障害系理学療法学応用演習	兒玉 隆之	1	3回生	本科目では、解剖学、生理学、臨床医学などで学んだ神経系の知識を基礎に、それらの損傷がもたらす中枢性疾患の病態を理解し、その障害に対する理学療法(評価方法や治療トレーニング)の知識を演習形式にて学習する。また、科目担当者が実務経験で構築してきた実践的な理学療法アプローチについても展開する。	1					
専門科目	神経・筋疾患理学療法学応用演習	兒玉 隆之	1	3回生	科目担当者は、リハビリテーション医療における臨床現場で、中枢神経疾患や筋原性疾患の理学療法を展開した実務経験を有するため、本経験をもとにした実践的なアプローチ法についても教授する。	1					
専門科目	疾患別生活技術学演習	安彦 鉄平	1	3回生	病院での勤務経験を有する理学療法士の資格をもつ教員が、実践していた知識と経験をもとに具体的な患者を提示しながら授業を行う。	1					
専門科目	内部障害系理学療法学基礎演習	堀江 淳	2	3回生	科目担当者は、医療保健福祉領域で理学療法士としての十分な実務経験を有している。これらの経験の中で培ってきた内部障害患者への実践的な治療技術についても教授する。実務経験(臨床経験)を通して、学生として身につけておく知識に加え、臨床上大切な視点について教授する。	2					
専門科目	理学療法技術学Ⅲ(スポーツ障害)	横山 茂樹	1	3回生	担当者は、大学病院において15年間の臨床経験を有しており、膝前十字靭帯損傷後のリハビリテーションを中心とした理学療法を経験している。さらに日本スポーツ協会アスレチックトレーナーとして、ラグビー・サッカー・バスケットボール・野球・バレーボールのチーム帯同トレーナーとして35年以上のスポーツ現場活動の経験を有している。これらの経験を活かして、スポーツ障害に対する理学療法技術の修得を目指す。	1					
専門科目	生活環境論演習	白岩 加代子	1	3回生	理学療法士としての十分な実務経験を有している。	1					
専門科目	地域理学療法学実習	空崎 純弥	1	3回生	理学療法士としての十分な実務経験を有する教員が教授する。	1					
専門科目	認知・神経機能特論	小田桐 匡	1	3回生	授業はいずれも実務経験および研究実施経験のある担当教員ならびに現在臨床現場で実務を遂行中の理学療法士により行われる。多岐に及ぶ認知、神経機能について、担当教員それぞれの研究領域、実務領域において精通する内容が教授される。	1					
専門科目	理学療法総合演習Ⅱ	村田 伸 堀江 淳	1	4回生	科目担当者は、医療保健福祉領域で理学療法士としての十分な実務経験を有している。	1					
専門科目	理学療法管理学	横山 茂樹	2	4回生	理学療法士としての十分な実務経験を有する教員が教授する。	2					
専門科目	運動生理学	齋藤 慶一郎	2	1回生	作業療法士(身体障害領域)の実務経験を有する担当教員が身体運動と運動生理機能の関連について講義する		2				
専門科目	作業療法学概論	小川 敬之	2	1回生	作業療法士の免許を有し、臨床経験のある教員が教授する		2				
専門科目	作業科学	菅沼 一平	2	1回生	実務経験のある作業療法士が担当する。		2				
専門科目	作業学演習Ⅰ	平本 憲二	1	1回生	実務経験のある教員が授業担当する。専門的見地から、臨床現場の様子を示し、理解しやすいようにしていく。		1				
専門科目	作業学演習Ⅱ	真下 いずみ	1	1回生	精神科、身体障害領域での実務経験を持つ教員が担当する。		1				
専門科目	レクリエーション演習	真下 いずみ	1	1回生	担当教員は精神科、老年期領域での実務経験をもち、この経験に基づいて授業を行う。		1				
専門科目	臨床見学実習	平本 憲二	1	1回生	実務経験のある教員が計画する。指導は臨床現場の作業療法士が担当する。		1				
専門科目	人体の構造と機能実習Ⅰ(構造系)	木村 智子	1	2回生	科目担当者は、医療分野において理学療法士としての十分な実務経験を有している。また、医学部において、人体解剖実習指導者としての実務経験も有している。これら経験を通して培ってきた知識と技術について、デモンストレーションや供覧を交えながら教授していく。		1				
専門科目	人体の構造と機能実習Ⅱ(機能系)	木村 智子	1	2回生	科目担当者は、医療分野において理学療法士としての十分な実務経験を有している。また、医学部において、人体解剖実習指導者としての実務経験も有している。これら経験を通して培ってきた知識と技術について、デモンストレーションや供覧を交えながら教授していく。		1				
専門科目	精神障害応用論	真下 いずみ	2	2回生	前半は精神科医、後半は精神科作業療法の実務経験を有する教員が各疾患の症状、治療、作業療法について解説する。		2				
専門科目	画像診断学	東 泰弘	1	2回生	病院にて作業療法士として従事した際の臨床経験、中枢神経障害の科目担当教員としての教育経験をともに実症例を中心に解説する		1				
専門科目	作業療法評価学	小川 敬之	2	2回生	作業療法には身体、精神、発達、老年期等の分野があるが、前半では作業療法全体に共通する面接と観察、ICFを中心に臨床経験を有した教員が教授する。後半は実務的な実技も含めた指導を行う。教員2人のオムニバス講義である。(小川、中井)		2				
専門科目	精神機能評価学演習	真下 いずみ	1	2回生	精神障害領域での実務経験をもつ教員が精神障害領域で用いられる評価法について講義する		1				
専門科目	発達期評価学演習	原田 瞬	1	2回生	発達障害児、重症心身障害児に対する作業療法の臨床経験を有する教員が実務経験に基づき教授する。		1				
専門科目	日常生活支援学	田丸 佳希	1	2回生	作業療法士として臨床で勤務経験を有する教員が、日常生活活動の基本的な概念やその具体的内容を解説します。		1				
専門科目	日常生活支援学演習	田丸 佳希	1	2回生	作業療法士として臨床で勤務経験を有する教員が、日常生活活動の実践的な評価方法や動作分析の具体的内容を解説します。		1				
専門科目	高齢期作業療法学	高畑 進一	1	2回生	作業療法士として臨床で勤務経験を有する教員が、高齢期作業療法学の基本的知識と技術を解説する。		1				
専門科目	高齢期作業療法学演習	高畑 進一	1	2回生	臨床および地域での老年期障害に対する実務経験を有する教員と、専門領域での実務経験を有するグストビーカーが、高齢期作業療法の実践的な内容を解説する。		1				
専門科目	地域作業療法学	小川 敬之	1	2回生	作業療法士として高齢者、児童発達支援事業、精神科等に非常勤で勤務した経験がある。そうした経験をもとに説明を行う。(真下、小川、由利、原田)		1				

◆健康科学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	健康科学部					備考
						理学療法学科	作業療法学科	救急救命学科	臨床検査学科	臨床工学科	
専門科目	地域作業療法学演習	小川 敬之	1	2回生	作業療法士として地域ケア会議や特養勤務、児童発達支援事業、海外の地域作業療法等に非常勤で勤務経験がある。そうした経験をもとに説明を行う。小川、原田、由利、真下、外来講師		1				
専門科目	作業療法機能評価学演習Ⅱ	中井 秀昭	1	2回生	作業療法士として臨床での勤務経験を有する教員が、身体障害作業療法領域の実践的な評価方法について解説します。		1				
専門科目	リハビリテーション工学	平本 憲二	1	2回生	実務していたproper教員が、下記項目についての講義を行う。		1				
専門科目	言語聴覚療法	中谷 謙	1	2回生	言語聴覚士免許と臨床経験を有する教員が、臨床現場での実践も含まれて講義を行う。		1				
専門科目	作業療法研究法演習Ⅱ	小川 敬之 菅沼 一平	1	3回生	実務経験および研究指導経験のある作業療法士が担当する。		1				
専門科目	精神機能作業療法学	真下 いずみ	1	3回生	作業療法士であり、精神科における実務経験を持つ教員が講義する。		1				
専門科目	精神機能作業療法学演習	真下 いずみ	1	3回生	担当教員は精神科領域での実務経験をもち、この経験に基づいて演習を行う。		1				
専門科目	発達期作業療法学	原田 瞬	1	3回生	発達障害児に対する作業療法の実務経験がある教員が担当し、実務経験に基づき教示する。		1				
専門科目	発達期作業療法学演習	原田 瞬	1	3回生	発達領域の作業療法の実務経験がある教員が担当する。		1				
専門科目	義肢装具学	齋藤 慶一郎	1	3回生	作業療法士(身体障害者領域)の実務経験を有する担当教員が、下記項目(授業計画)について講義する		1				
専門科目	生活環境論	菅沼 一平	1	3回生	作業療法士として臨床で勤務経験を有する教員が、生活環境整備介入における視点、主に身体障害作業療法領域の実践的な介入、環境整備の方法について解説する。		1				
専門科目	ヘルスプロモーション作業療法学	中井 秀昭	1	3回生	実務経験の豊富な作業療法士が担当する。		1				
専門科目	職業リハビリテーション	平本 憲二	1	3回生	実務経験のある教員が授業担当する。専門の見地から、臨床現場の様子を伝え、理解しやすいようにしていく。		1				
専門科目	臨床評価実習	田丸 佳希	3	3回生	作業療法士の資格を持ち、臨床評価等の経験を有する教員が担当する			3			
専門科目	身体機能作業療法学Ⅰ(運動器・内部障害)	齋藤 慶一郎	2	3回生	作業療法士(身体障害者領域)の実務経験を有する担当教員が、下記項目(授業計画)について講義する		2				
専門科目	身体機能作業療法学Ⅱ(中枢系)	田丸 佳希	2	3回生	作業療法士(身体障害者領域)の実務経験を有する担当教員が、下記項目(授業計画)について講義する		2				
専門科目	高次脳機能作業療法学	高畑 進一	2	3回生	急性期病院・回復期病院における高次脳機能障害に関する臨床経験と、大学における高次脳機能障害に関する教授経験を有する作業療法士が、その実践経験に基づいて基礎的知識と技術に関する授業を行う		2				
専門科目	地域実習	田丸 佳希	1	3回生	作業療法士の資格を持ち、臨床等の経験を有する教員が担当する		1				
専門科目	感覚統合療法	原田 瞬	1	3回生	発達障害児に対し感覚統合療法の実務経験がある教員が担当し、実務経験に基づき教示する。		1				
専門科目	認知症作業療法学	小川 敬之	1	3回生	作業療法士の免許を有し、認知症のリハビリテーション経験を持つ教員が教授する(小川)		1				
専門科目	作業療法技術学Ⅱ(こころと子どもの支援)	真下 いずみ	1	3回生	担当する教員は精神科分野、発達障害分野の経験を有しており、これらの分野で行ってきた研究について解説する。		1				
専門科目	作業療法管理学	高畑 進一	2	3回生	急性期病院・回復期病院での臨床経験と大学での管理業務経験を有する作業療法士が、その実践経験に基づいて基礎的知識と技術に関する授業を行う		2				
専門科目	総合臨床実習Ⅰ	菅沼 一平	5	4回生	当該施設の臨床実習指導者は指導者講習会を受講し5年以上の経験を持つ作業療法士であり(地域実習はこの限りではない)、それぞれの専門領域で総合的な実習指導と支援を行う。また、教員による訪問指導も行う。		5				
専門科目	総合臨床実習Ⅱ	菅沼 一平	5	4回生	当該施設の臨床実習指導者は5年以上の経験を持つ作業療法士であり、それぞれの専門領域で総合的な実習指導と支援を行う。また、教員による訪問指導も行う。		5				
専門科目	総合臨床実習Ⅲ	菅沼 一平	5	4回生	当該施設の臨床実習指導者は5年以上の経験を持つ作業療法士であり、それぞれの専門領域で総合的な実習指導と支援を行う。また、教員による訪問指導も行う。		5				
専門科目	救急救命実習Ⅰ	大和田 均	5	1回生	消防や医療機関等での現場経験を有する教員が、実際の現場活動に即したシミュレーション実習を実施する。			5			
専門科目	人体の構造と機能演習Ⅰ(形態と構造)	益満 西	2	1回生	教員は、重症救急、ER診療、医学教育での実務に携わってきた。その経験をもとに、実務と関連づけた授業内容を構築していく。			2			
専門科目	人体の構造と機能演習Ⅱ(生体の諸器官の機能)	益満 西	2	1回生	教員は、重症救急、ER診療、医学教育での長い実務経験がある。こうした臨床の実践的な視点から、授業内容を組み立てている。復習においても、小テストの問題を活用することが望ましい。			2			
専門科目	救急救命学総論Ⅰ(救急救命士の使命)	大和田 均	2	1回生	消防本部での実務経験を有する教員が、消防機関の救急業務について具体例を挙げながら解説する。			2			
専門科目	福祉とボランティア	真下 いずみ	1	1回生	医療従事者である作業療法士の実務経験に加え、種々のボランティア経験を有する教員が担当する。			1			
専門科目	救急疾病Ⅰ(循環系、呼吸系等)	黒崎 久訓	2	2回生	臨床経験豊富な救急医が、各種疾患について解説する。救急救命士の教員が、その経験を活かし、各種疾患に対する現場活動について解説する。			2			
専門科目	救急病態生理学Ⅰ(循環系、呼吸系等)	益満 西	2	2回生	第一線で活躍している医師により、日常救急で遭遇する疾患について、問診や基本的な診察による臨床推論を通じて、呼吸器系、循環器系疾患の病態について理解を深める。			2			
専門科目	救急外傷医学Ⅰ(外傷総論、頭部・体幹外傷)	益満 西	2	2回生	長年の現場経験を有する救急医の教員と救急救命士の教員が、実地経験も踏まえてオムニバス形式で外傷医学について教授する。			2			
専門科目	救急外傷医学Ⅱ(運動器外傷、熱傷等)	益満 西	2	2回生	長年の現場経験を有する救急医の教員と救急救命士の教員が、実地経験も踏まえてオムニバス形式で外傷医学について教授する。			2			
専門科目	救急疾病Ⅱ(神経系、消化系等)	大石 泰男	2	2回生	長年の現場経験を有する救急医の教員と救急救命士の教員が、実地経験も踏まえてオムニバス形式で内因性救急疾患について教授する。			2			

◆健康科学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	健康科学部					備考
						理学療法学科	作業療法学科	救急救命学科	臨床検査学科	臨床工学科	
専門科目	救急救命学総論Ⅱ(病院前医療)	大和田 均	2	2回生	消防や医療機関等での現場経験を有する教員が、実際の現場活動に即した講義を実施する。			2			
専門科目	救急救命学各論Ⅰ(傷病者観察)	大石 泰男	2	2回生	豊富な経験を持つ救急救命士教員が、オムニバス形式で救急観察・処置について実地経験もまじえて授業を構成する。			2			
専門科目	小児科学	岡本 茂	1	3回生	一般病院にて小児科・小児救急を担当している			1			
専門科目	精神医学	川岸 久也	1	3回生	精神科病院で救急にも携わり、現在診療所で勤務する臨床医が担当します。			1			
専門科目	産婦人科学	工藤 里香	1	3回生	助産師経験を有する教員が担当する。日本の周産期医療や育児の現状、妊婦出産を迎える女性の身体・心理・社会的変化を踏まえながら、妊婦期や新生児の救急搬送において必要となる基本的知識や技術の習得を目指す。			1			
専門科目	救急救命実習Ⅲ	大和田 均	4	3回生	消防機関や救急センター等での現場経験を有する教員により、実際の救急現場を学生がイメージすることができるような状況設定や想定付与を行う。			4			
専門科目	臨床病態学	黒崎 久訓	2	3回生	経験豊富な医師教員、救急救命士教員等が、救急救命学や病院前救護に関する最新の動向等を紹介する。			2			
専門科目	救急症候学Ⅰ(胸部疾患、腹部疾患等)	大石 泰男	2	3回生	救命センター等での豊富な臨床経験を通じて、呼吸器、循環器、消化器系の疾患の特徴的な症候について説明し、その特徴と応急処置などの講義を行う。			2			
専門科目	急性中毒学・環境障害	大石 泰男	2	3回生	救命センターで長期の勤務経験を持つ救急医である教員が、症例提示を交えて中毒、環境障害を概説する。			2			
専門科目	救急救命学各論Ⅱ(薬物と検査)	益満 茜	2	3回生	医師(救急専門医)、薬剤師、臨床検査技師(救急認定検査技師)など豊富な救急に於ける臨床経験を有する教員が講義を行う。			2			
専門科目	救急救命災害演習	関根 和弘	2	3回生	救急現場や災害現場活動の経験のある救急救命士教員が指導する。			2			
専門科目	救急救命向東実習	大和田 均	1	3回生	消防の現場経験を有する教員が、実際の現場活動にそった活動のガイダンスや授業を行う。			1			
専門科目	公安職研究	山崎 将文	2	3回生	公務員概論、消防官・警察官・海上保安官・自衛官による講義、自治体研究。			2			
専門科目	救急救命総合演習	黒崎 久訓	2	4回生	救急救命士の教員が、その知識を活かし、救急救命士国家試験の問題の解き方について指導する。			2			
専門科目	救急救命実習Ⅳ	黒崎 久訓	4	4回生	救急救命士の教員および医師教員が、その経験を活かし、実臨床に基づいた指導をおこなう。			4			
専門科目	臨床検査学Ⅰ	藤原 麻有	2	1回生	医療従事者としての臨床経験を有する教員が、臨床検査学Ⅰの基礎および臨床応用について指導する。				2		
専門科目	臨床検査学Ⅱ	内堀 恵美	2	1回生	臨床検査技師として大学病院または総合病院で勤務経験があり、かつ、専任教員として大学等の臨床検査技師養成施設で教育および研究に専事した各種資格を有する専任教員が、それらの経験を活かしながら、臨床検査学について概説する。さらに臨床検査で汎用される器具や機器の特性や使用方法についても学ぶ。大学で扱う授業内容は、ひとつ問に対して「正答がひとつに限定される」場合は「正答が複数ある」または「正答が無い」という事項が多々あることを理解し、柔軟な学習・修得を心がける。				2		
専門科目	微生物検査学Ⅰ	中村 竜也	2	1回生	担当教員は微生物学を中心に25年の実臨床での経験を持ち、チーム医療(特にICU)の一員としての実績を持つ。実務経験に基づき、実症例を用いたより実践に近い講義を行う。				2		
専門科目	人体解剖学	藤原 麻有	2	1回生	臨床検査技師としての実務経験を有する教員が本科目の必要性を説明する。				2		
専門科目	解剖生理学	所司 睦文	2	1回生	臨床検査技師として大学病院または総合病院で10年以上勤務し、かつ、専任教員として大学等の臨床検査技師養成施設で30年以上教育および研究に専事した各種資格を有する専任教員が、それらの経験を活かしながら、解剖生理学について概説する。大学で扱う授業内容は、ひとつ問に対して「正答がひとつに限定される」場合は「正答が複数ある」または「正答が無い」という事項が多々あることを理解し、柔軟な学習・修得を心がける。				2		
専門科目	臨床検査学実習	岡田 光貴	1	1回生	臨床検査技師として病院の臨床検査室で勤務した経験を有する教員が指導を行う。				1		
専門科目	医用工学	杉村 宗典	2	1回生	医療施設にて臨床検査技師・臨床工学技士として勤務し、かつ、医療系大学にて教育経験を有する専任教員が、臨床検査技師に必要な医用工学分野について解説する。				2		
専門科目	病理病態学Ⅰ	鶴山 竜昭	2	1回生	十分な病理学教育実績と病院での病理業務実績のある医師教員が、その実務経験に基づき、疾患の原因と成立過程とを、出来る限り多くの写真や画像を使用しながら講義を行う。				2		
専門科目	一般検査学	岡田 光貴	1	1回生	臨床検査技師として病院の臨床検査室で勤務した経験を有する教員が一般検査学の講義を行う。				1		
専門科目	臨床細胞学総論Ⅰ	大澤 幸希光	1	1回生	細胞検査として実務経験のある教員が代表的な器管について、正常から病変に出現する細胞について説明・提示を行うとともに後半の実習で実際の細胞の検鏡実習にて確認を行う。				1		
専門科目	微生物検査学Ⅱ	中村 竜也	2	2回生	担当教員は微生物学を中心に25年の実臨床での経験を持ち、チーム医療(特にICU)の一員としての実績を持つ。実務経験に基づき、実症例を用いたより実践に近い講義を行う。				2		

◆健康科学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	健康科学部					備考
						理学療法学科	作業療法学科	救急救命学科	臨床検査学科	臨床工学科	
専門科目	医療情報システム学	杉村 宗典	2	2回生	担当教員(杉村)は医療施設にて臨床検査技師・臨床工学技士として勤務し、現在はITを活用した生体シミュレーション研究等を行っている。これらの実務経験に基づき、医療情報リテラシーおよび医療情報システム学、医療AIとAIを用いた画像認識について概説する。また、外部講師(井口)は長年、大学病院に勤務しており、十分な臨床経験を有する。これら経験に基づき、医療情報システムの詳細を概説する。				2		
専門科目	病理病態学Ⅱ	鶴山 竜昭	2	2回生	十分な病理学教育実績と病院での病理業務実績のある医師教員が、その実務経験に基づき、臓器別に種々の疾患の原因と成立過程とを、出来る限り多くの写真や画像を使用しながら講義を行う。				2		
専門科目	血液検査学	池本 敏行	2	2回生	臨床検査技師として大学病院で検査業務に従事した教員が、その経験を活かして血液検査Ⅰの基礎および臨床応用について指導する。				2		
専門科目	血液検査学演習	池本 敏行	1	2回生	臨床検査技師として大学病院で検査業務に従事した教員が、その経験を活かして血液検査学演習について指導する。				1		
専門科目	病理検査学実習Ⅰ	大西 崇文	1	2回生	この実習では病院等の施設において組織・解剖学および病理検査に関する業務に従事した経験がある教員が指導する。				1		
専門科目	一般検査学・医動物学実習	中村 竜也	1	2回生	臨床検査技師として病院の臨床検査室で勤務した経験がある教員が一般検査学および医動物学の実習指導を行う。				1		
専門科目	生化学検査学Ⅰ	岡田 光貴	2	2回生	臨床検査技師として病院の臨床検査室で勤務した経験がある教員が講義を行う。				2		
専門科目	栄養学	藤原 麻有	2	2回生	臨床検査技師としての実務経験を有する教員が本科目の必要性を説明する。				2		
専門科目	薬理学	前田 育宏	2	2回生	薬剤師資格を有し、国立大学病院の臨床検査の現場で30数年培った経験を活かし、臨床検査室での実情を交えながら薬物の作用を説明する。				2		
専門科目	臨床細胞学総論Ⅱ	大澤 幸希光	1	2回生	細胞検査士として実務経験のある教員が代表的な器官について、正常から病変に出現する細胞について説明・提示を行うとともに後半の実習で実際の細胞の鏡検実習にて確認を行う。				1		
専門科目	臨床細胞学総論Ⅲ	大澤 幸希光	1	2回生	細胞検査士として実務経験のある教員が代表的な器官について、正常から病変に出現する細胞について説明・提示を行うとともに後半の実習で実際の細胞の鏡検実習にて確認を行う。				1		
専門科目	生化学検査学Ⅱ	岡田 光貴	2	2回生	臨床検査技師として病院の臨床検査室で勤務した経験がある教員が講義を行う。				2		
専門科目	微生物検査学実習Ⅰ	中村 竜也	1	2回生	担当教員は微生物学を中心に25年の実臨床での経験を持ち、チーム医療(特にICT)の一員としての実績を持つ。実務経験に基づき、実症例を用いたより実践に近い講義を行う。病院内の感染対策についても実際の現場に即した方法で実習する。				1		
専門科目	微生物検査学実習Ⅱ	中村 竜也	1	2回生	担当教員は微生物学を中心に25年の実臨床での経験を持ち、チーム医療(特にICT)の一員としての実績を持つ。実務経験に基づき、実症例を用いたより実践に近い講義を行う。病院内の感染対策についても実際の現場に即した方法で実習する。				1		
専門科目	生理検査学Ⅰ	所司 睦文	2	2回生	臨床検査技師として大学病院で生体検査学の関連検査を中心に10年以上従事し、その後、臨床検査技師教育に25年以上従事した各種資格を有する専任教員が、それらの経験を活かしながら、循環呼吸機能検査学、脳神経筋機能検査学、医用超音波・眼底写真・サーモグラフィの臨床的意義、検査方法、基準値、検査場の注意事項、簡単な臨床応用について概説する。大学で扱う授業内容は、ひとつ問に対して「正答がひとつに限定される」場合は「正答が複数ある」または「正答が無い」という事項が多々あることを理解し、柔軟な学習・修得を心がける。				2		
専門科目	生理検査学Ⅱ	所司 睦文	2	2回生	臨床検査技師として大学病院または総合病院で10年以上勤務し、かつ、専任教員として大学等の臨床検査技師養成施設で30年以上教育および研究に従事した各種資格を有する専任教員が、それらの経験を活かしながら、循環呼吸機能検査学、脳神経筋機能検査学、各種超音波検査学の各領域の主要な臨床応用および症例について概説する。大学で扱う授業内容は、ひとつ問に対して「正答がひとつに限定される」場合は「正答が複数ある」または「正答が無い」という事項が多々あることを理解し、柔軟な学習・修得を心がける。				2		
専門科目	臨床病態学Ⅱ	津田 泰宏	2	3回生	教員は医師として26年間の実務経験がある。その経験を基に、特に臨床で実際によく遭遇する疾患を重視して授業を行う。				2		
専門科目	血液検査学実習	池本 敏行	1	3回生	臨床検査技師として大学病院で検査業務に従事した教員が、臨床経験を活かして、血液検査学実習の基礎から応用までを解説しながら実習指導する。				1		
専門科目	医動物学	中村 竜也	1	1回生	担当教員は感染症を中心に25年の実臨床での経験を持つ。実務経験に基づき、臨床現場における寄生虫感染症の実例を用いて講義を行う。				1		
専門科目	救急検査学	津田 喜裕	2	3回生	高度救命救急センター、日本DMAT隊員での実務経験に基づき救急、災害医療に即した臨床検査について講義する。				2		
専門科目	病理検査学実習Ⅱ	大西 崇文	1	3回生	医師や臨床検査技師として医療現場での実務経験を有する教員たちがその経験に基づき、病理組織標本作製指導と特殊染色の解説、および臓器の組織学的特徴の解説を行い、学生のスケッチの修正・指導に当たる。				1		
専門科目	生化学検査学実習Ⅰ	岡田 光貴	1	3回生	臨床検査技師として医療の現場で勤務した経験のある教員が現場の実情に合った生化学検査の知識と技術が習得できる実習指導を行う。				1		
専門科目	生化学検査学実習Ⅱ	岡田 光貴	1	3回生	臨床検査技師として医療の現場で勤務した経験のある教員が現場の実情に合った生化学検査の知識と技術が習得できる実習指導を行う。				1		
専門科目	生理検査学Ⅲ	所司 睦文	2	3回生	臨床検査技師として大学病院または総合病院で10年以上勤務し、かつ、専任教員として大学等の臨床検査技師養成施設で30年以上教育および研究に従事した各種資格を有する専任教員が、それらの経験を活かしながら、生体検査分野のRelearningとTopicsについて概説する。大学で扱う授業内容は、ひとつ問に対して「正答がひとつに限定される」場合は「正答が複数ある」または「正答が無い」という事項が多々あることを理解し、柔軟な学習・修得を心がける。				2		
専門科目	生理検査学Ⅳ	所司 睦文	2	3回生	臨床検査技師として大学病院または総合病院で10年以上勤務し、かつ、専任教員として大学等の臨床検査技師養成施設で30年以上教育および研究に従事した各種資格を有する専任教員が、それらの経験を活かしながら、生体検査分野のRelearningとTopicsについて概説する。大学で扱う授業内容は、ひとつ問に対して「正答がひとつに限定される」場合は「正答が複数ある」または「正答が無い」という事項が多々あることを理解し、柔軟な学習・修得を心がける。				2		

◆健康科学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	健康科学部					備考
						理学療法学科	作業療法学科	救急救命学科	臨床検査学科	臨床工学科	
専門科目	生理検査学実習Ⅰ	所司 睦文	1	3回生	臨床検査技師として大学病院または総合病院で10年以上勤務し、かつ、専任教員として大学等の臨床検査技師養成施設で30年以上教育および研究に従事した各種資格を有する専任教員が、それら経験を活かしながら、個々の学生を指導し、生体検査における患者接遇・検査説明・検査実施・記録データの評価などの理解を支援する。加えて、大学病院勤務の学外講師による特別実習を組み入れる。大学で扱う授業内容は、ひとつ問に対して「正答がひとつに限定される」場合ばかりではなく、「正答が複数ある」または「正答が無い」という事項が多々あることを理解し、柔軟な学習・修得を心がける。				1		
専門科目	医療英語	岡田 光貴	2	3回生	臨床検査技師として病院の臨床検査室で勤務した経験の有する教員が、現場で実際に必要な英語を講義内容に反映し、授業を行う。				2		
専門科目	臨床細胞学演習Ⅰ	大澤 幸希光	1	3回生	細胞検査士として実務経験のある教員が実際の細胞診標本作製法から細胞診断法に関する事項について講義・実習を行う。				1		
専門科目	臨床細胞学演習Ⅱ	大澤 幸希光	1	3回生	細胞検査士として実務経験のある教員が実際の細胞診標本作製法から細胞診断法に関する事項について講義・実習を行う。				1		
専門科目	臨床検査総合管理学	須賀 淳子	2	3回生	担当教員(須賀)は医療施設にて臨床検査技師として勤務した経験の有する。また、外部講師(井口)は長年、大学病院に勤務しており、十分な臨床経験を有する。これらの実務経験に基づき、臨床現場における管理運営・精度保証の重要性を事例を用いて講義をおこなう。				2		
専門科目	関係法規	所司 睦文	2	3回生	大学(法学部・法律学科)で法学を学び、臨床検査技師として大学病院または総合病院で10年以上勤務し、かつ、専任教員として大学等の臨床検査技師養成施設で30年以上教育および研究に従事した各種資格を有する専任教員が、それらの経験を活かしながら、関係法規について概説する。大学で扱う授業内容は、ひとつ問に対して「正答がひとつに限定される」場合ばかりではなく、「正答が複数ある」または「正答が無い」という事項が多々あることを理解し、柔軟な学習・修得を心がける。				2		
専門科目	臨地実習	中村 龍也	12	3回生	大学教員の本とどは大学病院または市中病院で医師または臨床検査技師として勤務した経験を有し、それら経験を活かしながら、臨地実習を受講する学生を支援する。臨地実習前には、学生が臨地実習に必要な技能・態度を備えていることの確認及び必要な指導を目的として、技能修得到達度評価を行なう。臨地実習では各実習生受入施設の実務経験豊かな臨床検査技師または医師、その他医療スタッフが学生指導を行なう。また大学教員は、実習施設における評価、巡回指導の評価、学生が作成した臨地実習記録等の学生から提出されたすべてのレポートおよび書類により、学生の成績評価を行なう。				12		
専門科目	細胞診断学総論	服部 学	3	4回生	細胞検査士・細胞診専門医として実務経験のある教員が細胞診を行う上で必要な事項を説明・提示を行うとともに実際の細胞の検鏡実習にてスクリーニング・同定ができるように学ぶ。				3		
専門科目	細胞診断学各論Ⅰ(婦人科系)	服部 学	5	4回生	細胞検査士・細胞診専門医として実務経験のある教員が細胞診を行う上で必要な事項を説明・提示を行うとともに実際の細胞の検鏡実習にてスクリーニング・同定ができるように学ぶ。				5		
専門科目	細胞診断学各論Ⅱ(呼吸器系)	服部 学	5	4回生	細胞検査士・細胞診専門医として実務経験のある教員が細胞診を行う上で必要な事項を説明・提示を行うとともに実際の細胞の検鏡実習にてスクリーニング・同定ができるように学ぶ。				5		
専門科目	細胞診断学各論Ⅲ(消化器系)	服部 学	4	4回生	細胞検査士・細胞診専門医として実務経験のある教員が細胞診を行う上で必要な事項を説明・提示を行うとともに実際の細胞の検鏡実習にてスクリーニング・同定ができるように学ぶ。				4		
専門科目	細胞診断学各論Ⅳ(泌尿器系・体液液)	服部 学	5	4回生	細胞検査士・細胞診専門医として実務経験のある教員が細胞診を行う上で必要な事項を説明・提示を行うとともに実際の細胞の検鏡実習にてスクリーニング・同定ができるように学ぶ。				5		
専門科目	細胞診断学各論Ⅴ(乳腺・甲状腺)	服部 学	4	4回生	細胞検査士・細胞診専門医として実務経験のある教員が細胞診を行う上で必要な事項を説明・提示を行うとともに実際の細胞の検鏡実習にてスクリーニング・同定ができるように学ぶ。				4		
専門科目	細胞診断学各論Ⅵ(リンパ節・骨・軟部・造血)	服部 学	4	4回生	細胞検査士・細胞診専門医として実務経験のある教員が細胞診を行う上で必要な事項を説明・提示を行うとともに実際の細胞の検鏡実習にてスクリーニング・同定ができるように学ぶ。				4		
専門科目	卒業研究A	所司 睦文 池田 哲也 鶴山 竜昭 今井 優樹 須賀 淳子 中村 龍也 内堀 憲美 岡田 光貴 藤原 麻有 杉村 宗典	4	4回生	実務経験(臨床経験・基礎研究)を生かした研究指導を行う。特に、臨床検査学を含む医学研究での考え方について、これらの経験を踏まえて教授する。				4		
専門科目	卒業研究B	服部 学 大澤 幸希光	4	4回生	実務経験(臨床経験・基礎研究)を生かした研究指導を行う。特に、細胞診断学を含む生命医学研究での考え方について、これらの経験を踏まえて教授する。				4		
専門科目	病態学演習Ⅰ	所司 睦文	1	4回生	臨床検査技師として大学病院または総合病院で10年以上勤務し、かつ、専任教員として大学等の臨床検査技師養成施設で30年以上教育および研究に従事した各種資格を有する専任教員が、それら経験を活かしながら、さまざまな生体検査に関連する検査データとその評価法の理解を支援する。加えて、生理検査学の基礎から最新トピックスまで概説する。大学で扱う授業内容は、ひとつ問に対して「正答がひとつに限定される」場合ばかりではなく、「正答が複数ある」または「正答が無い」という事項が多々あることを理解し、柔軟な学習・修得を心がける。				1		
専門科目	病態学演習Ⅱ	岡田 光貴	1	4回生	臨床検査技師として病院の臨床検査室で勤務した経験を有する教員が下記に示す内容について演習ならびに講義を行う。				1		
専門科目	病態学演習Ⅲ	中村 龍也	1	4回生	実務経験(臨床経験・基礎研究)を活かした指導を行う。特に、免疫検査学、輸血・移植検査、微生物検査、医動物検査における臨床検査における考え方について、経験を踏まえて教授する。				1		
専門科目	病態学演習Ⅳ	池本 敏行	1	4回生	臨床検査技師の教員がその臨床経験を生かして形態検査学の基礎および臨床応用について指導する。				1		

◆健康科学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	健康科学部					備考
						理学療法学科	作業療法学科	救急救命学科	臨床検査学科	臨床工学科	
専門科目	臨床検査学総合演習A	所司 睦文	2	4回生	臨床検査技師または医師、薬剤師として、大学病院または総合病院で複数年勤務し、または、大学等の臨床検査技師養成施設で複数年教育および研究に従事した各種資格を有する専任教員が、それら経験を活かしながら、さまざまな臨床検査学に関連する検査データとその評価法の理解を支援する。加えて、臨床検査学および医学、医科学研究等の基礎から最新トピックス等も概説する。大学で扱う授業内容は、ひとつ問に対して「正答がひとつに限定される」場合はかりでは無く、「正答が複数ある」または「正答が無い」という事項が多々あることを理解し、柔軟な学習・修得を心がける。				2		
専門科目	臨床検査学総合演習B	服部 学	2	4回生	臨床検査技師または医師として大学病院または総合病院で、かつ、専任教員として大学等の臨床検査技師養成施設で長年従事した各種資格を有する専任教員が、それら経験を活かしながら、さまざまな臨床検査学に関連する検査データとその評価法の理解を支援する。加えて、臨床検査学および医学、医科学研究等の基礎から最新トピックスまで概説する。大学で扱う授業内容は、ひとつ問に対して「正答がひとつに限定される」場合はかりでは無く、「正答が複数ある」または「正答が無い」という事項が多々あることを理解し、柔軟な学習・修得を心がける。				2		
専門科目	関係法規 I	工藤 元嗣	1	1回生	2002年より臨床工学士として医療機関に勤務し、臨床現場において生命維持管理装置をはじめとする医療機器の操作・管理業務全般に従事してきました。その後、2008年より臨床工学士養成校の教員として、臨床系科目から関連法規まで幅広い科目を担当し、臨床工学士に求められる法的知識や職業について教育を行ってきました。また、2019年には厚生労働省の「臨床工学士学校養成所カリキュラム等改善検討会」に参画し、臨床工学士法を含む指定規則改定にかかわるなど、制度設計や法令の背景についても実務的な視点で理解を深めました。これらの臨床経験、教育経験および制度検討への参画経験を活かし、本科目では臨床工学士に関連する医事法規について、単なる条文の解説にとどまらず、臨床現場に即した具体例を交えながら講義を行います。法令の要点を明確に示し、正しい法的解釈に基づいて安全かつ適切に業務を遂行できる実践的な知識の修得を目指します。					1	
専門科目	応用数学	山下 光美	2	1回生	本授業は、工学分野において養成校での教育経験を有する教員が担当する。工学系科目を理解するために必要な数学の基礎について、分かりやすく段階的に解説する。数式の意味や計算過程を示しながら、電気電子工学や機械工学などの専門科目との関連を意識した授業を行うことで、数学を工学分野に応用する力の基礎を養う。					2	
専門科目	医用機器学概論	酒井 徳昭	1	1回生	臨床工学士として約20年にわたり病院で医用機器の運用・管理に従事してきた教員が、その実務経験を基に、医用機器の原理、構造、臨床現場での使用方法および安全管理について解説する。					1	
専門科目	循環機能代行技術学 I	酒井 徳昭	1	1回生	臨床工学士として約20年にわたり手術室の現場で培った知識や経験を活かし、実践に必要な知識を教授する。					1	
専門科目	代謝機能代行技術学 I	高橋 純子	1	1回生	看護師および臨床工学士として臨床現場に従事し、透析治療を含む生命維持管理装置を使用する患者のケアおよび機器管理に携わってきた。患者の全身状態の把握、治療中の変化への対応、医療機器の安全な運用を通じて、患者管理および医療安全の向上に貢献してきた。また、医療事故防止や災害・トラブル発生時の対応など、危機管理の視点をもって多職種と連携した医療提供を行ってきた経験を有する。これらの経験を授業に反映し、初学者にも理解しやすいよう、臨床現場の具体例を用いながら、患者管理と医療安全の基礎を段階的に学修できる教育を行う。					1	
学部等共通科目	医工連携と臨床工学	中村 亮一	2	1回生	医学の研究者として研究教育とともに企業との医工連携による製品開発や新規スタートアップの立ち上げ支援、医療機器開発に関わるガイドライン策定等に関わってきた教員が、研究と開発の実例を元に臨床と研究とビジネスの面から医療機器開発の解説を行う。					2	理学療法学科、作業療法学科、救急救命学科、臨床検査学科は履修不可
全学共通科目	芸術と文化	山本 善則	2	1回生	現役ピアニストであり、数々のコンクールに携わってきた経験を生かし、現代芸術教育における問題点や、新たな視点を実際にピアノ演奏を行いつつ説明します。	2	2	2	2	2	
全学共通科目	ジェンダーとダイバーシティ	水島 新太郎	2	1回生	奈良女性センター 市民講座講師千葉市男女共同参画センター さんかくカレッジ講師ジェンダーに関するデジタル新聞記事の執筆(産経デジタル、iRONNA)	2	2	2	2	2	
全学共通科目	異文化コミュニケーション論	樋谷 恒孝	2	1回生	担当者は国連に約10年勤務、アフリカや中東の紛争国に滞在し主に紛争解決や平和構築、開発に携わりました。また、国際協力機構(JICA)にて青年海外協力隊や企画調査員としてアフリカに滞在した経験があり、嘱託職員としてJICA本部、緒方貞子平和開発研究所に勤務していました。さらに民間企業(商社)に勤務・海外駐在し、アフリカや中東諸国との貿易・マーケティングに携わった経験も持っています。1年以上長期滞在した国はタイ、イギリス、アフリカ4か国(ブルキナファソ、アルジェリア、コンゴ民主共和国、中央アフリカ共和国)、イエメンの7か国、訪れた国は50か国を超え、そのうち30か国はアフリカの国々です。これらの経験を基に現場の事例などを交えながら授業を進めます。	2	2	2	2	2	
学部等共通科目	人間を考える	杉山 隆一	2	2回生	授業前半部(第1回～7回)を担当する杉山は外務省での勤務経験を有する。後半部(第8回～14回)を担当する樋谷はJICA、国連での平和構築に関する勤務経験を有する。	2	2	2	2	2	
学部等共通科目	情報技術の歴史と展開	工藤 寛樹	2	1回生	担当教員の専門分野はモバイル・コピタスコンピューティング、人工知能であり、センシングや人の活動に紐づいて発生するデータを分析することにより人の暮らしをより豊かにする技術開発、研究を行っています。本講義では、情報技術の歴史的な発達経緯に加えて、専門分野の研究活動によって得られた知見を交えながら将来の展開についても考察します。	2	2	2	2	2	
全学共通科目	私たちのくらしと行政	竹内 直人	2	1回生	福井県庁で30年間、主に政策づくりに携わり、多様な政策を立案しました。大学に移ったからは経験を活かして、多くの市町や国、国際機関などの委員を務めています。国、県、市や町など複眼的な観点から人びとの生活と行政の関係を一緒に考えていきます。自治体職員による講義を行います。	2	2	2	2	2	
学部等共通科目	時事問題にふれる	平尾 毅	2	1回生	日本経済新聞社で30年以上、国内外の支局長はじめ記者、デスクとして企業経営、国際情勢、地域経済に関するニュースを取材、執筆、編集してきた実績とアカデミックな実績、背景を踏まえ、新聞記事の信頼性や記事執筆に至る取材やアータ分析のノウハウなどをわかりやすく伝える。	2	2	2	2	2	
学部等共通科目	日本と国際社会	佐久間 浩司	2	1回生	金融機関・国際分野での経験あり。イギリス、ドイツ駐在経験あり。短期出張ではアジア、中近東滞在経験あり。経験を適宜授業に織り込む。	2	2	2	2	2	
学部等共通科目	食と農から社会を考える	平賀 緑	2	1回生	香港と日本において、新聞社、金融機関、有機農業関連企業などに勤めながら、食・農・環境問題に取り組む市民活動を企画運営した経験を持つ。ロンドン市立大学修士(食料栄養政策)、京都大学博士(経済学)。著書に『食べものから学ぶ現代社会—私たちが動かす資本主義のカラクリ』(岩波ジュニア新書、2024年)、『食べものから学ぶ世界史—人も自然も壊さない経済とは?』(岩波ジュニア新書、2021年)、『植物油の政治経済学—大豆と油から考える資本主義的食料システム』(昭和堂、2019年)など。	2	2	2	2	2	

◆健康科学部

カテゴリ	科目名称	教員氏名	単位数	配当回生	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	健康科学部					備考
						理学療法学科	作業療法学科	救急救命学科	臨床検査学科	臨床工学科	
全学共通科目	情報社会論	杉浦 昌	2	1回生	IT企業の情報システム部門や装置・システム設計開発部門、SI・コンサルティングビジネス部門での実務経験、政府系団体での実務経験のある教員が、テキストやスライド、配布資料、種々の公開資料、レポート、論文等を用いて授業をおこなう。授業は講義を中心に行うが、理解の深化と確認のため、振り返り学習やレポート提出を実施する場合がある。	2	2	2	2	2	
学部等共通科目	心理学入門	浦田 洋	2	1回生	臨床心理士、及び公認心理師として長年実務に携わってきた担当者が、教科書を参考にしてあらゆる生活場面で心理学的に理解する視点について解説する。	2	2	2	2	2	
学部等共通科目	日本の伝統的建築と庭園	鈴木 あるの	2	1回生	資格・免許:一級建築士、二級建築士、一級造園施工管理士、全国通訳案内士、米国カリフォルニア州登録ランドスケープアーキテクト実務経験・国内外(日本、米国、イタリア)の建築設計事務所および造園設計事務所にて調査・計画・設計の実務・国カリフォルニア大学デービス校環境デザイン学科の専門科目(2000-2005年)および京都大学の国際交流教養科目(2008年~2012年)にて「日本の伝統的建築と庭園」を英語で講義・全国通訳案内士(英語)として京都と奈良の建築と庭園をガイド	2	2	2	2	2	
学部等共通科目	くすりのサイエンス	村木 優一	1	1回生	1回目 生命科学(京都薬科大学 細胞生物学分野 関根 勇一:日本・米国の大学の大学でさまざまな研究を行ってきた教員が、病態解明や創薬につながる生命科学研究について解説する。)2回目 創薬・有機化学(京都薬科大学 薬品化学分野 大石 真也:新しい薬の探索・創製(創薬研究)に従事している教員が、薬づくりの現状・現状を講述する。)3回目 生薬・薬用植物(京都薬科大学 薬用植物園 月岡 淳子:薬用植物園で20年以上、植物の栽培研究に携わってきた教員が、漢方処方と配合される生薬や薬用植物について解説する。)4回目 薬剤・製剤(京都薬科大学 薬物動態学分野 伊藤 由佳子:薬剤学・製剤学研究に25年以上従事してきた教員が、製薬企業および国立大学病院との共同研究を通して得た医薬品適正使用に必要なくすりの考え方について解説する。)5回目 分析・薬物代謝(京都薬科大学 代謝分析学分野 内藤 行憲:大学で10年以上、錯体化学をベースに新規作用メカニズムをもつ創薬研究を行ってきた教員が、体内での薬の動き、薬の作用メカニズムの分析方法、ならびに市販薬の品質管理に関する内容について解説する。)6回目 薬理・薬物治療(京都薬科大学 病態生化学分野 右原 優一:国内外の大学や研究所において20年以上勤務、疾患の治療戦略研究に従事した経験をもつ教員が、「くすり」の作用と疾患治療について解説する。)7回目 臨床・実務(京都薬科大学 臨床薬理学分野 村木 優一:国立大学病院で16年勤務、様々な部署や病棟を経験し、感染症や医療薬学の専門資格を取得している教員が、医療現場における薬剤師の役割について解説する。)	1	1	1	1	1	
学部等共通科目	くらしの中の看護	征矢野 あや子	1	1回生	各授業回の内容に関連する臨床経験を有する教員が担当する。	1	1	1	1	1	
学部等共通科目	こどもの発達支援とこころの健康	真下 いずみ	1	1回生	精神科、発達領域での支援経験を有する教員が担当する。	1	1	1	1	1	
学部等共通科目	住居学概論	鈴木 あるの	2	1回生	免許・資格・役職:一級建築士、二級建築士、宅地建物取引士、一級造園施工管理士、米国カリフォルニア州登録ランドスケープアーキテクト、(マンション)管理業務主任者、日本民泊建築学会理事、元・日本マンション学会関西支部支部長。実務経験:国内外の設計事務所および建設コンサルタントにて調査・計画・設計の業務経験あり。	2	2	2	2	2	
学部等共通科目	自然科学で考える	酒井 徳昭	2	2回生	本授業は3名の教員によるオムニバス形式で実施する。担当教員は、臨床工学科士として病院等での実務経験を有する教員ならびに、工学分野において養成校での指導経験を有する教員で構成されている。医療機器に関する血液の流・呼吸・電気・溶液管理など、臨床現場で実際にみられる身近な自然科学の現象を題材に、数値や現象の意味を多角的に捉え、主体的に考えながら理解を深める姿勢を養う授業として実施する。	2	2	2	2	2	
学部等共通科目	就業体験準備実習	小山 大介 福原 崇之	2	1回生	担当教員は、民間企業での実務経験、産官学連携、企業・自治体調査・分析などの経験を有しており、その経験や現在も続けている現状分析などの情報を受講生へ積極的に伝える。	2	2	2	2	2	
全学共通科目	健康に生きる	川村 晃右	2	1回生	保健師や助産師、看護師としての実務経験のある教員が担当する。	2	2	2	2	2	
学部等共通科目	医療リスクマネジメント	齋藤 汐海	1	1回生	看護管理、訪問看護を専門とし、様々な医療現場のリスクマネジメントを実践している看護師教員、3次医療機関にて救急対応、患者搬送等の実務経験を有する救急救命士教員が担当する。	1	1	1	1	1	
学部等共通科目	医学概論	大槻 俊輔	2	1回生	授業の主権者は、診療の基本となる医療面接や医療コミュニケーションについて、教育経験が長い。また、臨床の実践では、長年、救急医療や総合診療の中で、病で悩まされた方々と接し、高齢化社会の実態や課題に具体的に直面してきたことから、授業テーマの必要性や重要性を強く認識している。医療人基礎力につながる授業である。	2	2	2	2		臨床工学科は履修不可
合計単位数						121	130	102	167	53	